

魚津市新総合計画策定のための 市民意識調査

【結果報告書】

令和7年2月
富山県 魚津市

目 次

I 調査の概要	2
1 調査の目的	3
2 調査概要	3
3 報告書の見方	4
II 調査結果	6
1 回答者について	7
2 魚津市での生活について	9
3 第5次魚津市総合計画の評価について	19
4 魚津市のまちづくりについて	38
5 「デジタル化」の取組について	62
III 自由回答	66

I 調査の概要

1 調査の目的

令和7年度に「第5次魚津市総合計画 第11次基本計画」を見直し、「第5次総合計画、第12次基本計画」を策定するにあたり、市民の皆様の生活環境や市政運営に関する満足度やご意見、ご要望などを把握するため、魚津市総合計画策定のための「市民意識調査」を実施しました。

2 調査概要

- ・ 調査地域：魚津市全域
- ・ 調査対象者：魚津市内在住の18歳以上の住民
- ・ 調査期間：令和6年10月18日～11月14日まで
- ・ 調査方法：郵送配布、郵送回収（一部QRコードから読み取りWEBでの入力・回収）
また、対象者以外の市民にも周知し、WEBによる回答を得た

■回収率

●郵送による調査

配布数	回収数	回収率
3,000	郵送回収分 1,437	郵送回収分 47.9%
	QRコード入力 209	QRコード入力 7.0%
	合計 1,646	合計 54.9%

●対象者以外のインターネット(WEB)調査

配布数	回収数	回収率
—	197	—

3 報告書の見方

- 各設問の回答方法は、単数回答、複数回答の2種類があります。
単数回答…設問に対して、複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式
複数回答…設問に対して、複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数を表しています。

※設問ごとのインターネット調査の回答（表）については、参考数値として記載しています。

II 調査結果

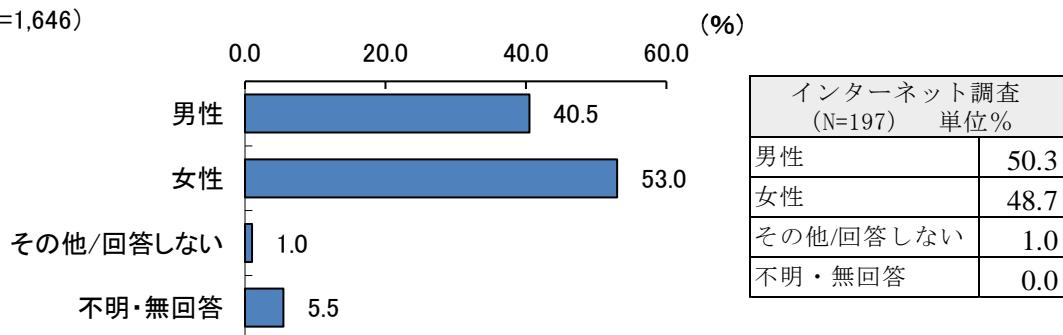
1 回答者について

性別（単数回答）

性別についてみると、「女性」が53.0%と最も高く、次いで「男性」が40.5%となっています。

【単純集計】

今回調査(N=1,646)

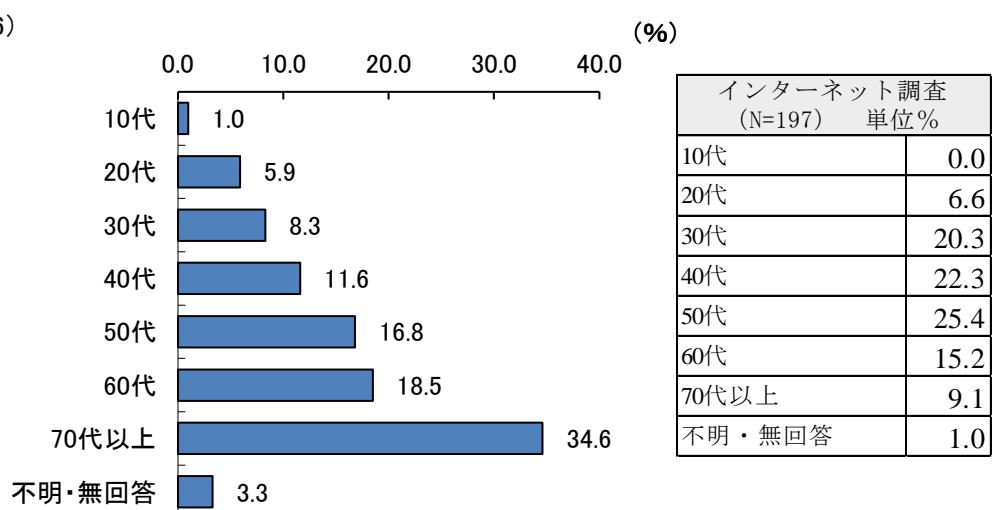


年齢（単数回答）

年齢についてみると、「70代以上」が34.6%と最も高く、次いで「60代」が18.5%、「50代」が16.8%となっています。

【単純集計】

今回調査(N=1,646)

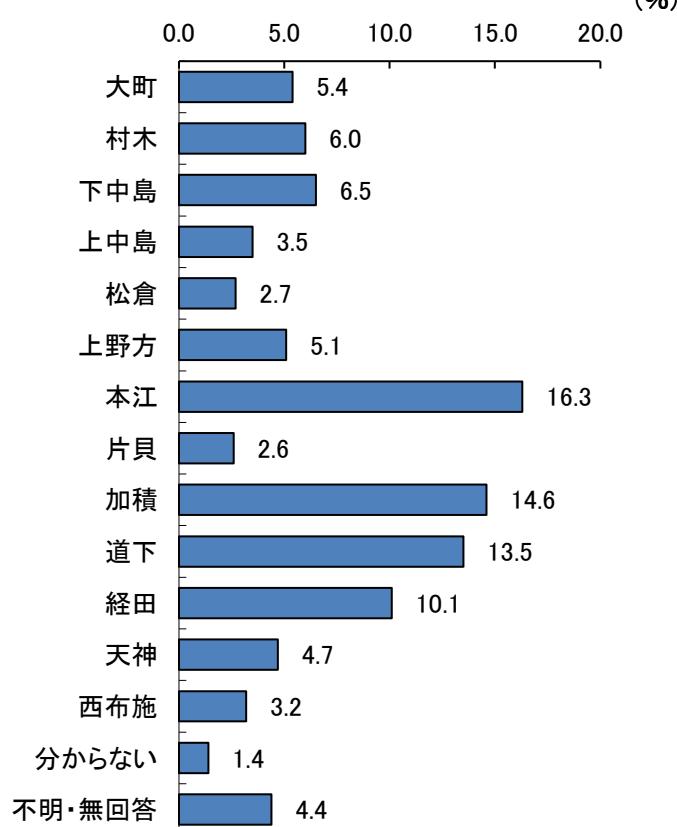


地区（単数回答）

地区についてみると、「本江」が16.3%と最も高く、次いで「加積」が14.6%、「道下」が13.5%となっています。

【単純集計】

今回調査(N=1,646)



インターネット調査 (N=197) 単位%	
大町	6.6
村木	8.1
下中島	6.6
上中島	2.0
松倉	2.0
上野方	3.0
本江	18.3
片貝	1.0
加積	14.2
道下	15.2
経田	13.7
天神	6.1
西布施	0.5
分からぬ	2.5
不明・無回答	0.0

2 魚津市での生活について

問1 あなたは、魚津市に何年くらい住んでいらっしゃいますか。(単数回答)

居住年数についてみると、「生まれた時から（途中に転出期間がある場合も含む。）」が56.8%と最も高く、次いで「20年以上」が26.1%、「10年以上20年未満」が7.5%となっています。

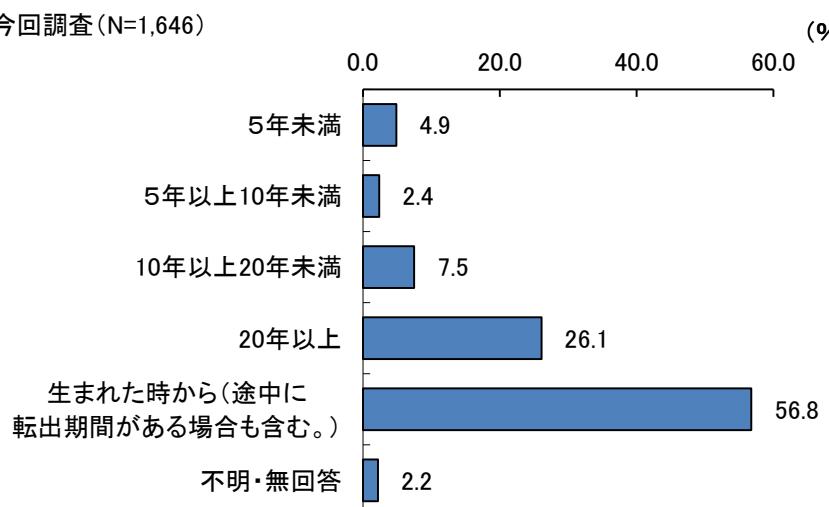
性別では、「生まれた時から（途中に転出期間がある場合も含む。）」は男性が68.5%、女性が50.0%と、男性が18.5ポイント高くなっています。

年代別では、10代を除いて「生まれた時から（途中に転出期間がある場合も含む。）」が5割程度または5割を超えていました。

地区別では、いずれの地区でも「生まれた時から（途中に転出期間がある場合も含む。）」が5割を超えていました。

【単純集計】

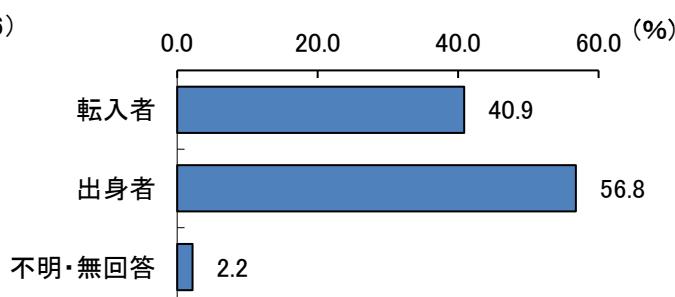
今回調査(N=1,646)



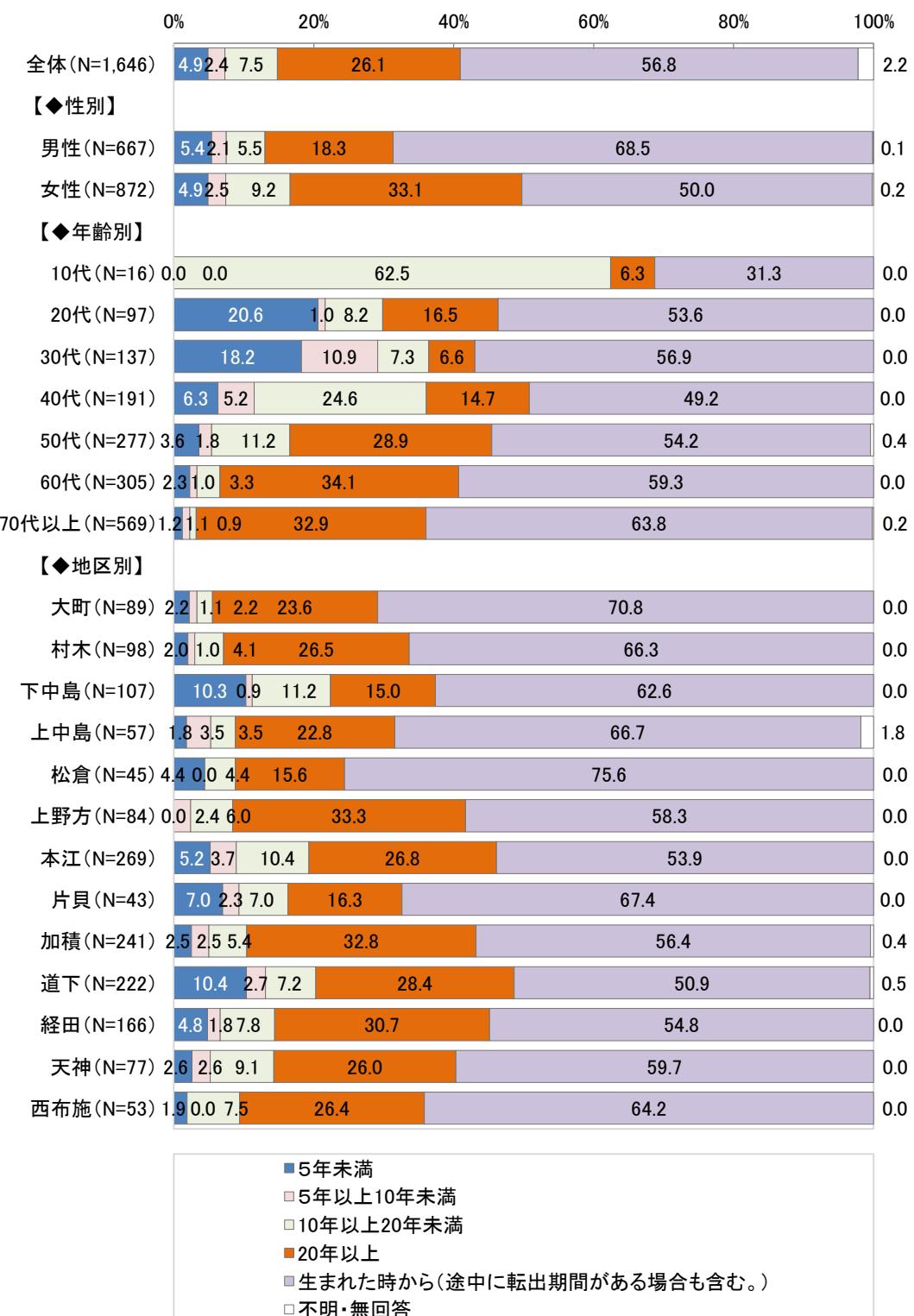
インターネット調査 (N=197) 単位%	
5年未満	9.6
5年以上10年未満	6.6
10年以上20年未満	9.6
20年以上	23.4
生まれた時から（途中に転出期間がある場合も含む。）	50.8
不明・無回答	0.0

※参考 転入者の割合

今回調査(N=1,646)



【クロス集計】



問2 魚津市での住みごこちはいかがですか。(単数回答)

住みごこちについてみると、「比較的住みやすい」が57.4%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が20.1%、「とても住みやすい」が14.8%となっています。「とても住みやすい」と「比較的住みやすい」を合わせた『住みやすい』は72.2%、「比較的住みにくい」と「住みにくい」を合わせた『住みにくい』は4.9%となっています。

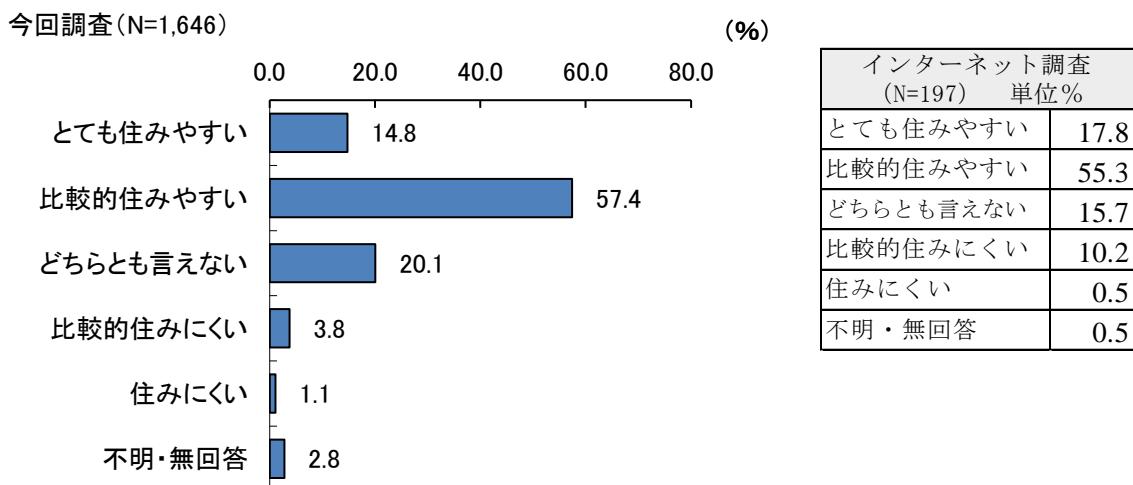
性別では、いずれの性別も『住みやすい』が7割台となっています。

年代別では、いずれの年代も『住みやすい』が7割程度または7割を超えています。

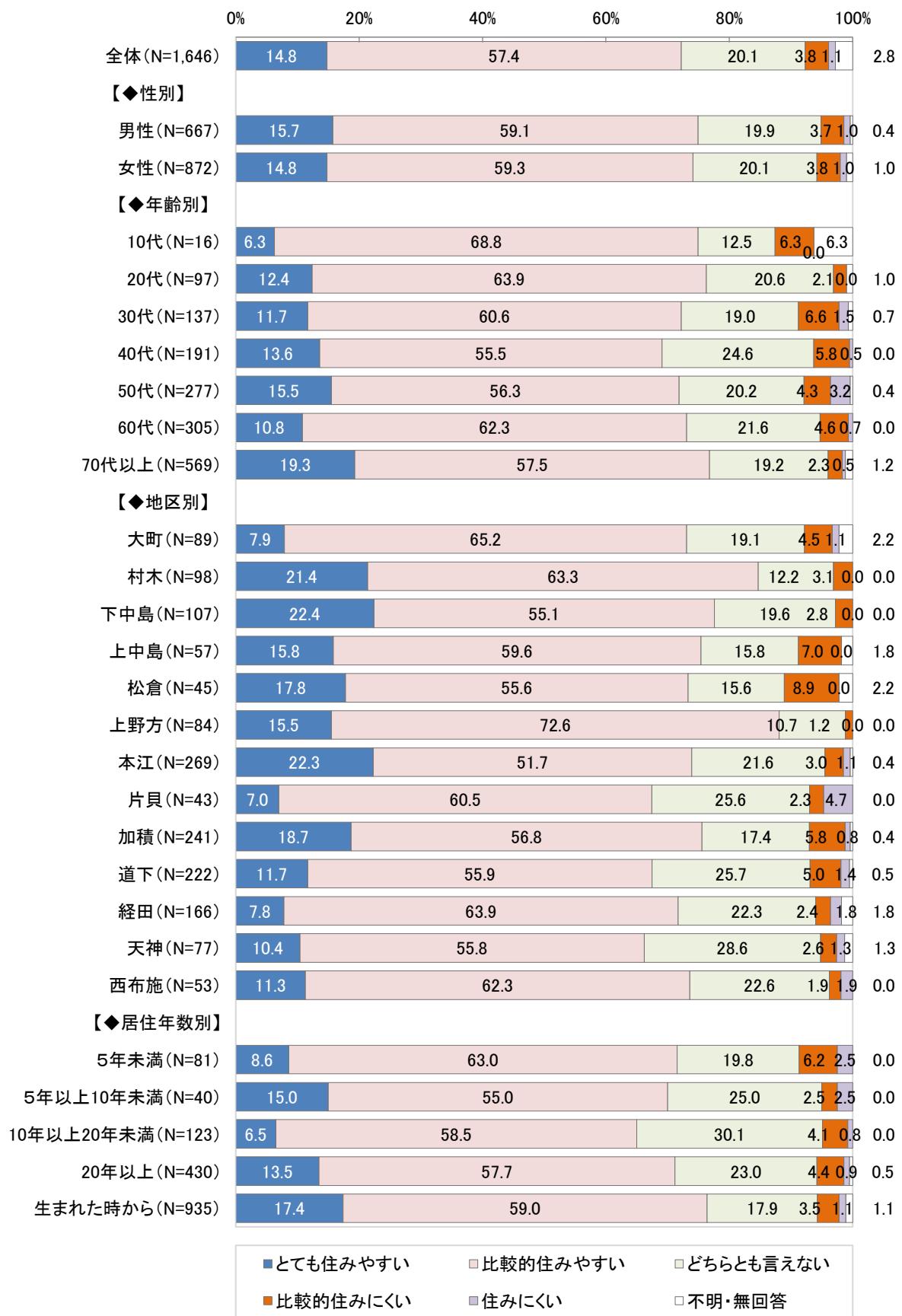
地区別では、村木・上野方で『住みやすい』が8割台となっています。

居住年数別では、いずれの居住年数でも『住みやすい』が6割を超えています。

【単純集計】



【クロス集計】



問3 あなたは、これからもずっと魚津市に住み続けたいと思いますか。(単数回答)

居住意向についてみると、「住み続けたい」が45.3%と最も高く、次いで「できれば住み続けたい」が28.4%、「特にこだわりは無い」が17.3%となっています。「住み続けたい」と「できれば住み続けたい」を合わせた『住み続けたい』は73.7%となっています。

性別では、いずれの性別も『住み続けたい』が7割台となっています。

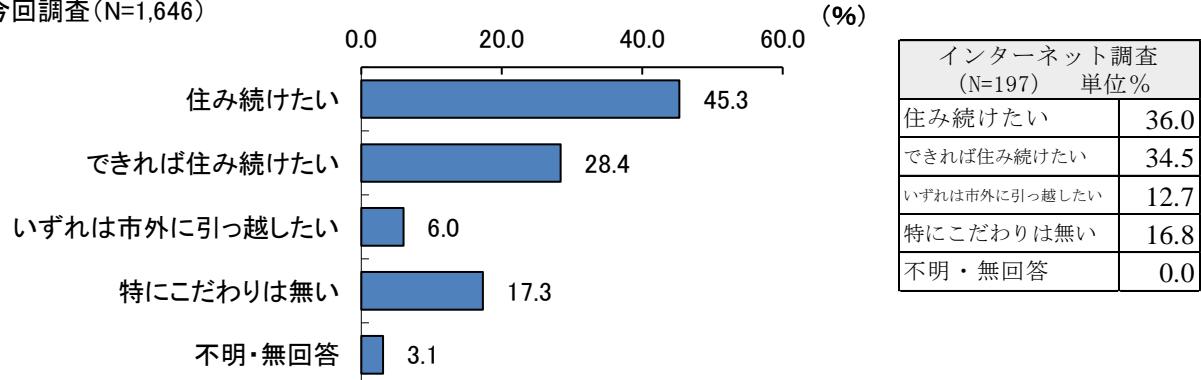
年代別では、年代が高くなるにしたがい『住み続けたい』が高くなっているものの、10代・20代では5割台にとどまっています。

地区別では、村木・上中島・上野方で『住み続けたい』が8割台となっています。

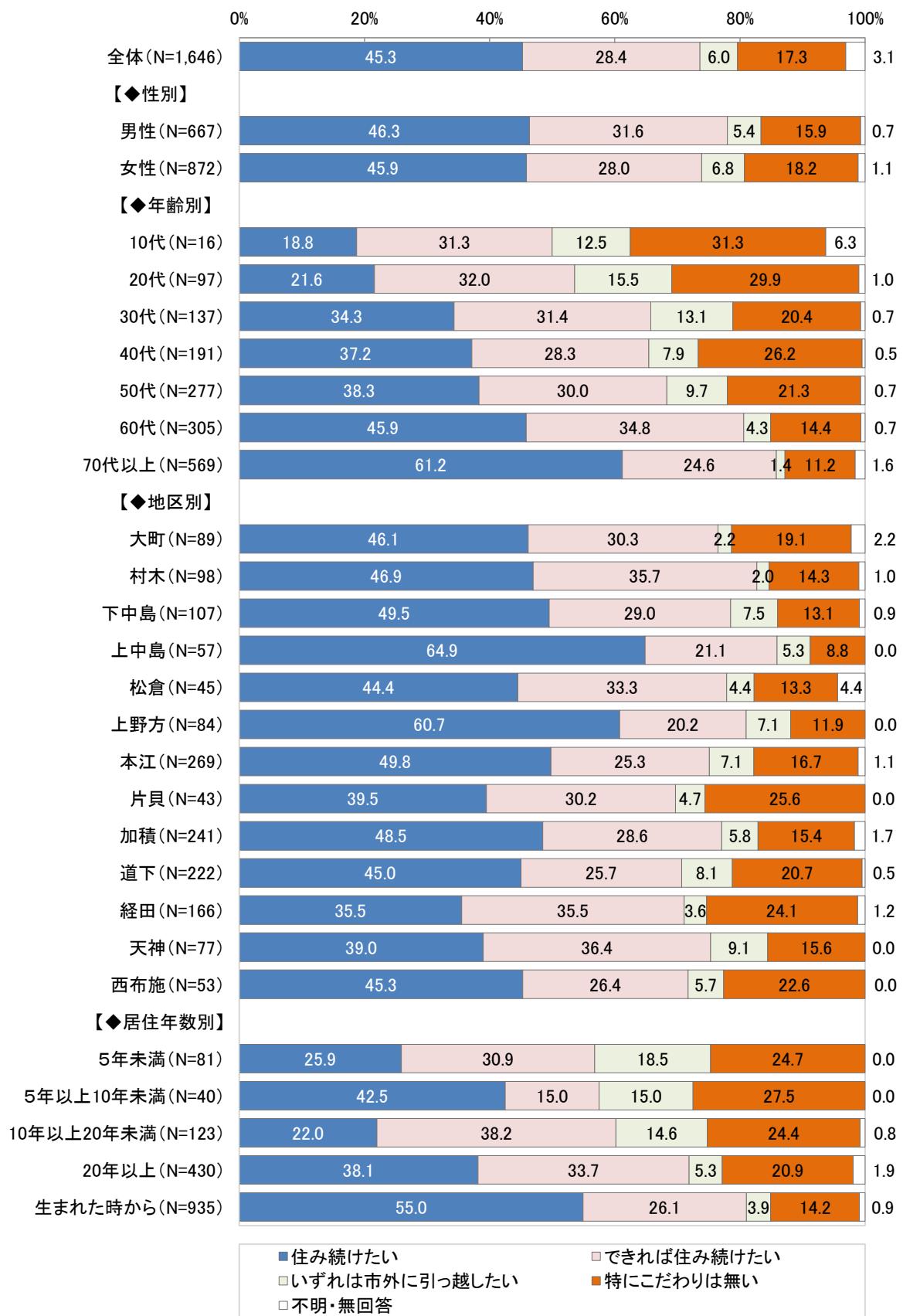
居住年数別では、居住年数が長くなるにしたがい『住み続けたい』が高くなっています。

【単純集計】

今回調査(N=1,646)



【クロス集計】



問3で「住み続けたい」または「できれば住み続けたい」を選択した方

問4 魚津市に住み続けたいというのは、どのような理由からですか。(複数回答)

住み続けたい理由についてみると、「住宅を持っている」が71.1%と最も高く、次いで「生まれ育った場所」が49.8%、「愛着がある」が29.4%となっています。

性別では、「生まれ育った場所」は男性が60.8%、女性が39.8%と、男性が21.0ポイント高くなっています。

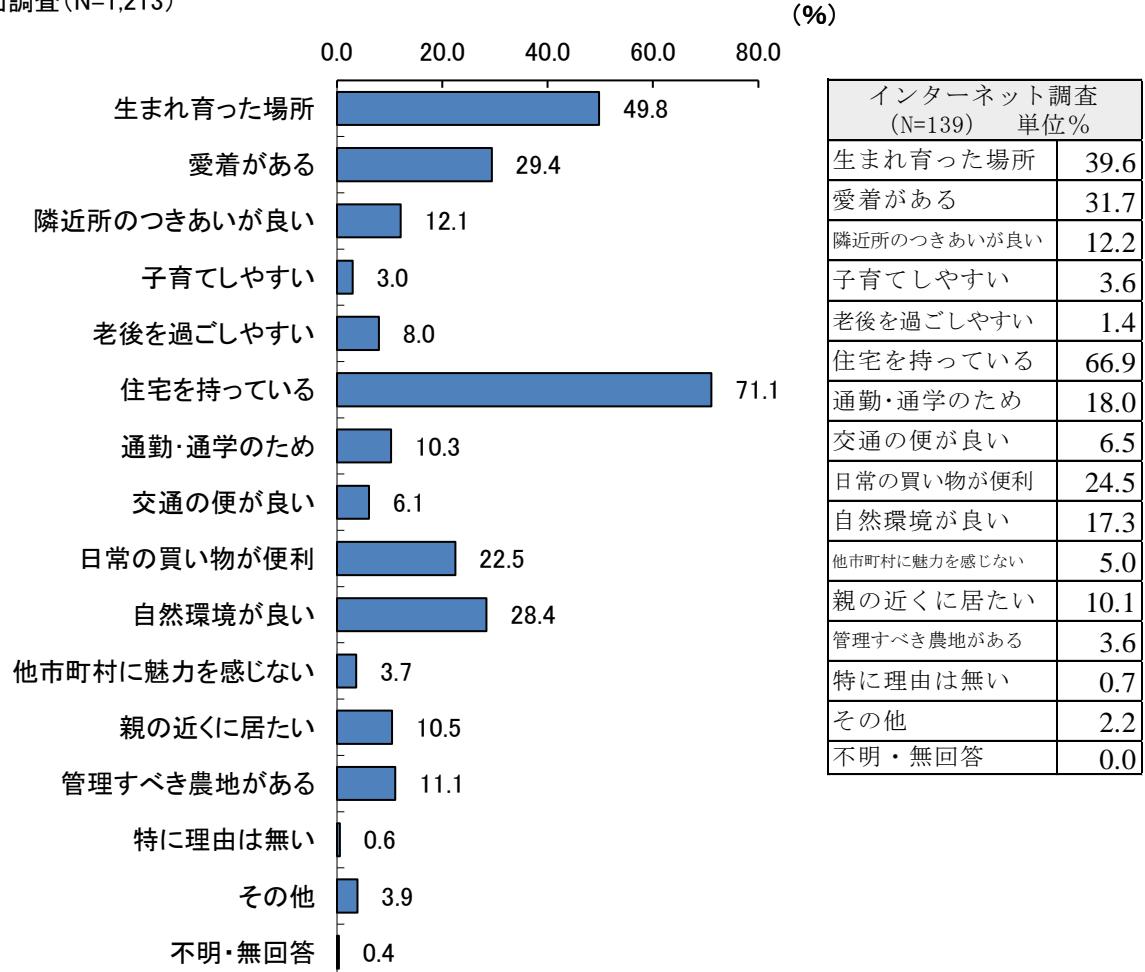
年代別では、20代以上で年代が高くなるにつれて「住宅を持っている」が高くなっています。

地区別では、いずれの地区でも「住宅を持っている」が6割を超えています。

居住年数別では、5年未満で「日常の買い物が便利」が4割を超えており、他の層の割合と比べて高くなっています。

【単純集計】

今回調査(N=1,213)



【クロス集計】

(単位 : %)

	生まれ育つた場所	愛着がある	隣近所のつきあいが良い	子育てしやすい	老後を過ごしやすい	住宅を持っている	通勤・通学のため	交通の便が良い	日常の買い物が便利	自然環境が良い	他市町村に魅力を感じない	親の近くに居たい	管理すべき農地がある	特に理由は無い	その他	不明・無回答
全体(N=1,213)	49.8	29.4	12.1	3.0	8.0	71.1	10.3	6.1	22.5	28.4	3.7	10.5	11.1	0.6	3.9	0.4
【◆性別】																
男性(N=520)	60.8	32.7	11.3	2.3	6.3	72.5	11.0	5.4	20.4	25.2	4.4	7.5	13.3	0.2	3.5	-
女性(N=644)	39.8	27.3	12.7	3.7	9.0	70.0	10.1	6.2	24.2	31.4	3.4	13.0	9.8	0.9	4.0	0.8
【◆年齢別】																
10代(N=8)	62.5	37.5	12.5	-	-	37.5	12.5	-	-	12.5	-	25.0	-	-	-	12.5
20代(N=52)	46.2	51.9	3.8	5.8	-	23.1	34.6	5.8	21.2	25.0	7.7	38.5	-	-	3.8	-
30代(N=90)	48.9	26.7	5.6	15.6	2.2	58.9	26.7	8.9	25.6	12.2	1.1	27.8	3.3	1.1	1.1	-
40代(N=125)	36.8	20.0	5.6	6.4	2.4	65.6	24.8	6.4	27.2	27.2	3.2	20.0	4.8	1.6	7.2	-
50代(N=189)	48.7	36.0	5.8	2.1	4.8	69.3	15.9	6.3	19.6	24.9	6.3	14.8	7.9	0.5	4.8	-
60代(N=246)	48.4	30.5	15.0	0.8	7.3	78.5	6.9	3.3	19.5	31.3	2.8	5.7	15.4	0.4	3.3	0.4
70代以上(N=488)	54.3	26.4	16.8	0.8	13.3	78.5	0.8	6.6	23.8	32.6	3.3	2.5	14.5	0.4	3.7	0.6
【◆地区別】																
大町(N=68)	61.8	45.6	19.1	4.4	7.4	76.5	5.9	1.5	16.2	19.1	2.9	4.4	-	1.5	2.9	-
村木(N=81)	59.3	18.5	23.5	2.5	7.4	71.6	6.2	6.2	24.7	32.1	3.7	12.3	1.2	1.2	9.9	-
下中島(N=84)	50.0	26.2	11.9	6.0	7.1	77.4	8.3	6.0	21.4	25.0	1.2	13.1	8.3	-	3.6	1.2
上中島(N=49)	55.1	30.6	14.3	-	12.2	71.4	8.2	-	10.2	28.6	4.1	10.2	28.6	-	-	-
松倉(N=35)	45.7	40.0	20.0	-	-	65.7	8.6	-	5.7	28.6	5.7	17.1	34.3	-	-	2.9
上野方(N=68)	44.1	32.4	11.8	2.9	5.9	67.6	5.9	5.9	17.6	39.7	5.9	7.4	20.6	-	8.8	1.5
本江(N=202)	42.6	28.2	6.4	3.5	7.9	77.2	9.9	8.4	32.2	33.2	4.5	10.9	6.4	0.5	4.0	-
片貝(N=30)	60.0	30.0	20.0	-	6.7	66.7	6.7	3.3	6.7	43.3	-	10.0	30.0	-	3.3	-
加積(N=186)	50.5	28.0	8.6	1.1	8.6	67.2	11.8	11.8	32.3	26.3	3.2	10.8	8.1	-	2.2	-
道下(N=157)	47.8	27.4	7.0	4.5	8.3	64.3	17.8	8.3	26.1	24.8	3.2	11.5	8.9	0.6	5.7	0.6
経田(N=118)	43.2	28.0	18.6	3.4	10.2	80.5	6.8	1.7	13.6	26.3	4.2	7.6	9.3	-	2.5	0.8
天神(N=58)	55.2	32.8	13.8	3.4	3.4	69.0	13.8	1.7	13.8	36.2	1.7	15.5	15.5	1.7	1.7	-
西布施(N=38)	63.2	34.2	15.8	-	10.5	78.9	7.9	-	10.5	18.4	2.6	5.3	36.8	-	-	-
【◆居住年数別】																
5年未満(N=46)	6.5	8.7	8.7	17.4	4.3	37.0	30.4	19.6	45.7	17.4	6.5	13.0	2.2	2.2	13.0	-
5年以上10年未満(N=23)	4.3	4.3	13.0	17.4	13.0	73.9	21.7	13.0	39.1	39.1	-	8.7	4.3	-	8.7	-
10年以上20年未満(N=74)	14.9	14.9	10.8	6.8	1.4	60.8	28.4	6.8	33.8	25.7	5.4	14.9	4.1	4.1	5.4	-
20年以上(N=309)	10.0	26.2	13.9	1.9	13.3	80.6	8.7	10.4	30.1	41.4	4.5	5.5	10.0	0.6	4.5	0.6
生まれた時から(N=758)	73.5	34.3	11.7	1.7	6.5	70.3	7.5	3.3	16.5	23.7	3.2	12.0	13.1	0.1	2.8	0.4

※分類ごとの上位のものに対して、網掛けを施しています。

問3で「いずれは市外に引っ越したい」を選択した方

問5 市外へ引っ越したいというのは、どのような理由からですか。(複数回答)

市外へ引っ越したい理由についてみると、「他市町村に魅力がある」が41.8%と最も高く、次いで「交通の便が良くない」が32.7%、「老後を過ごしにくい」が26.5%となっています。

性別では、「隣近所のつきあいが良くない」は女性が16.9%、男性が5.6%と、女性が11.3ポイント高くなっています。

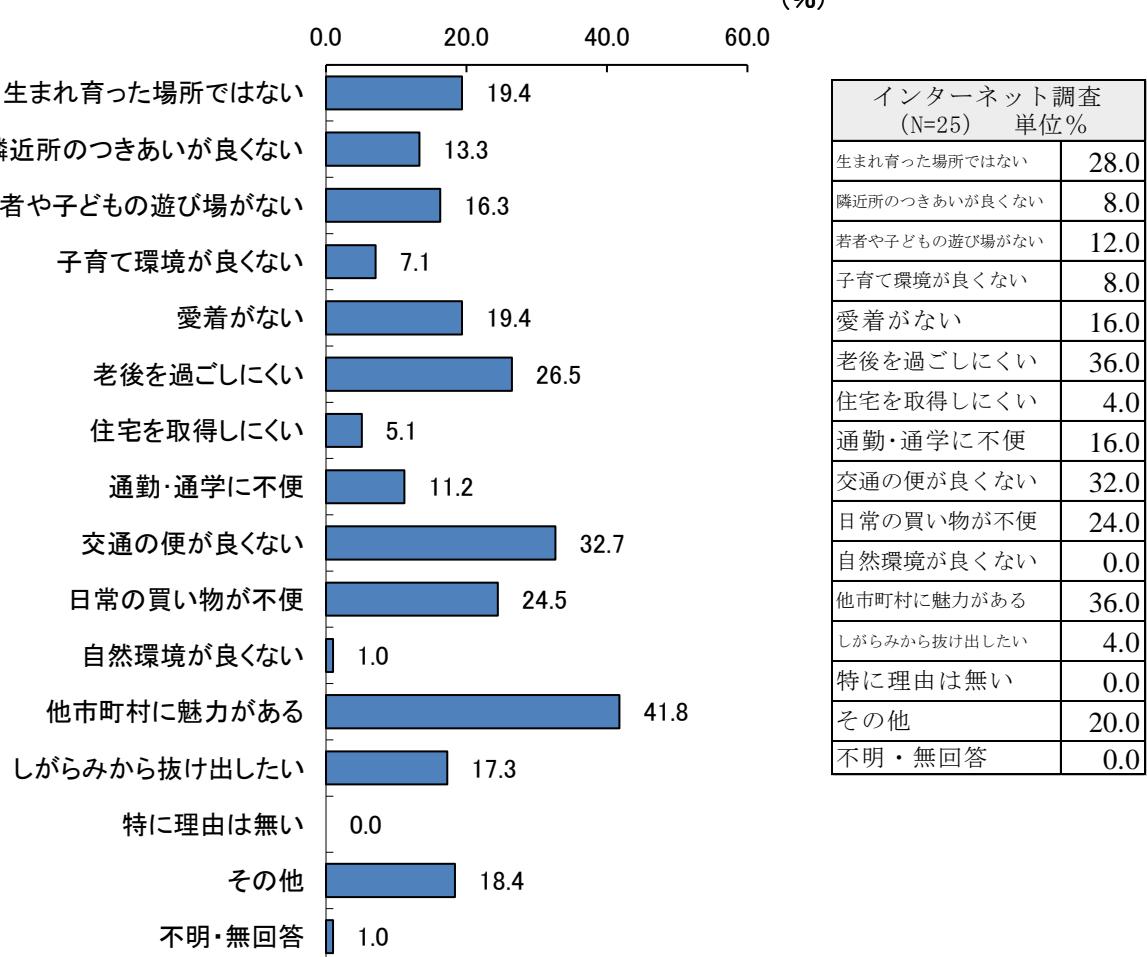
年代別では、いずれの年代でも「他市町村に魅力がある」が3割を超えています。

地区別では、加積・道下で「他市町村に魅力がある」が4割を超えています。

居住年数別では、5年以上10年未満を除いて「交通の便が良くない」が3割を超えています。

【単純集計】

今回調査(N=98)



【クロス集計】

(単位 : %)

	生まれ育つた場所ではない	隣近所のつきあいが良くない	若者や子どもの遊び場がない	子育て環境が良くない	愛着がない	老後を過ごしにくい	住宅を取得しにくい	通勤・通学に不便	交通の便が良くない	日常の買い物が不便	自然環境が良くない	他市町村に魅力がある	しがらみから抜け出したい	特に理由は無い	その他	不明・無回答
全体(N=98)	19.4	13.3	16.3	7.1	19.4	26.5	5.1	11.2	32.7	24.5	1.0	41.8	17.3	-	18.4	1.0
【◆性別】																
男性(N=36)	19.4	5.6	11.1	-	13.9	30.6	5.6	13.9	30.6	22.2	2.8	44.4	13.9	-	13.9	2.8
女性(N=59)	20.3	16.9	18.6	8.5	20.3	23.7	5.1	10.2	35.6	27.1	-	40.7	20.3	-	20.3	-
【◆年齢別】																
10代(N=2)	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0	100.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-
20代(N=15)	6.7	-	26.7	6.7	20.0	-	-	33.3	13.3	33.3	-	40.0	6.7	-	6.7	-
30代(N=18)	44.4	11.1	27.8	22.2	22.2	16.7	16.7	5.6	33.3	11.1	-	33.3	5.6	-	27.8	-
40代(N=15)	20.0	6.7	13.3	6.7	13.3	40.0	6.7	6.7	46.7	-	-	53.3	13.3	-	6.7	-
50代(N=27)	18.5	18.5	7.4	3.7	22.2	22.2	-	11.1	29.6	25.9	-	44.4	25.9	-	29.6	-
60代(N=13)	-	15.4	-	-	23.1	61.5	7.7	-	46.2	46.2	7.7	38.5	30.8	-	15.4	-
70代以上(N=8)	25.0	37.5	25.0	-	12.5	37.5	-	-	12.5	37.5	-	37.5	25.0	-	12.5	12.5
【◆地区別】																
大町(N=2)	-	50.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-
村木(N=2)	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	100.0	-	-	-	-
下中島(N=8)	25.0	-	-	-	12.5	12.5	-	12.5	-	25.0	-	75.0	37.5	-	37.5	12.5
上中島(N=3)	33.3	-	-	-	33.3	33.3	-	33.3	66.7	66.7	-	-	33.3	-	-	-
松倉(N=2)	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-
上野方(N=6)	33.3	33.3	33.3	16.7	-	16.7	-	33.3	50.0	50.0	-	16.7	-	-	-	-
本江(N=19)	10.5	15.8	21.1	15.8	21.1	26.3	10.5	15.8	42.1	5.3	-	36.8	21.1	-	15.8	-
片貝(N=2)	-	50.0	-	-	50.0	-	-	50.0	100.0	-	-	50.0	-	-	-	-
加積(N=14)	-	7.1	21.4	7.1	14.3	42.9	-	14.3	28.6	14.3	-	57.1	14.3	-	14.3	-
道下(N=18)	22.2	11.1	33.3	-	27.8	22.2	11.1	5.6	33.3	33.3	-	44.4	5.6	-	22.2	-
経田(N=6)	50.0	-	16.7	16.7	-	50.0	-	-	33.3	16.7	-	33.3	16.7	-	16.7	-
天神(N=7)	14.3	14.3	-	-	28.6	42.9	-	-	14.3	-	14.3	42.9	14.3	-	28.6	-
西布施(N=3)	33.3	66.7	-	-	-	33.3	-	-	33.3	33.3	-	-	66.7	-	33.3	-
【◆居住年数別】																
5年未満(N=15)	33.3	13.3	26.7	-	20.0	13.3	13.3	6.7	40.0	33.3	-	60.0	-	-	13.3	-
5年以上10年未満(N=6)	50.0	16.7	-	16.7	33.3	50.0	-	16.7	16.7	16.7	16.7	50.0	-	-	16.7	-
10年以上20年未満(N=18)	27.8	22.2	33.3	11.1	22.2	16.7	5.6	11.1	33.3	16.7	-	11.1	16.7	-	16.7	-
20年以上(N=23)	26.1	17.4	8.7	-	26.1	39.1	4.3	-	34.8	34.8	-	39.1	17.4	-	13.0	4.3
生まれた時から(N=36)	-	5.6	11.1	11.1	11.1	25.0	2.8	19.4	30.6	19.4	-	50.0	27.8	-	25.0	-

※分類ごとの上位のものに対して、網掛けを施しています。

3 第5次魚津市総合計画の評価について

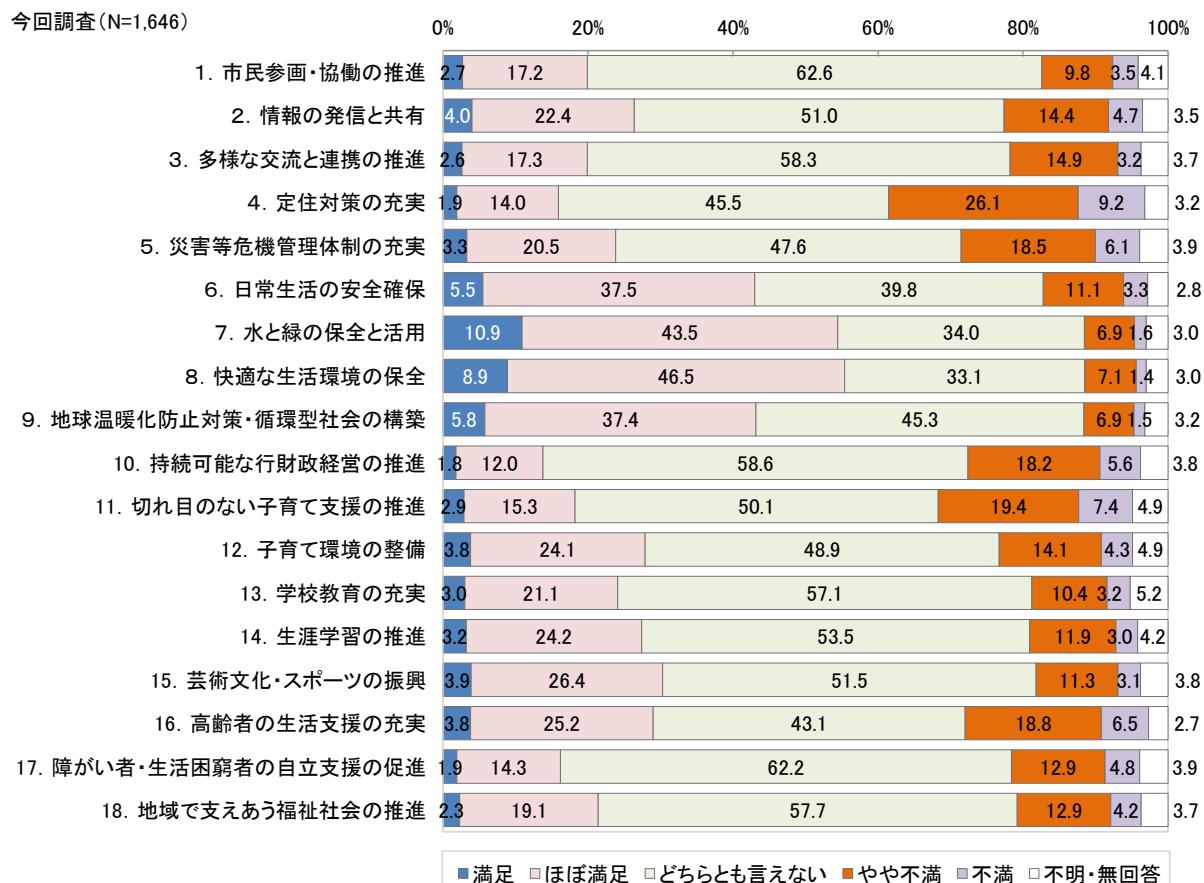
問6 魚津市では、第5次総合計画において、将来都市像の実現を目指し「35の施策」を設定しています。それぞれの施策に対して、どの程度満足しているかお答えください。(単数回答)

(1) 全体結果

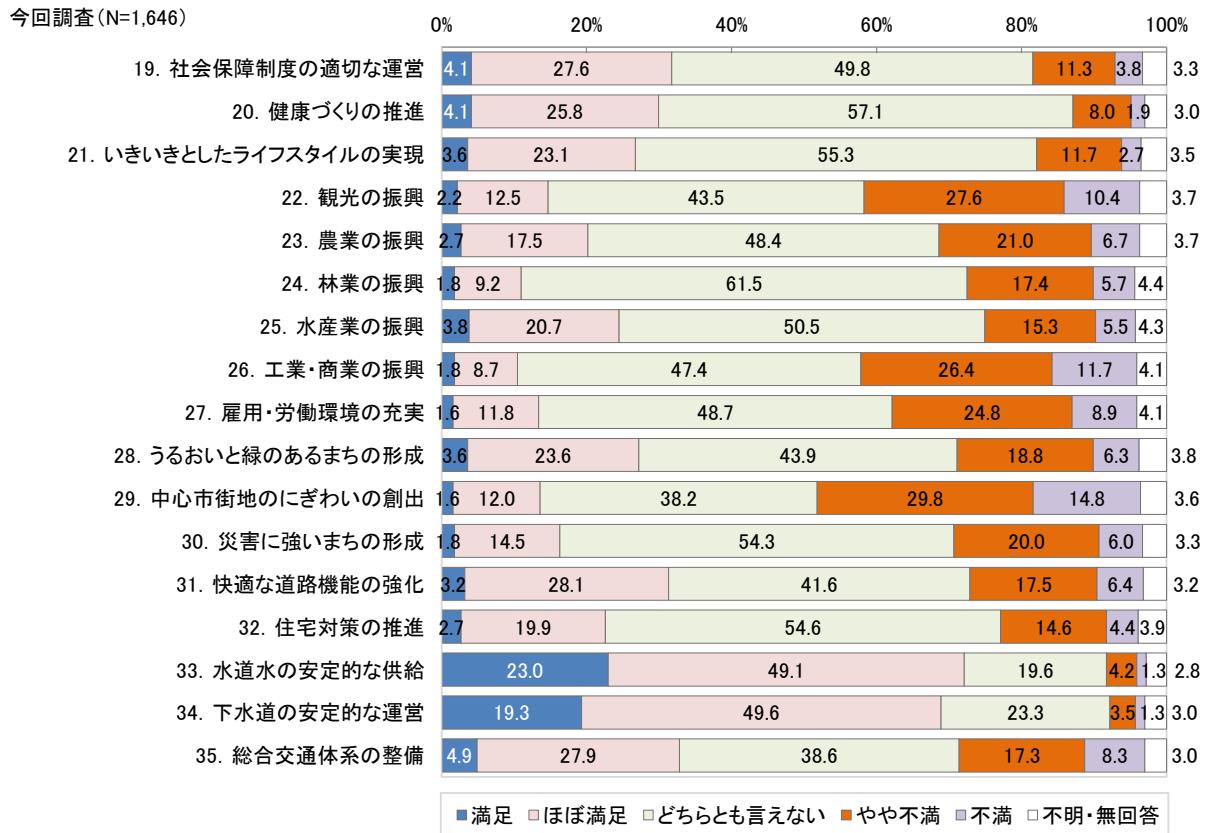
「満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』は、〔33. 水道水の安定的な供給〕が72.1%と最も高く、次いで〔34. 下水道の安定的な運営〕が68.9%、〔8. 快適な生活環境の保全〕が55.4%、〔7. 水と緑の保全と活用〕が54.4%となっています。

「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』は、〔29. 中心市街地のにぎわいの創出〕が44.6%と最も高く、次いで〔26. 工業・商業の振興〕が38.1%、〔22. 観光の振興〕が38.0%となっています。

【単純集計】



【単純集計（続き）】



◎上位5位（「満足」「ほぼ満足」の割合）

■今回調査

	満足	ほぼ満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	不明・無回答
33. 水道水の安定的な供給	23.0	49.1	19.6	4.2	1.3	2.8
34. 下水道の安定的な運営	19.3	49.6	23.3	3.5	1.3	3.0
8. 快適な生活環境の保全	8.9	46.5	33.1	7.1	1.4	3.0
7. 水と緑の保全と活用	10.9	43.5	34.0	6.9	1.6	3.0
9. 地球温暖化防止対策・循環型社会の構築	5.8	37.4	45.3	6.9	1.5	3.2

◎下位5位（「やや不満」「不満」の割合）

■今回調査

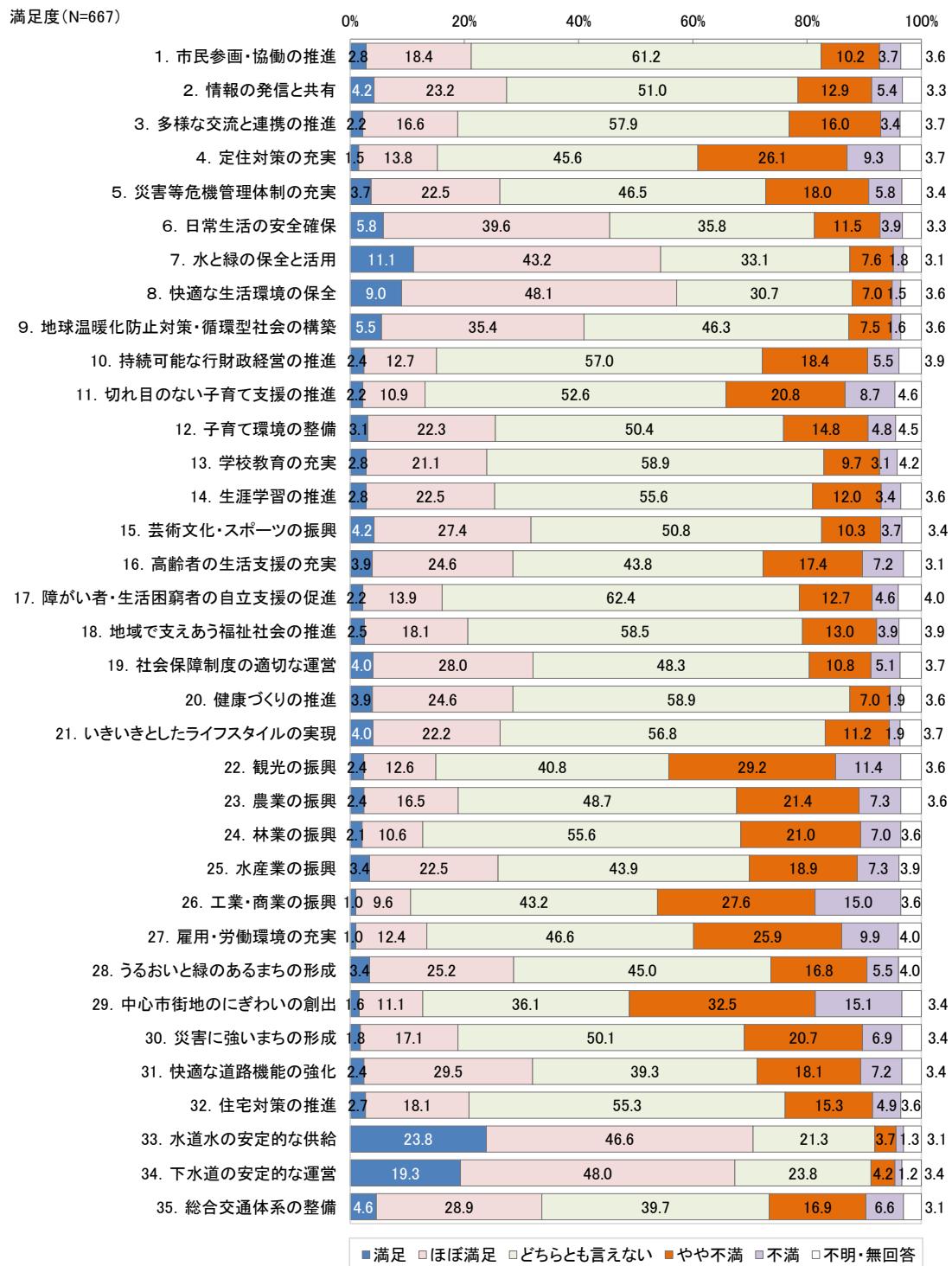
	満足	ほぼ満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	不明・無回答
29. 中心市街地のにぎわいの創出	1.6	12.0	38.2	29.8	14.8	3.6
26. 工業・商業の振興	1.8	8.7	47.4	26.4	11.7	4.1
22. 観光の振興	2.2	12.5	43.5	27.6	10.4	3.7
4. 定住対策の充実	1.9	14.0	45.5	26.1	9.2	3.2
27. 雇用・労働環境の充実	1.6	11.8	48.7	24.8	8.9	4.1

インターネット調査 (N=197) 単位%						
	満足	ほぼ満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	不明・無回答
1. 市民参画・協働の推進	3.6	10.7	61.4	17.3	7.1	0.0
2. 情報の発信と共有	3.6	25.4	41.6	19.3	10.2	0.0
3. 多様な交流と連携の推進	5.1	15.2	49.2	17.8	11.7	1.0
4. 定住対策の充実	3.0	13.7	33.5	29.9	18.8	1.0
5. 災害等危機管理体制の充実	3.6	24.9	39.6	21.3	10.7	0.0
6. 日常生活の安全確保	7.1	34.5	29.9	19.8	7.6	1.0
7. 水と緑の保全と活用	14.2	42.1	31.0	9.6	2.5	0.5
8. 快適な生活環境の保全	12.7	48.2	25.9	9.6	2.0	1.5
9. 地球温暖化防止対策・循環型社会の構築	7.6	43.1	36.0	9.6	3.6	0.0
10. 持続可能な行財政経営の推進	3.0	10.2	51.8	20.8	14.2	0.0
11. 切れ目のない子育て支援の推進	4.6	16.8	36.5	22.8	18.3	1.0
12. 子育て環境の整備	4.6	25.4	38.6	18.8	11.7	1.0
13. 学校教育の充実	3.6	26.9	46.2	15.7	6.6	1.0
14. 生涯学習の推進	3.6	25.4	45.7	17.3	8.1	0.0
15. 芸術文化・スポーツの振興	7.1	31.0	37.1	14.7	10.2	0.0
16. 高齢者の生活支援の充実	8.1	24.9	43.1	12.7	10.7	0.5
17. 障がい者・生活困窮者の自立支援の促進	4.6	13.7	59.4	13.7	8.1	0.5
18. 地域で支えあう福祉社会の推進	3.6	18.3	52.3	16.8	8.1	1.0
19. 社会保障制度の適切な運営	7.6	22.8	50.8	10.2	8.6	0.0
20. 健康づくりの推進	5.6	29.4	47.2	12.7	5.1	0.0
21. いきいきとしたライフスタイルの実現	5.1	27.4	46.7	13.7	6.1	1.0
22. 観光の振興	3.0	10.7	32.5	33.0	20.8	0.0
23. 農業の振興	4.1	14.7	45.7	22.8	12.2	0.5
24. 林業の振興	2.0	14.7	53.8	20.8	8.1	0.5
25. 水産業の振興	8.1	20.8	35.0	23.9	10.7	1.5
26. 工業・商業の振興	2.5	10.2	36.5	28.9	20.8	1.0
27. 雇用・労働環境の充実	2.5	8.6	37.6	32.0	17.8	1.5
28. うるおいと緑のあるまちの形成	5.6	31.5	28.9	21.3	12.7	0.0
29. 中心市街地のにぎわいの創出	3.6	14.2	28.4	30.5	23.4	0.0
30. 災害に強いまちの形成	4.1	14.2	44.2	24.9	11.7	1.0
31. 快適な道路機能の強化	5.1	30.5	28.9	18.3	17.3	0.0
32. 住宅対策の推進	5.1	22.3	41.6	21.8	9.1	0.0
33. 水道水の安定的な供給	38.1	41.6	12.7	2.5	5.1	0.0
34. 下水道の安定的な運営	34.0	41.6	15.7	3.0	5.1	0.5
35. 総合交通体系の整備	7.1	24.4	28.4	20.8	19.3	0.0

(2) 性別

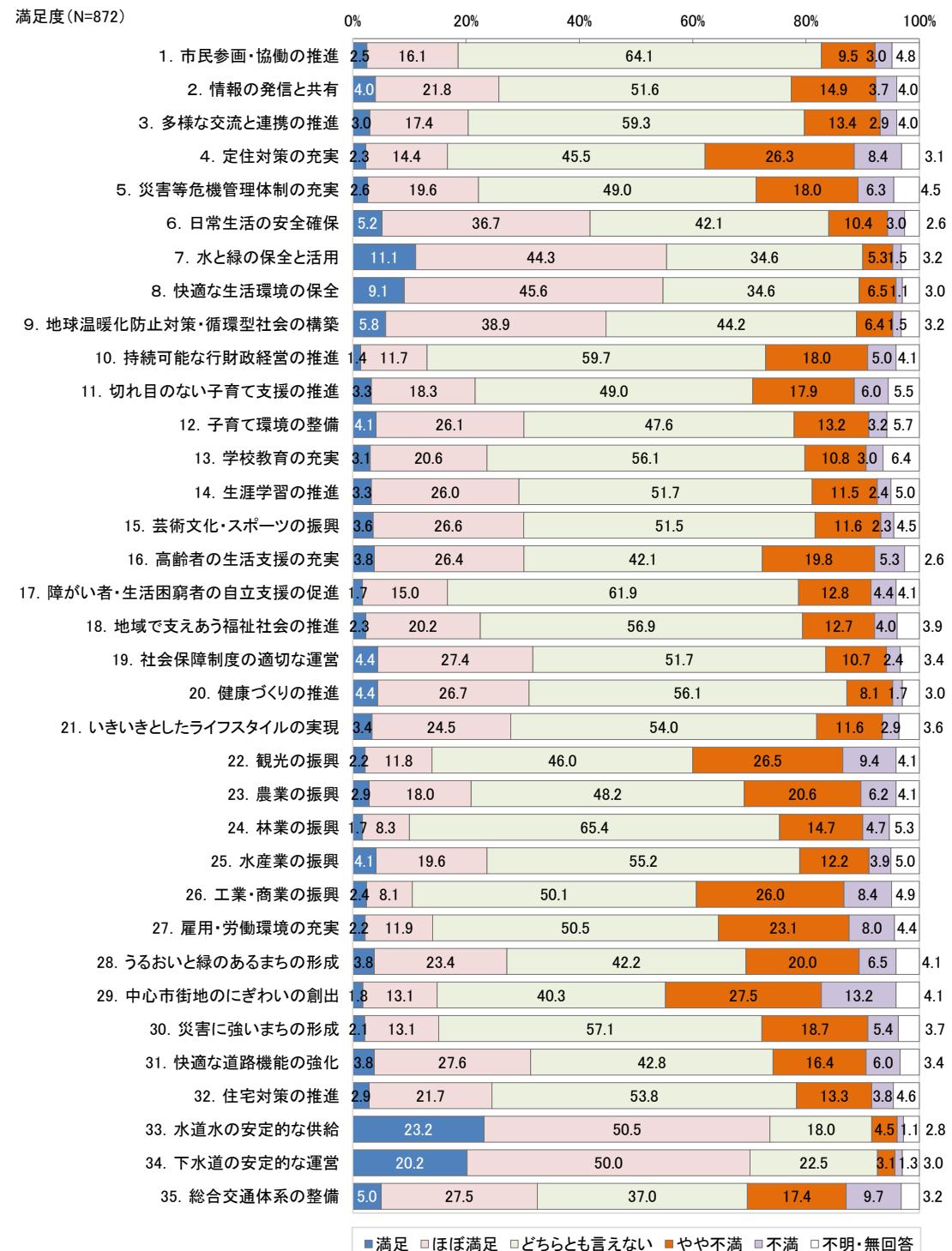
男性

満足度の高い項目は〔33. 水道水の安定的な供給〕〔34. 下水道の安定的な運営〕〔8. 快適な生活環境の保全〕などで、不満度の高い項目は〔29. 中心市街地のにぎわいの創出〕〔26. 工業・商業の振興〕〔22. 観光の振興〕などとなっています。



女性

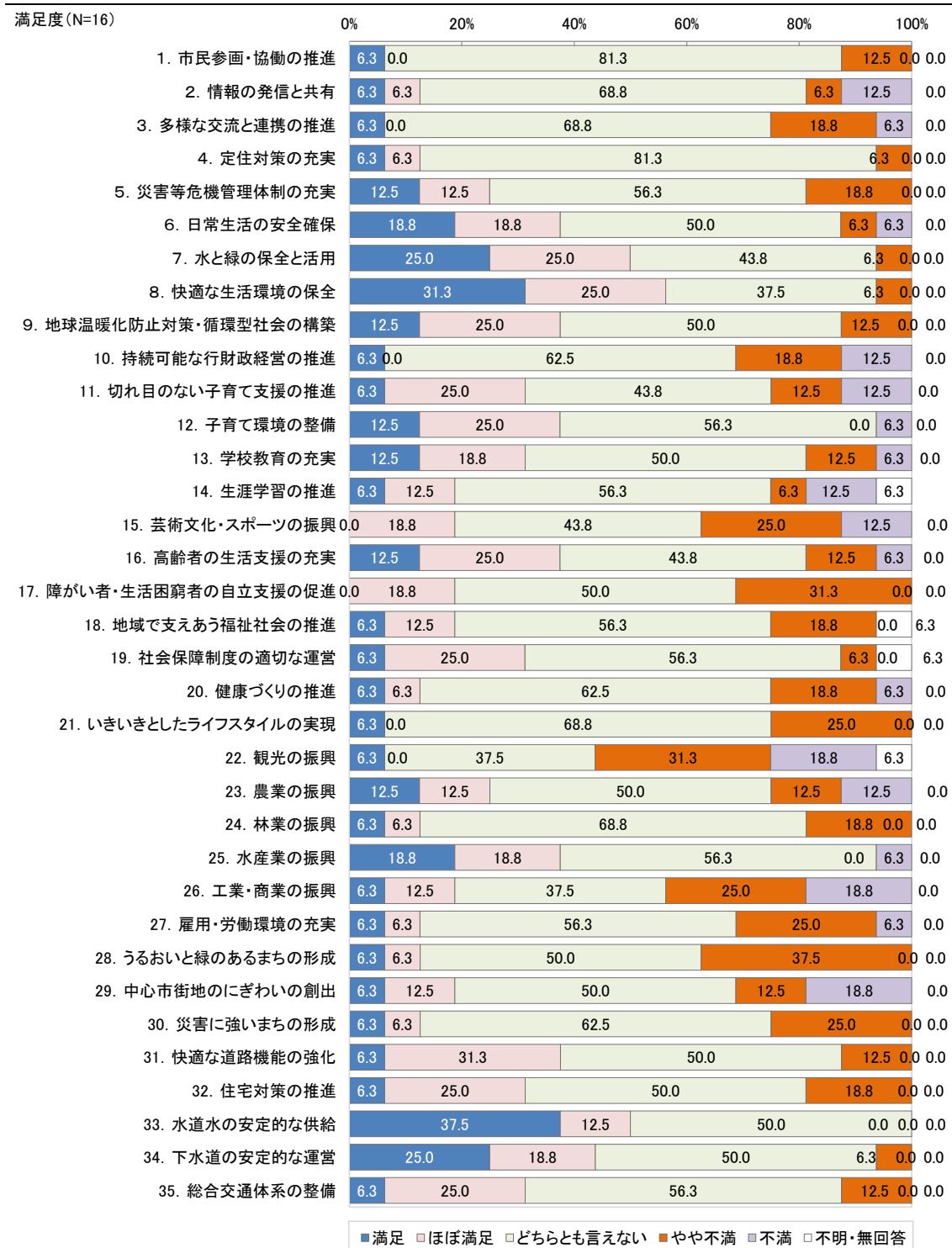
満足度の高い項目は〔33. 水道水の安定的な供給〕〔34. 下水道の安定的な運営〕〔7. 水と緑の保全と活用〕などで、不満度の高い項目は〔29. 中心市街地のにぎわいの創出〕〔22. 観光の振興〕〔4. 定住対策の充実〕などとなっています。



(3) 年代別

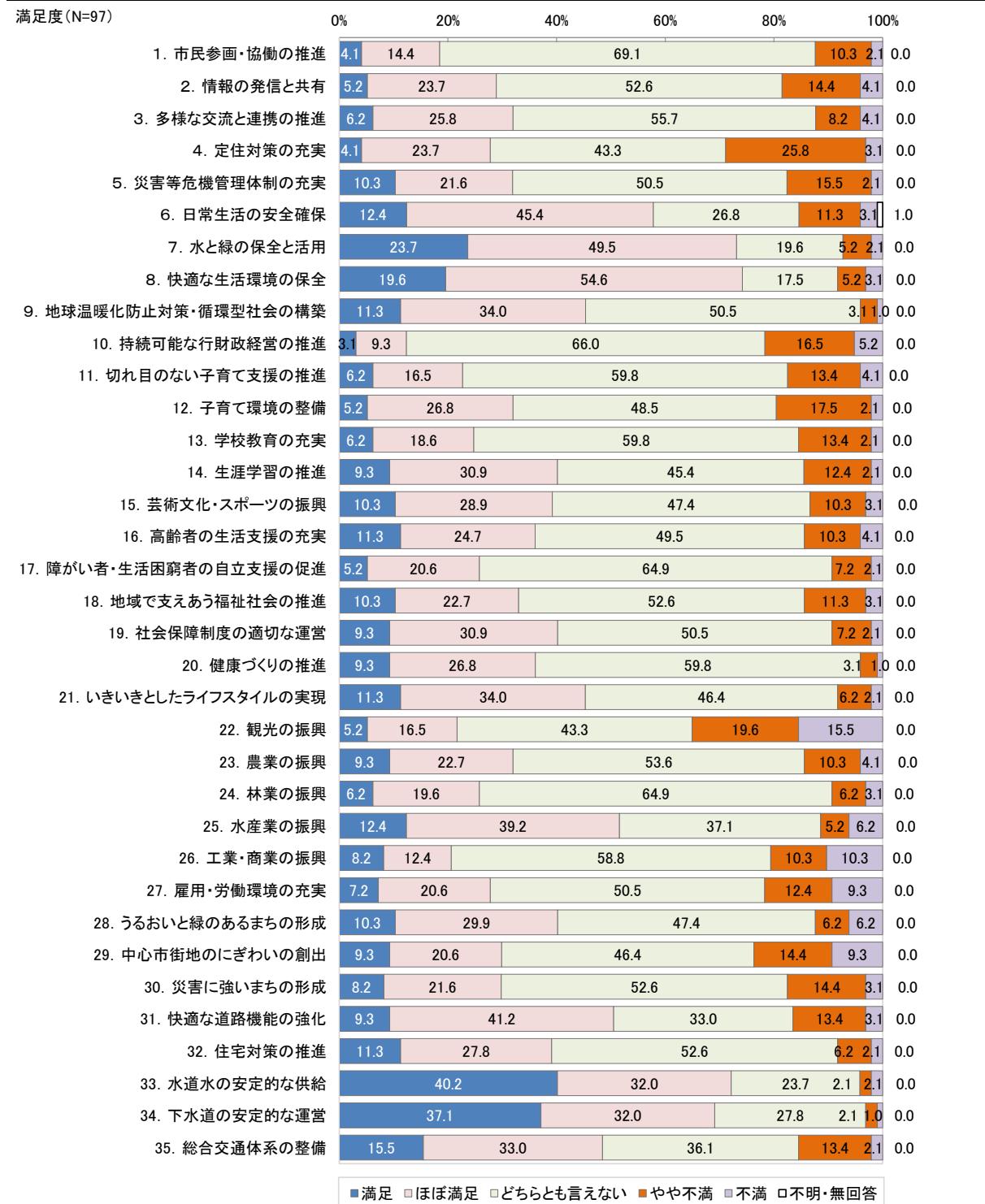
10代

満足度の高い項目は〔8. 快適な生活環境の保全〕〔7. 水と緑の保全と活用〕〔33. 水道水の安定的な供給〕などで、不満度の高い項目は〔22. 観光の振興〕〔26. 工業・商業の振興〕〔15. 芸術文化・スポーツの振興〕〔28. うるおいと緑のあるまちの形成〕などとなっています。



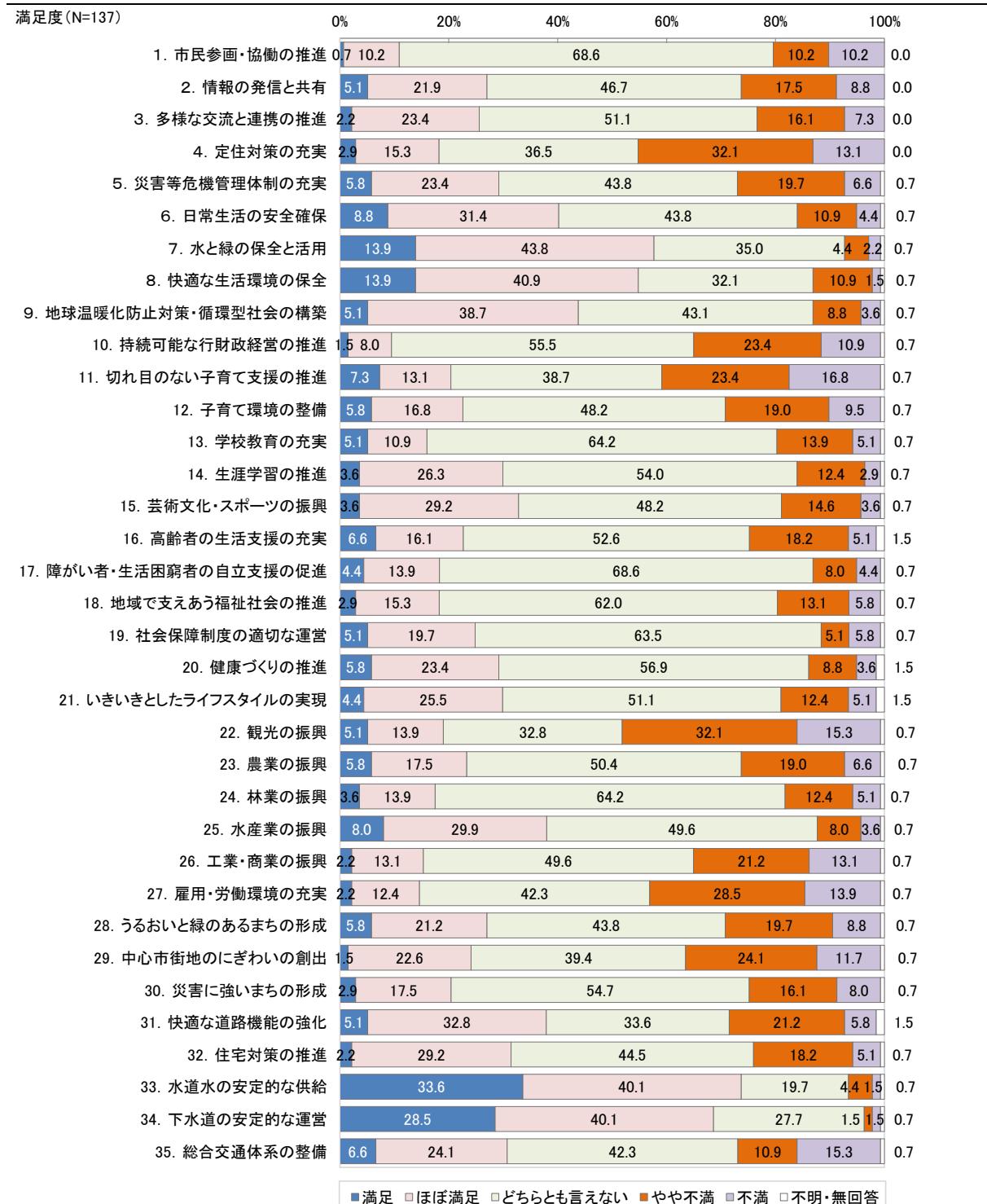
20代

満足度の高い項目は〔8. 快適な生活環境の保全〕〔7. 水と緑の保全と活用〕〔33. 水道水の安定的な供給〕などで、不満度の高い項目は〔22. 観光の振興〕〔4. 定住対策の充実〕〔29. 中心市街地のにぎわいの創出〕などとなっています。



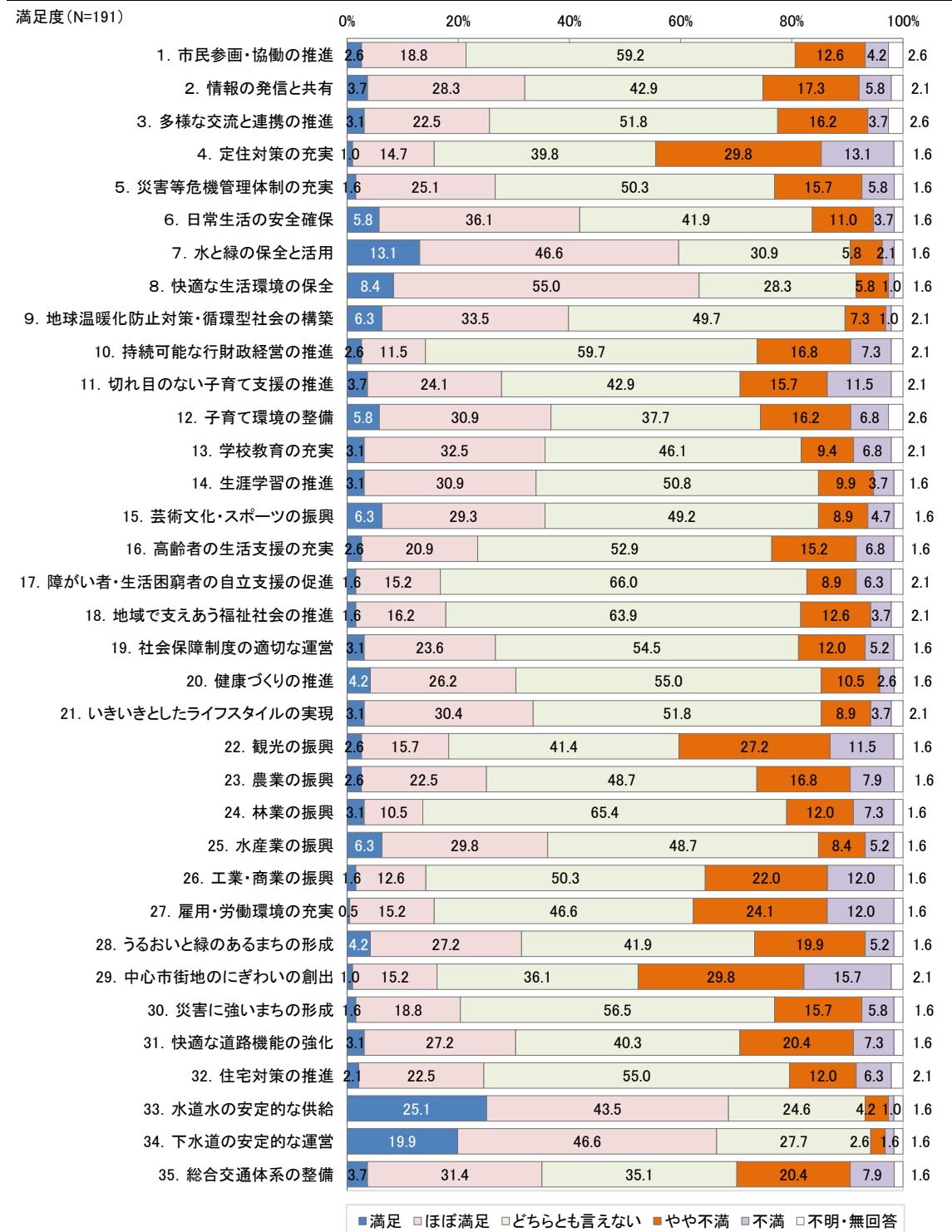
30代

満足度の高い項目は〔33. 水道水の安定的な供給〕〔34. 下水道の安定的な運営〕〔7. 水と緑の保全と活用〕などで、不満度の高い項目は〔22. 観光の振興〕〔4. 定住対策の充実〕〔27. 雇用・労働環境の充実〕などとなっています。



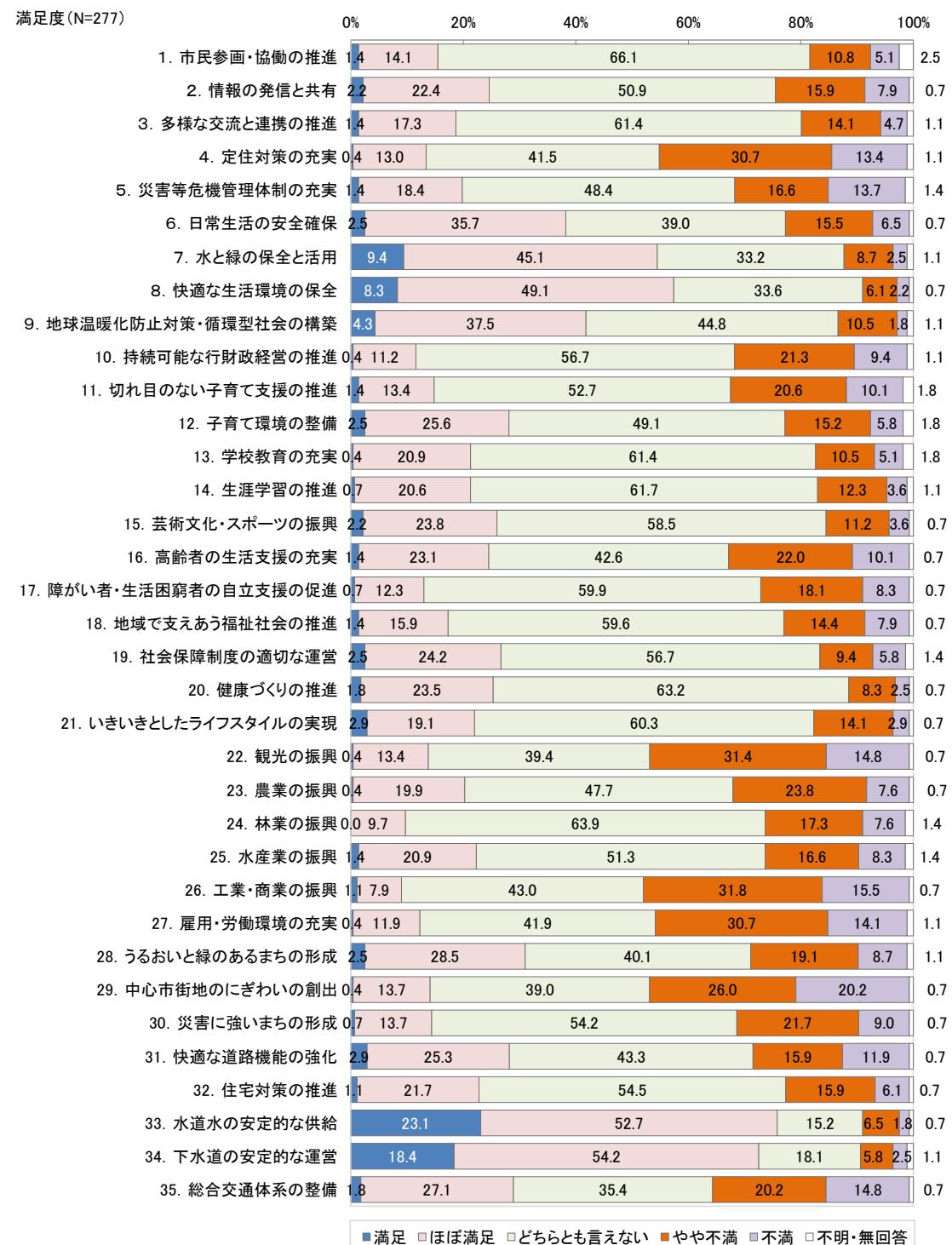
40代

満足度の高い項目は〔33. 水道水の安定的な供給〕〔34. 下水道の安定的な運営〕〔8. 快適な生活環境の保全〕などで、不満度の高い項目は〔29. 中心市街地のにぎわいの創出〕〔4. 定住対策の充実〕〔22. 観光の振興〕などとなっています。



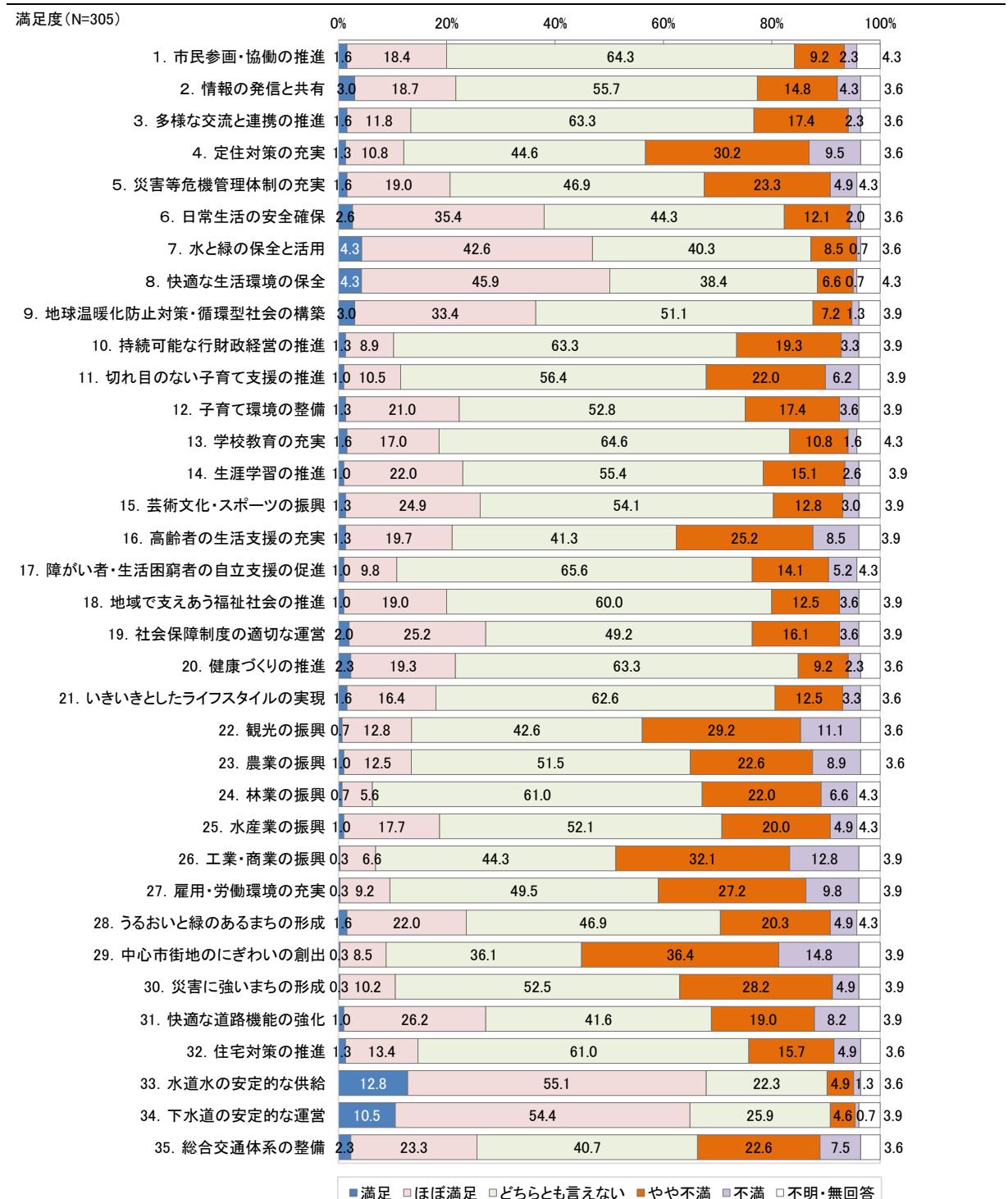
50代

満足度の高い項目は〔33. 水道水の安定的な供給〕〔34. 下水道の安定的な運営〕〔8. 快適な生活環境の保全〕などで、不満度の高い項目は〔26. 工業・商業の振興〕〔22. 観光の振興〕〔29. 中心市街地のにぎわいの創出〕などとなっています。



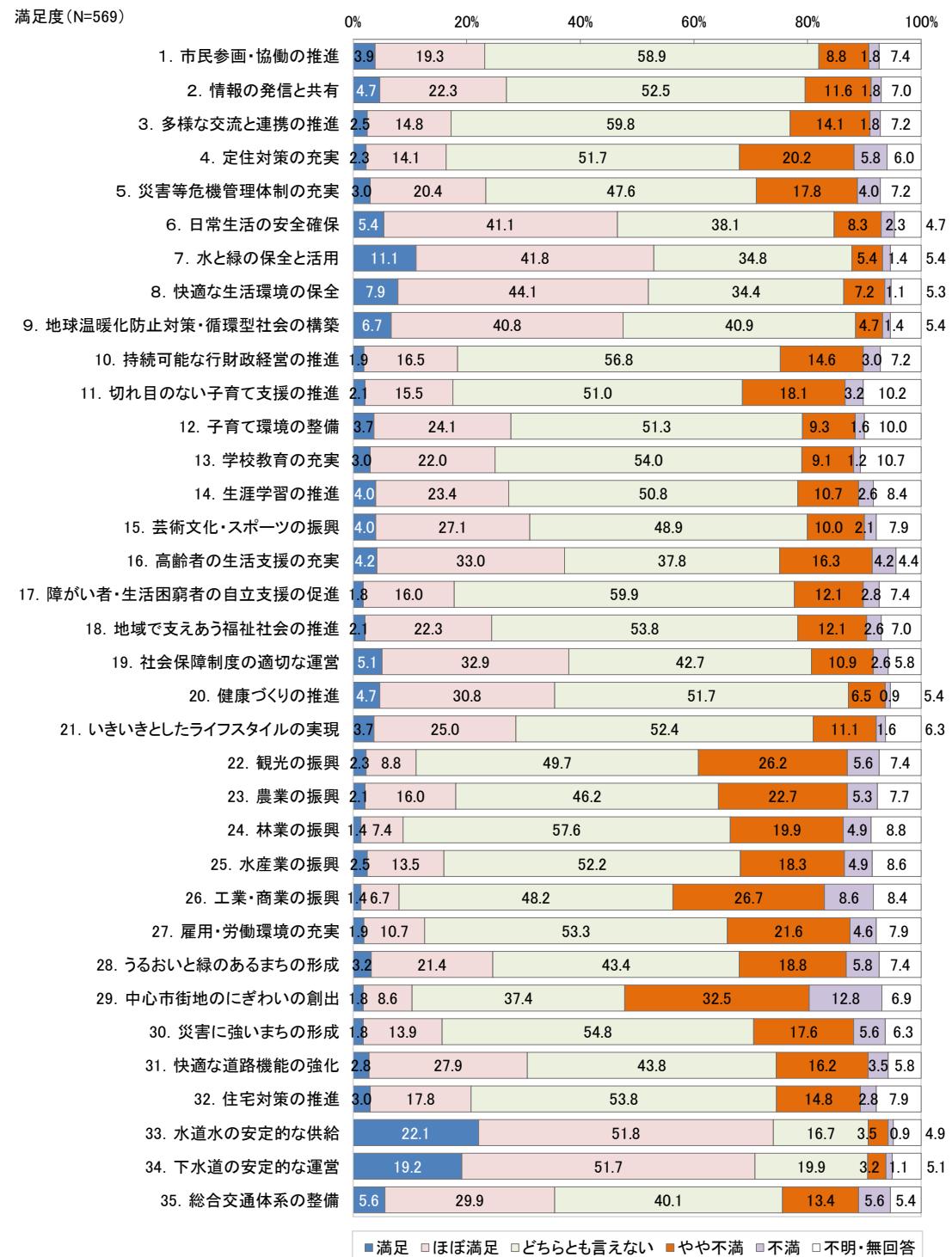
60代

満足度の高い項目は〔33. 水道水の安定的な供給〕〔34. 下水道の安定的な運営〕〔8. 快適な生活環境の保全〕などで、不満度の高い項目は〔29. 中心市街地のにぎわいの創出〕〔26. 工業・商業の振興〕〔22. 観光の振興〕などとなっています。



70代以上

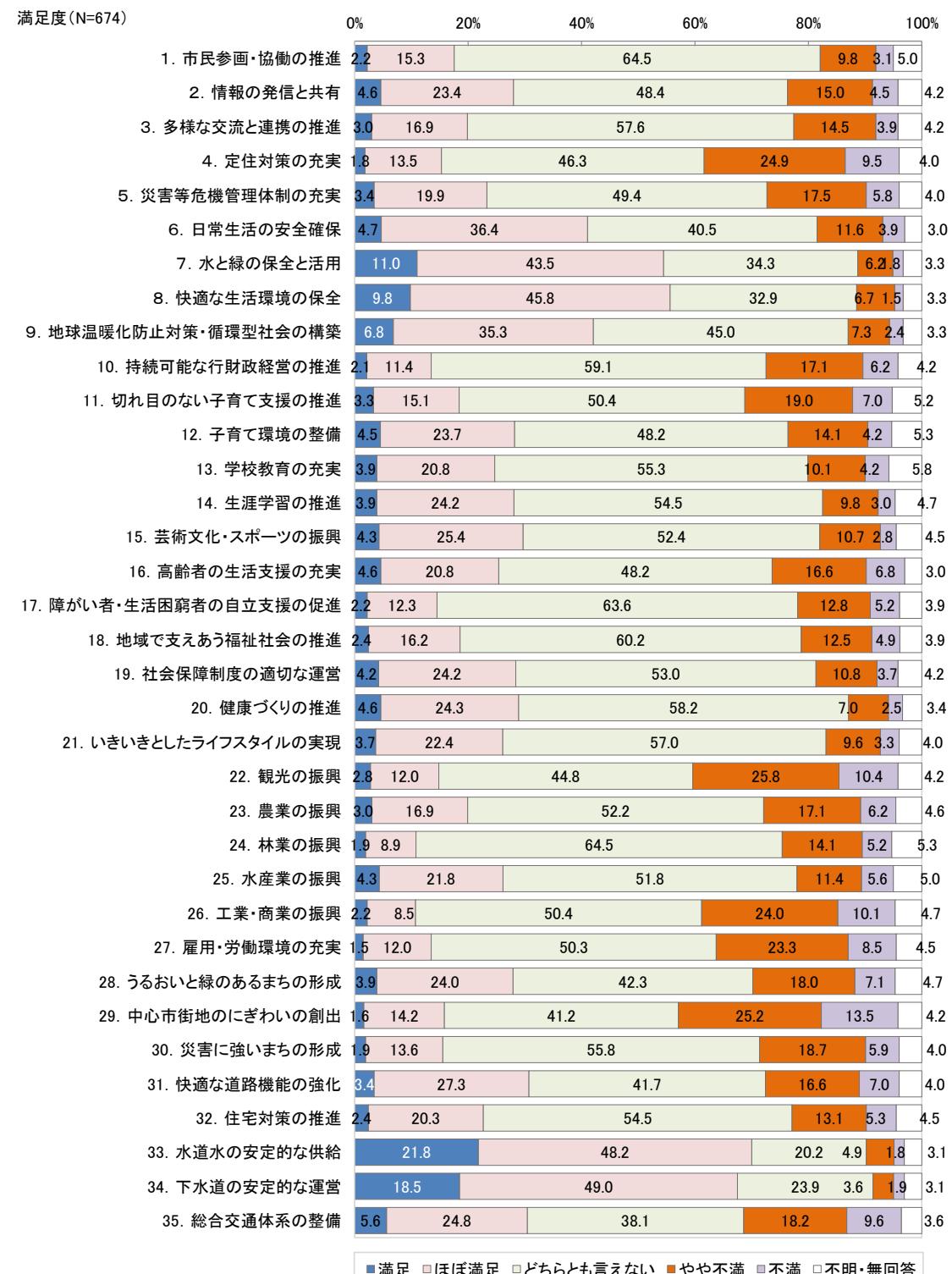
満足度の高い項目は〔33. 水道水の安定的な供給〕〔34. 下水道の安定的な運営〕〔7. 水と緑の保全と活用〕などで、不満度の高い項目は〔29. 中心市街地のにぎわいの創出〕〔26. 工業・商業の振興〕〔22. 観光の振興〕などとなっています。



(4) 居住年数別〔転入者、出身者〕

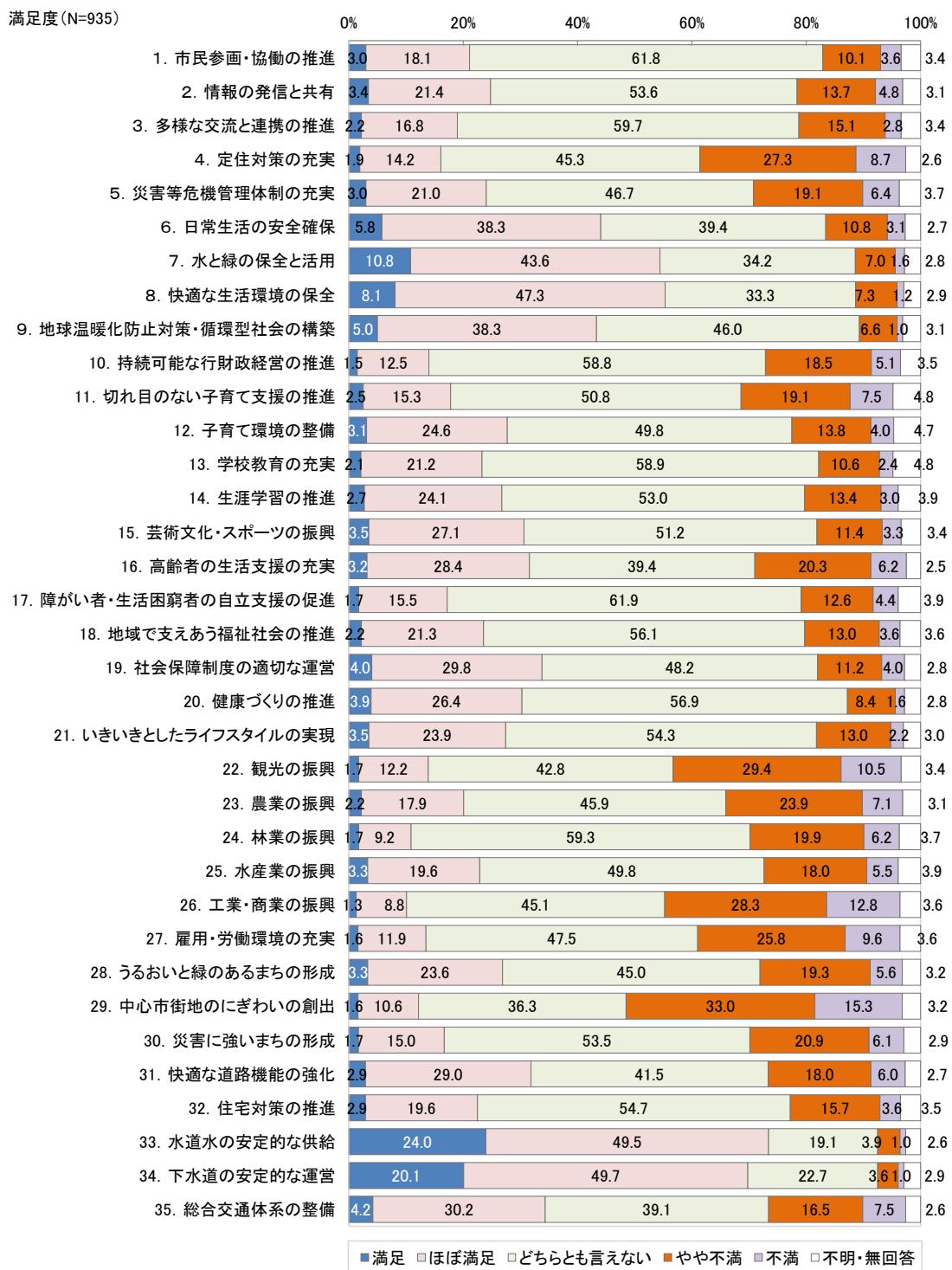
転入者

満足度の高い項目は〔33. 水道水の安定的な供給〕〔34. 下水道の安定的な運営〕〔8. 快適な生活環境の保全〕などで、不満度の高い項目は〔29. 中心市街地のにぎわいの創出〕〔22. 観光の振興〕〔4. 定住対策の充実〕などとなっています。



出身者

満足度の高い項目は〔33. 水道水の安定的な供給〕〔34. 下水道の安定的な運営〕〔8. 快適な生活環境の保全〕などで、不満度の高い項目は〔29. 中心市街地のにぎわいの創出〕〔26. 工業・商業の振興〕〔22. 観光の振興〕などとなっています。



(5) 満足度【点数化】

満足度をそれぞれ点数化し、各施策の満足度を評価します。

満足度は高い順に、〔33. 水道水の安定的な供給〕、〔34. 下水道の安定的な運営〕、〔7. 水と緑の保全と活用〕となっています。また、低い順に、〔29. 中心市街地のにぎわいの創出〕、〔26. 工業・商業の振興〕、〔22. 観光の振興〕となっています。

【点数化の方法】

満足度	
満足	+2点
ほぼ満足	+1点
どちらとも言えない	0点
やや不満	-1点
不満	-2点

上記の点数に回答者数の割合を乗じ、それぞれの項目の点数とします。

(例)

	満足	ほぼ満足	どちらとも 言えない	どちらかと いえば不満	不満	不明・ 無回答
1. 市民参画・ 協働の推進	2.7%	17.2%	62.6%	9.8%	3.5%	4.1%

$$\text{点数} = 2 \times 2.7\% + 1 \times 17.2\% + 0 \times 62.6\% + (-1) \times 9.8\% + (-2) \times 3.5\% = 0.058$$

番号	満足度	施策
1	0.058	市民参画・協働の推進
2	0.066	情報の発信と共有
3	0.012	多様な交流と連携の推進
4	-0.267	定住対策の充実
5	-0.036	災害等危機管理体制の充実
6	0.308	日常生活の安全確保
7	0.552	水と緑の保全と活用
8	0.544	快適な生活環境の保全
9	0.391	地球温暖化防止対策・循環型社会の構築
10	-0.138	持続可能な行財政経営の推進
11	-0.131	切れ目のない子育て支援の推進
12	0.090	子育て環境の整備
13	0.103	学校教育の充実
14	0.127	生涯学習の推進
15	0.167	芸術文化・スポーツの振興
16	0.010	高齢者の生活支援の充実
17	-0.044	障がい者・生活困窮者の自立支援の促進
18	0.024	地域で支えあう福祉社会の推進
19	0.169	社会保障制度の適切な運営
20	0.222	健康づくりの推進
21	0.132	いきいきとしたライフスタイルの実現
22	-0.315	観光の振興
23	-0.115	農業の振興
24	-0.160	林業の振興
25	0.020	水産業の振興
26	-0.375	工業・商業の振興
27	-0.276	雇用・労働環境の充実
28	-0.006	うるおいと緑のあるまちの形成
29	-0.442	中心市街地のにぎわいの創出
30	-0.139	災害に強いまちの形成
31	0.042	快適な道路機能の強化
32	0.019	住宅対策の推進
33	0.883	水道水の安定的な供給
34	0.821	下水道の安定的な運営
35	0.038	総合交通体系の整備

※分類ごとの上位3つ(薄い赤)、下位3つ(薄い緑)のものに対して、網掛けを施しています。

問7 前述の1~35の市の施策の中で、今後、特に魚津市が力を入れるべき施策を選んでください。(複数回答)

今後、特に魚津市が力を入れるべき施策についてみると、「16. 高齢者の生活支援の充実」が28.9%と最も高く、次いで「11. 切れ目のない子育て支援の推進」が27.0%、「29. 中心市街地のにぎわいの創出」が24.4%となっています。

性別では、「26. 工業・商業の振興」は男性が22.6%、女性が13.8%と、男性が8.8ポイント高くなっています。

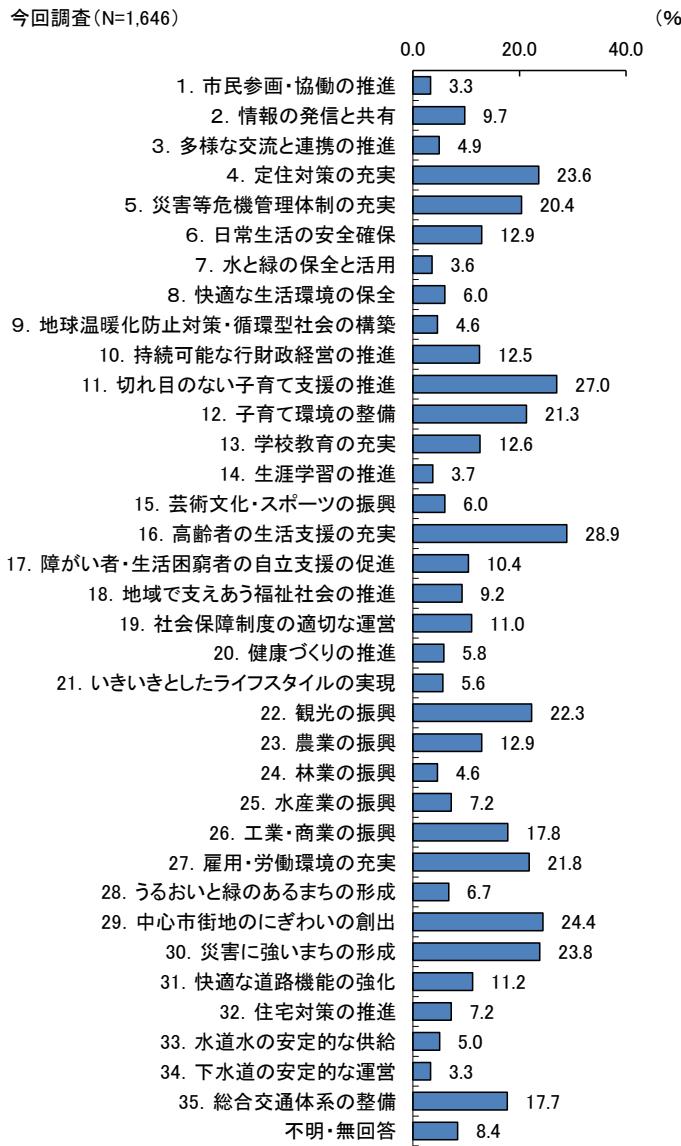
年代別では、20代・30代で「12. 子育て環境の整備」が4割を超え、他の割合よりも高くなっています。

地区別では、片貝・西布施で「23. 農業の振興」が3割台となっています。

居住年数別では、5年以上10年未満で「4. 定住対策の充実」が4割を超えています。

【単純集計】

今回調査(N=1,646)



インターネット調査 (N=197) 単位%	
1. 市民参画・協働の推進	13.2
2. 情報の発信と共有	17.3
3. 多様な交流と連携の推進	7.6
4. 定住対策の充実	25.4
5. 災害等危機管理体制の充実	22.3
6. 日常生活の安全確保	14.7
7. 水と緑の保全と活用	7.1
8. 快適な生活環境の保全	16.2
9. 地球温暖化防止対策・循環型社会の構築	6.1
10. 持続可能な行財政経営の推進	16.2
11. 切れ目のない子育て支援の推進	30.5
12. 子育て環境の整備	31.5
13. 学校教育の充実	13.2
14. 生涯学習の推進	4.1
15. 芸術文化・スポーツの振興	11.7
16. 高齢者の生活支援の充実	22.3
17. 障がい者・生活困窮者の自立支援の促進	7.1
18. 地域で支えあう福祉社会の推進	4.1
19. 社会保障制度の適切な運営	7.1
20. 健康づくりの推進	5.1
21. いきいきとしたライフスタイルの実現	7.1
22. 観光の振興	23.4
23. 農業の振興	8.6
24. 林業の振興	0.5
25. 水産業の振興	4.6
26. 工業・商業の振興	13.2
27. 雇用・労働環境の充実	17.3
28. うるおいと緑のあるまちの形成	3.0
29. 中心市街地のにぎわいの創出	17.8
30. 災害に強いまちの形成	13.2
31. 快適な道路機能の強化	10.2
32. 住宅対策の推進	5.6
33. 水道水の安定的な供給	4.6
34. 下水道の安定的な運営	2.0
35. 総合交通体系の整備	21.8
不明・無回答	0.5

【クロス集計】

(単位 : %)

	1. 市民参画・協働の推進	2. 情報の発信と共有	3. 推進的な交流と連携の充実	4. 定住対策の充実	5. 災害等危機管理体制の充実	6. 日常生活の安全確保	7. 水と緑の保全と活用	8. 快適な生活環境の保全	9. 循環型社会防止対策・構築	10. 持続可能な財政経営	11. 支援の推進	12. 子育て環境の整備	13. 学校教育の充実	14. 生涯学習の推進	15. 振興文化・スポーツの充実	16. 高齢者の生活支援の充実	17. 障がい者の自立支援の生活促進	18. 地域での支えあう福祉
全体(N=1,646)	3.3	9.7	4.9	23.6	20.4	12.9	3.6	6.0	4.6	12.5	27.0	21.3	12.6	3.7	6.0	28.9	10.4	9.2
【◆性別】																		
男性(N=667)	3.9	9.7	6.0	26.5	18.9	11.8	5.2	6.1	3.7	13.0	28.5	21.7	11.7	4.3	7.6	25.5	8.4	6.9
女性(N=872)	3.0	9.3	4.2	21.6	21.8	13.6	2.6	6.0	5.3	11.9	25.9	21.2	12.7	3.2	4.8	31.2	11.2	10.9
【◆年齢別】																		
10代(N=16)	-	6.3	12.5	6.3	37.5	25.0	-	6.3	6.3	25.0	25.0	18.8	37.5	6.3	43.8	43.8	25.0	-
20代(N=97)	3.1	15.5	3.1	18.6	16.5	10.3	5.2	9.3	2.1	10.3	40.2	42.3	18.6	7.2	12.4	14.4	5.2	5.2
30代(N=137)	3.6	8.8	9.5	27.7	18.2	10.9	2.2	5.1	3.6	18.2	51.1	40.1	19.0	2.2	3.6	10.9	8.0	8.0
40代(N=191)	4.2	9.4	6.8	25.7	19.4	12.0	5.2	5.8	3.1	12.6	35.6	33.5	25.7	4.2	8.4	18.8	10.5	5.8
50代(N=277)	3.6	10.5	4.3	25.6	21.3	14.4	2.9	5.1	2.9	12.6	23.5	20.6	13.0	2.9	6.5	29.6	13.7	9.7
60代(N=305)	2.3	8.2	3.3	27.2	20.7	8.2	3.0	5.9	5.2	11.8	24.9	20.0	7.9	3.3	3.9	37.4	10.5	11.5
70代以上(N=569)	3.3	9.1	4.4	20.9	21.8	15.5	4.0	6.2	6.2	10.9	19.0	10.2	7.4	4.0	4.6	33.2	9.0	9.8
【◆地区別】																		
大町(N=89)	2.2	15.7	9.0	21.3	22.5	14.6	3.4	3.4	3.4	7.9	25.8	18.0	6.7	1.1	4.5	24.7	10.1	11.2
村木(N=98)	3.1	8.2	4.1	27.6	21.4	20.4	3.1	12.2	1.0	8.2	27.6	18.4	12.2	1.0	4.1	32.7	12.2	8.2
下中島(N=107)	2.8	8.4	1.9	28.0	20.6	9.3	6.5	6.5	6.5	13.1	34.6	23.4	17.8	3.7	5.6	26.2	8.4	8.4
上中島(N=57)	1.8	7.0	-	28.1	15.8	10.5	1.8	1.8	3.5	10.5	33.3	26.3	7.0	3.5	3.5	36.8	5.3	12.3
松倉(N=45)	6.7	6.7	4.4	17.8	22.2	11.1	2.2	4.4	2.2	8.9	22.2	13.3	17.8	6.7	15.6	31.1	6.7	4.4
上野方(N=84)	1.2	14.3	8.3	20.2	16.7	14.3	2.4	7.1	6.0	16.7	20.2	26.2	17.9	6.0	7.1	28.6	9.5	9.5
本江(N=269)	5.2	10.8	5.9	29.0	22.7	9.7	4.8	8.6	6.3	12.6	28.6	21.6	13.8	3.0	7.1	27.9	10.4	10.0
片貝(N=43)	2.3	9.3	-	11.6	18.6	11.6	7.0	-	7.0	4.7	30.2	27.9	4.7	4.7	7.0	25.6	14.0	4.7
加積(N=241)	2.5	7.5	3.7	24.9	18.3	14.5	3.7	3.7	3.7	14.5	27.8	22.4	13.3	4.6	5.8	26.1	9.1	8.3
道下(N=222)	3.2	7.2	6.3	24.8	24.3	9.9	1.4	6.8	4.5	12.6	30.6	20.3	11.3	2.3	5.4	27.0	8.6	6.8
経田(N=166)	3.6	11.4	4.8	17.5	20.5	16.9	3.6	6.0	4.2	13.3	16.3	17.5	12.7	4.8	3.6	31.3	12.0	12.7
天神(N=77)	2.6	7.8	2.6	15.6	16.9	11.7	6.5	7.8	5.2	9.1	28.6	26.0	7.8	6.5	7.8	32.5	18.2	9.1
西布施(N=53)	3.8	15.1	1.9	24.5	20.8	15.1	-	1.9	3.8	18.9	28.3	22.6	17.0	5.7	5.7	37.7	5.7	11.3
【◆居住年数別】																		
5年未満(N=81)	7.4	7.4	8.6	18.5	18.5	12.3	6.2	7.4	1.2	13.6	34.6	35.8	16.0	1.2	2.5	17.3	6.2	3.7
5年以上10年未満(N=40)	2.5	10.0	5.0	42.5	15.0	17.5	7.5	12.5	-	7.5	30.0	27.5	20.0	5.0	2.5	25.0	5.0	10.0
10年以上20年未満(N=123)	3.3	9.8	5.7	29.3	26.8	12.2	1.6	5.7	4.1	17.9	27.6	31.7	26.8	-	5.7	26.0	13.0	8.1
20年以上(N=430)	2.8	10.0	5.3	21.4	21.2	14.2	4.4	7.7	5.8	10.0	24.0	17.4	10.7	4.4	6.7	31.9	9.5	11.9
生まれた時から(N=935)	3.2	9.5	4.3	23.5	20.0	12.2	3.1	4.9	4.6	12.9	27.7	20.1	10.9	4.1	6.1	28.8	10.6	8.6

※分類ごとの上位のものに対して、網掛けを施しています。

【クロス集計（続き）】

（単位：%）

	19. 社会保障制度の適切な運営	20. 健康づくりの推進	21. スタイリッシュな暮らしを実現したライフ	22. 観光の振興	23. 農業の振興	24. 林業の振興	25. 水産業の振興	26. 工業・商業の振興	27. 充実・労働環境の雇用	28. まちの形いと緑のある成	29. 中心市街地の創出	30. 形災害に強いまちの	31. 強化した道路機能の	32. 住宅対策の推進	33. 供給水の安定的な	34. 下水道の安定的な	35. 総合交通体系の整備	不明・無回答
全体(N=1,646)	11.0	5.8	5.6	22.3	12.9	4.6	7.2	17.8	21.8	6.7	24.4	23.8	11.2	7.2	5.0	3.3	17.7	8.4
【◆性別】																		
男性(N=667)	9.3	5.4	6.4	24.3	13.8	6.1	9.6	22.6	21.7	4.8	24.4	22.9	11.8	6.6	6.0	3.1	17.2	7.0
女性(N=872)	11.7	5.8	5.2	21.7	13.2	3.7	6.0	13.8	21.3	8.3	23.9	24.4	11.0	7.6	4.4	3.0	18.3	9.1
【◆年齢別】																		
10代(N=16)	-	6.3	12.5	43.8	6.3	-	6.3	12.5	12.5	-	18.8	12.5	6.3	-	-	-	6.3	-
20代(N=97)	9.3	5.2	11.3	24.7	6.2	4.1	9.3	8.2	19.6	3.1	24.7	26.8	5.2	9.3	6.2	3.1	13.4	4.1
30代(N=137)	5.1	5.8	8.0	23.4	6.6	1.5	3.6	14.6	21.9	5.1	24.8	24.1	9.5	10.9	8.0	2.9	19.7	1.5
40代(N=191)	5.8	2.1	4.2	22.0	8.4	2.1	6.3	18.3	25.1	6.8	23.6	24.6	9.9	6.8	6.3	4.2	15.2	4.7
50代(N=277)	10.8	4.7	5.4	26.4	14.8	4.0	7.2	19.5	32.5	7.6	24.2	27.4	14.1	8.3	4.7	3.2	21.7	2.2
60代(N=305)	14.4	7.5	6.9	23.0	15.4	5.2	6.9	19.0	23.3	6.6	25.9	26.2	13.4	8.5	4.9	3.0	22.3	4.9
70代以上(N=569)	12.7	6.0	4.0	20.2	16.0	6.7	8.8	18.8	15.5	7.6	22.8	20.6	10.4	5.1	4.0	3.2	14.9	16.7
【◆地区別】																		
大町(N=89)	12.4	3.4	11.2	21.3	2.2	6.7	11.2	18.0	16.9	7.9	28.1	29.2	11.2	10.1	4.5	-	9.0	12.4
村木(N=98)	13.3	2.0	4.1	22.4	9.2	4.1	14.3	13.3	14.3	6.1	33.7	26.5	8.2	12.2	7.1	4.1	21.4	9.2
下中島(N=107)	6.5	3.7	3.7	22.4	10.3	4.7	9.3	21.5	25.2	15.9	22.4	14.0	7.5	5.6	4.7	1.9	20.6	7.5
上中島(N=57)	22.8	7.0	3.5	14.0	22.8	5.3	1.8	15.8	24.6	3.5	17.5	24.6	12.3	10.5	5.3	-	22.8	8.8
松倉(N=45)	8.9	11.1	6.7	28.9	20.0	13.3	6.7	20.0	11.1	6.7	15.6	24.4	4.4	6.7	2.2	-	15.6	11.1
上野方(N=84)	8.3	9.5	2.4	23.8	20.2	4.8	8.3	20.2	28.6	7.1	28.6	16.7	8.3	6.0	1.2	-	15.5	7.1
本江(N=269)	7.4	4.8	5.6	25.7	11.5	4.5	8.2	20.1	20.1	6.7	27.1	20.4	8.6	7.1	5.6	3.7	16.0	7.1
片貝(N=43)	9.3	7.0	-	25.6	37.2	16.3	4.7	16.3	9.3	4.7	20.9	30.2	11.6	2.3	11.6	11.6	25.6	9.3
加積(N=241)	13.3	7.1	7.9	22.8	8.3	2.9	5.4	17.4	22.8	9.1	20.3	19.9	13.3	5.4	4.1	4.1	15.4	10.4
道下(N=222)	9.9	5.4	7.7	25.2	10.8	4.1	8.1	19.4	26.6	4.5	25.2	30.2	13.1	5.9	3.6	2.3	23.0	5.9
経田(N=166)	12.7	6.0	5.4	19.9	14.5	4.8	6.6	18.1	24.7	5.4	23.5	23.5	13.3	6.0	5.4	3.6	16.3	7.8
天神(N=77)	11.7	6.5	3.9	22.1	15.6	-	5.2	15.6	16.9	1.3	22.1	32.5	14.3	16.9	7.8	6.5	14.3	7.8
西布施(N=53)	15.1	3.8	1.9	15.1	35.8	5.7	3.8	15.1	34.0	5.7	18.9	26.4	11.3	1.9	1.9	1.9	17.0	3.8
【◆居住年数別】																		
5年未満(N=81)	7.4	4.9	7.4	23.5	7.4	2.5	7.4	9.9	24.7	11.1	27.2	21.0	9.9	13.6	8.6	6.2	25.9	3.7
5年以上10年未満(N=40)	7.5	5.0	5.0	35.0	7.5	-	5.0	12.5	25.0	2.5	30.0	20.0	7.5	5.0	10.0	5.0	17.5	7.5
10年以上20年未満(N=123)	7.3	4.9	6.5	23.6	8.9	2.4	6.5	11.4	21.1	4.9	22.0	24.4	6.5	6.5	4.1	3.3	21.1	4.9
20年以上(N=430)	12.3	5.8	6.5	18.1	11.4	2.8	6.3	17.2	21.2	7.2	22.1	24.9	12.6	6.3	4.7	3.7	18.6	10.2
生まれた時から(N=935)	11.1	5.8	5.1	24.0	15.2	6.2	8.0	20.1	22.1	6.4	24.9	24.0	11.4	7.3	4.9	2.7	16.3	8.0

※分類ごとの上位のものに対して、網掛けを施しています。

4 魚津市のまちづくりについて

《働く場の確保、しごとの創出について》

問8 あなたは、産業の振興や魅力あるしごと創りのためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(複数回答)

産業の振興や魅力あるしごと創りのために力を入れるべきことについてみると、「若者や女性、高齢者など、誰もが働きやすい職場づくり」が51.2%と最も高く、次いで「農業・林業・漁業が活性化するための支援」が33.4%、「新たな産業を興すための企業や研究機関などの誘致」が32.6%となっています。

性別では、「若者や女性、高齢者など、誰もが働きやすい職場づくり」は女性が56.8%、男性が43.2%と、女性が13.6ポイント高くなっています。

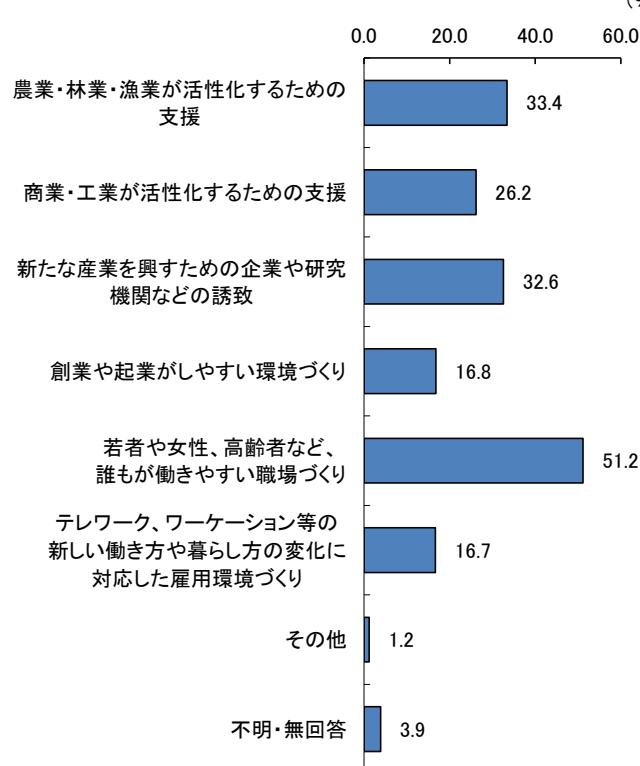
年代別では、年代が若い層において「テレワーク、ワーケーション等の新しい働き方や暮らし方の変化に対応した雇用環境づくり」が高くなっています。10代では4割を越えています。

地区別では、片貝・西布施で「農業・林業・漁業が活性化するための支援」が5割台となっています。

居住年数別では、10年以上20年未満で「若者や女性、高齢者など、誰もが働きやすい職場づくり」が6割を越えています。

【単純集計】

今回調査(N=1,646)



インターネット調査(N=197) 単位%	
農業・林業・漁業が活性化するための支援	19.8
商業・工業が活性化するための支援	34.0
新たな産業を興すための企業や研究機関などの誘致	40.6
創業や起業がしやすい環境づくり	17.8
若者や女性、高齢者など、誰もが働きやすい職場づくり	48.2
テレワーク、ワーケーション等の新しい働き方や暮らし方の変化に対応した雇用環境づくり	20.8
その他	1.5
不明・無回答	1.5

【クロス集計】

(単位 : %)

	農業・支林業・漁業が活性化するための	支援業・工業が活性化するための	新規事業などを興すための企業や	創業や起業がしやすい環境づくり	が若者や女性、職場づくなど、誰も	化のため新規に働き方や環境等の変化等	その他	不明・無回答
全体(N=1,646)	33.4	26.2	32.6	16.8	51.2	16.7	1.2	3.9
【◆性別】								
男性(N=667)	35.5	32.2	38.2	18.0	43.2	14.1	1.8	2.4
女性(N=872)	32.5	21.3	28.9	15.8	56.8	19.0	0.8	4.7
【◆年齢別】								
10代(N=16)	18.8	6.3	31.3	18.8	56.3	43.8	-	-
20代(N=97)	29.9	20.6	18.6	16.5	53.6	32.0	1.0	2.1
30代(N=137)	19.7	29.2	32.1	19.7	57.7	24.8	1.5	0.7
40代(N=191)	26.2	30.9	29.3	16.2	53.9	21.5	3.1	2.6
50代(N=277)	25.6	30.3	35.4	19.1	53.4	17.0	0.7	1.1
60代(N=305)	38.4	27.5	35.1	14.1	52.5	12.8	1.6	2.6
70代以上(N=569)	42.0	23.0	33.9	16.5	45.7	12.0	0.5	7.0
【◆地区別】								
大町(N=89)	30.3	28.1	27.0	19.1	58.4	14.6	1.1	6.7
村木(N=98)	42.9	21.4	28.6	19.4	41.8	15.3	2.0	7.1
下中島(N=107)	32.7	27.1	39.3	13.1	54.2	15.0	1.9	1.9
上中島(N=57)	38.6	22.8	28.1	14.0	56.1	19.3	1.8	3.5
松倉(N=45)	44.4	26.7	26.7	8.9	53.3	11.1	2.2	6.7
上野方(N=84)	39.3	21.4	34.5	14.3	58.3	8.3	2.4	1.2
本江(N=269)	27.5	32.0	35.7	15.6	48.0	20.4	1.5	2.2
片貝(N=43)	53.5	30.2	32.6	14.0	39.5	14.0	-	4.7
加積(N=241)	24.5	25.3	34.0	24.9	45.6	21.6	-	5.0
道下(N=222)	27.5	27.5	32.9	18.0	55.0	19.8	1.4	2.3
経田(N=166)	40.4	28.3	24.1	16.3	56.6	12.0	1.2	3.6
天神(N=77)	37.7	18.2	39.0	7.8	57.1	14.3	-	3.9
西布施(N=53)	54.7	20.8	34.0	7.5	41.5	11.3	-	5.7
【◆居住年数別】								
5年未満(N=81)	27.2	24.7	32.1	18.5	49.4	21.0	1.2	2.5
5年以上10年未満(N=40)	22.5	35.0	32.5	17.5	37.5	25.0	2.5	7.5
10年以上20年未満(N=123)	22.8	17.9	35.8	12.2	64.2	26.0	1.6	0.8
20年以上(N=430)	27.9	26.3	32.3	17.2	52.3	16.0	1.4	6.0
生まれた時から(N=935)	38.4	27.3	32.6	17.2	49.3	15.3	1.0	2.8

※分類ごとの上位のものに対して、網掛けを施しています。

問9 近年、若者や女性の市外転出が増加している中で、働く場として選ばれるまちにするために、どのようなことが必要だと考えますか。(複数回答)

働く場として選ばれるまちにするために必要なことについてみると、「正規雇用の拡大や雇用におけるミスマッチの解消」が47.8%と最も高く、次いで「女性の社会進出、職域拡大などの女性の活躍促進」が31.6%、「大学や企業と連携したキャリア教育の推進など、若者的人材育成」が27.2%となっています。

性別では、男女ともに「正規雇用の拡大や雇用におけるミスマッチの解消」が4割台となっています。また、女性は「女性の社会進出、職域拡大などの女性の活躍促進」が3割を超えています。

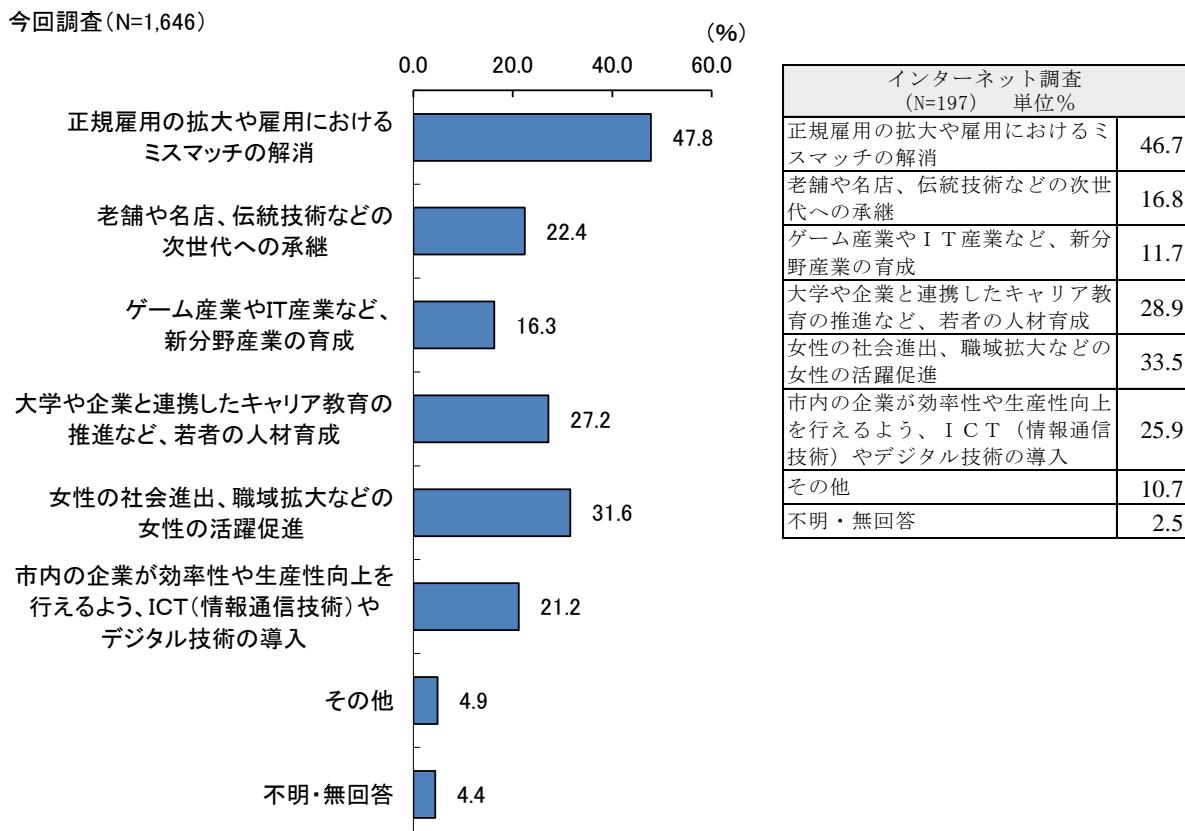
年代別では、70代以上を除いて年代が高くなるにしたがい「正規雇用の拡大や雇用におけるミスマッチの解消」の割合が高くなっています。また10代では「ゲーム産業やIT産業など、新分野産業の育成」が3割を超えています。

地区別では、ほとんどの地区では「正規雇用の拡大や雇用におけるミスマッチの解消」が最も割合が高くなっていますが、大町では「女性の社会進出、職域拡大などの女性の活躍促進」が3割を超えており、最も高くなっています。

居住年数別では、いずれの居住年数でも「正規雇用の拡大や雇用におけるミスマッチの解消」が4割台となっています。

【単純集計】

今回調査(N=1,646)



【クロス集計】

(単位 : %)

	スマツチの解消による正規雇用の拡大や雇用におけるミ	代老舗の承継、伝統技術などの次世	野産業の育成やIT産業など、新分	大学の推進企業など、連携した人材育成ア教	女性の活躍会促進、職域拡大などの	技術行内の企業がデジタル技術の導入情報性向上	その他	不明・無回答
全体(N=1,646)	47.8	22.4	16.3	27.2	31.6	21.2	4.9	4.4
【◆性別】								
男性(N=667)	49.0	21.9	19.3	27.4	29.4	23.7	4.9	3.3
女性(N=872)	46.8	22.7	14.6	27.1	33.4	19.2	4.6	5.2
【◆年齢別】								
10代(N=16)	31.3	25.0	37.5	31.3	25.0	31.3	6.3	-
20代(N=97)	39.2	23.7	28.9	32.0	25.8	17.5	5.2	2.1
30代(N=137)	51.1	20.4	19.0	23.4	33.6	21.9	8.0	-
40代(N=191)	52.4	19.9	21.5	22.5	26.7	23.6	7.3	2.6
50代(N=277)	56.0	21.3	13.7	21.3	32.9	22.4	6.1	1.1
60代(N=305)	55.7	22.3	14.1	26.6	31.1	20.3	4.9	2.6
70代以上(N=569)	39.2	24.6	14.1	31.6	34.1	20.2	2.1	8.6
【◆地区別】								
大町(N=89)	34.8	28.1	15.7	28.1	36.0	21.3	5.6	5.6
村木(N=98)	43.9	30.6	15.3	20.4	33.7	16.3	5.1	9.2
下中島(N=107)	52.3	14.0	19.6	29.0	30.8	23.4	4.7	1.9
上中島(N=57)	56.1	28.1	14.0	43.9	22.8	12.3	3.5	3.5
松倉(N=45)	35.6	28.9	15.6	26.7	33.3	13.3	4.4	8.9
上野方(N=84)	53.6	19.0	17.9	21.4	27.4	21.4	8.3	3.6
本江(N=269)	50.2	24.2	14.9	25.7	33.5	23.4	4.5	2.2
片貝(N=43)	34.9	23.3	18.6	30.2	32.6	25.6	2.3	9.3
加積(N=241)	43.2	22.0	19.5	27.8	31.5	22.8	2.5	3.7
道下(N=222)	51.8	22.5	12.2	27.9	36.9	19.8	4.5	3.6
経田(N=166)	50.0	19.9	16.9	28.9	27.7	24.7	6.6	3.6
天神(N=77)	55.8	19.5	15.6	20.8	24.7	23.4	5.2	6.5
西布施(N=53)	45.3	15.1	20.8	28.3	30.2	20.8	3.8	5.7
【◆居住年数別】								
5年未満(N=81)	42.0	21.0	12.3	27.2	33.3	28.4	7.4	1.2
5年以上10年未満(N=40)	40.0	37.5	17.5	20.0	20.0	12.5	20.0	10.0
10年以上20年未満(N=123)	46.3	12.2	26.0	23.6	35.8	24.4	6.5	0.8
20年以上(N=430)	47.0	22.3	15.6	26.7	32.8	19.8	2.8	6.5
生まれた時から(N=935)	49.0	23.4	16.0	28.3	31.1	21.1	4.5	3.5

※分類ごとの上位のものに対して、網掛けを施しています。

《 にぎわいのあるまちづくりについて 》

問 10 あなたは、にぎわいの創出や新たな交流を生み出すためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(複数回答)

にぎわいの創出や新たな交流を生み出すために力を入れるべきことについてみると、「駅周辺など、にぎわいを生む商店の活性化」が59.3%と最も高く、次いで「歴史・文化・自然等を活かした観光振興」が39.4%、「農商工の連携による新たな地域ブランドの開発」が36.8%となっています。

性別では、いずれの性別も「駅周辺など、にぎわいを生む商店の活性化」が6割程度となっています。

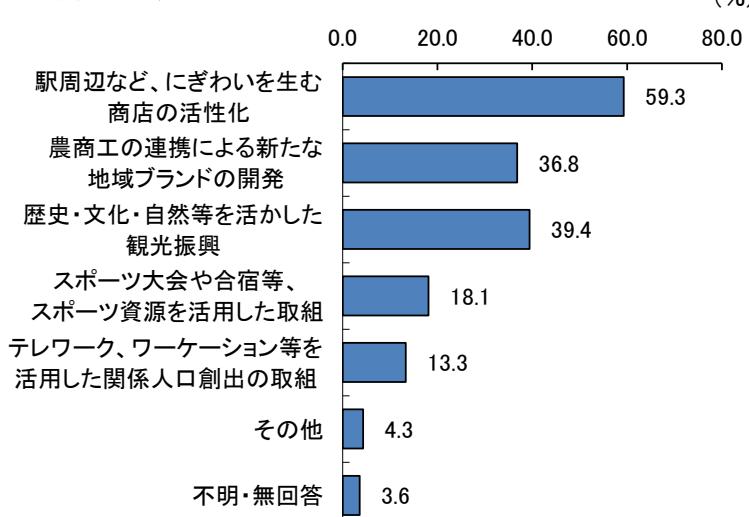
年代別では、いずれの年代も「駅周辺など、にぎわいを生む商店の活性化」が5割を超え、最も割合が高くなっています。また、10代・60代・70代で「歴史・文化・自然等を活かした観光振興」が4割を超えています。

地区別では、松倉・片貝・西布施で「歴史・文化・自然等を活かした観光振興」が5割台となっています。また、上中島で「農商工の連携による新たな地域ブランドの開発」が5割ほどで、最も高くなっています。

居住年数別では、いずれの居住年数でも「駅周辺など、にぎわいを生む商店の活性化」が5割を超えています。

【単純集計】

今回調査(N=1,646)



インターネット調査 (N=197) 単位%	
駅周辺など、にぎわいを生む商店の活性化	64.5
農商工の連携による新たな地域ブランドの開発	26.9
歴史・文化・自然等を活かした観光振興	33.5
スポーツ大会や合宿等、スポーツ資源を活用した取組	19.3
テレワーク、ワーケーション等を活用した関係人口創出の取組	20.8
その他	6.6
不明・無回答	3.6

【クロス集計】

(単位 : %)

	を駅生周む辺商など、の活に性ぎ化わい	農商地域の連携による開新	歴史・文化・振興等を	用等、ボス・取扱組・大ツ会員や資源合宿活	係シテ人ヨレロンワーラー創等ー出をク、の活用ワ組したケー	その他	不明・無回答
全体(N=1,646)	59.3	36.8	39.4	18.1	13.3	4.3	3.6
【◆性別】							
男性(N=667)	58.0	37.8	38.8	21.1	13.8	5.1	3.0
女性(N=872)	59.6	35.3	40.3	16.3	13.8	3.8	3.9
【◆年齢別】							
10代(N=16)	56.3	25.0	43.8	31.3	18.8	-	-
20代(N=97)	71.1	22.7	34.0	20.6	18.6	6.2	2.1
30代(N=137)	70.8	37.2	29.2	20.4	13.9	8.0	-
40代(N=191)	64.4	33.5	39.8	17.8	14.7	5.8	1.6
50代(N=277)	60.3	34.3	34.3	19.5	13.7	5.8	1.4
60代(N=305)	60.7	38.0	42.0	17.4	12.5	4.6	2.3
70代以上(N=569)	51.8	41.1	42.7	16.9	13.0	2.1	6.9
【◆地区別】							
大町(N=89)	55.1	30.3	44.9	19.1	15.7	4.5	6.7
村木(N=98)	54.1	35.7	48.0	13.3	12.2	2.0	8.2
下中島(N=107)	64.5	34.6	34.6	18.7	14.0	5.6	0.9
上中島(N=57)	42.1	47.4	40.4	21.1	14.0	-	5.3
松倉(N=45)	28.9	40.0	51.1	17.8	17.8	4.4	6.7
上野方(N=84)	53.6	38.1	32.1	21.4	14.3	6.0	3.6
本江(N=269)	59.5	41.6	37.2	16.7	13.0	4.5	2.6
片貝(N=43)	58.1	34.9	53.5	11.6	11.6	7.0	4.7
加積(N=241)	58.9	36.5	37.8	18.3	15.8	4.1	3.7
道下(N=222)	66.7	36.9	36.0	20.7	14.4	5.9	1.8
経田(N=166)	66.9	33.1	40.4	18.1	10.8	4.2	1.8
天神(N=77)	62.3	31.2	33.8	27.3	9.1	3.9	2.6
西布施(N=53)	58.5	34.0	52.8	11.3	11.3	1.9	3.8
【◆居住年数別】							
5年未満(N=81)	67.9	37.0	28.4	18.5	21.0	2.5	2.5
5年以上10年未満(N=40)	57.5	32.5	40.0	17.5	17.5	15.0	2.5
10年以上20年未満(N=123)	66.7	30.1	36.6	17.9	17.9	3.3	0.8
20年以上(N=430)	56.0	37.9	43.7	18.1	10.0	3.3	4.9
生まれた時から(N=935)	58.9	37.4	38.7	18.4	13.9	4.7	3.1

※分類ごとの上位のものに対して、網掛けを施しています。

《 定住促進の取り組みや人口減少抑制策について 》

問 11 人口減少を克服し活力ある社会を目指して、魚津市が取り組むべきことは何だと思いますか。(複数回答)

人口減少を克服し活力ある社会を目指して魚津市が取り組むべきことについてみると、「子育て支援の充実などにより、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組」が48.7%と最も高く、次いで「産業を振興し、雇用を拡大させて、経済を活性化させる取組」が38.2%、「移住や定住、Uターンの推進など市内の人団を増加させる取組」が37.7%となっています。

性別では、「産業を振興し、雇用を拡大させて、経済を活性化させる取組」は男性が42.3%、女性が35.2%と、男性が7.1ポイント高くなっています。

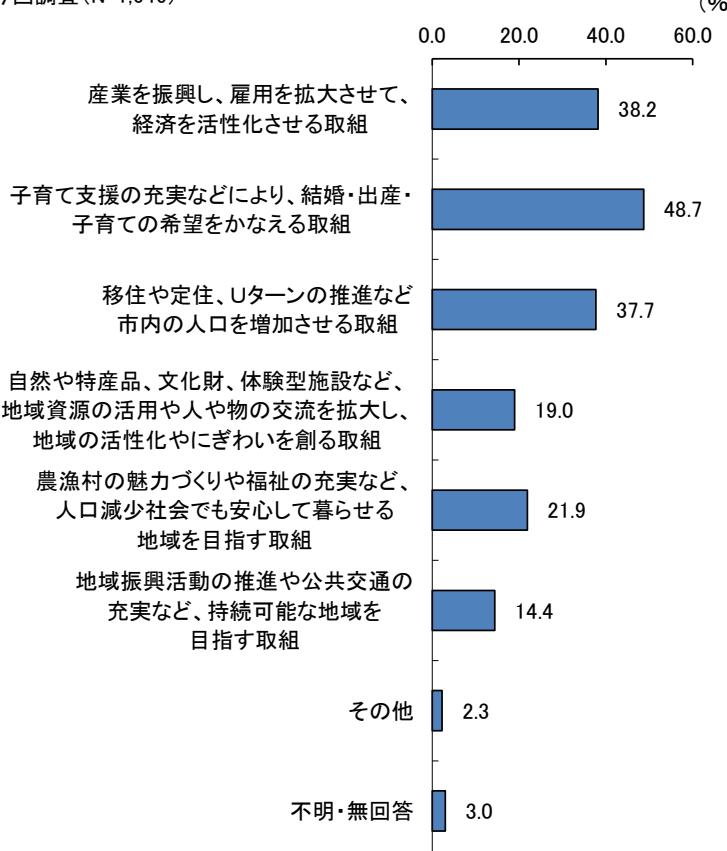
年代別では、20代・30代で「子育て支援の充実などにより、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組」が7割台と高くなっています。

地区別では、大町で「移住や定住、Uターンの推進など市内の人団を増加させる取組」が43.8%と最も高くなっています。また、松倉では「農漁村の魅力づくりや福祉の充実など、人口減少社会でも安心して暮らせる地域を目指す取組」が4割台となっています。

居住年数別では、10年未満では「子育て支援の充実などにより、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組」が約6割と、他の層よりも割合が高くなっています。

【単純集計】

今回調査(N=1,646)



インターネット調査 (N=197) 単位%	
産業を振興し、雇用を拡大させて、経済を活性化させる取組	38.1
子育て支援の充実などにより、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組	49.7
移住や定住、Uターンの推進など市内の人団を増加させる取組	44.7
自然や特産品、文化財、体験型施設など、地域資源の活用や人や物の交流を拡大し、地域の活性化やにぎわいを創る取組	18.3
農漁村の魅力づくりや福祉の充実など、人口減少社会でも安心して暮らせる地域を目指す取組	8.1
地域振興活動の推進や公共交通の充実など、持続可能な地域を目指す取組	17.3
その他	4.1
不明・無回答	1.5

【クロス集計】

(単位 : %)

	て、 産業を 経済を 活性化 させ る・ 雇用を 拡大 させ る組 合	な結子 え婚育 る・ て取出 組産援 ・の子 充育実 てなど のど希 に望 り、か	ど移 市内や の定住、 人口を 増加さ せの推 進組な	性や施 化物設 然やのな やに交 ど、産 ぎ流 わを地 い拡域 を大資 創し、 源化 る、の財 、取地活 組域用体 のや驗 活人型	し実農 てな漁 暮ど村 らの魅 せ人魔 る口力 地減づ 域少く を社会 を目会 指で福 すも祉 取安の 組心充	の地 指す充 域振興 取実取 組活動 ど、持 続可能 の推進 や公共 地共域 交通	そ の他	不 明・ 無 回答
全体(N=1,646)	38.2	48.7	37.7	19.0	21.9	14.4	2.3	3.0
【◆性別】								
男性(N=667)	42.3	48.1	37.8	15.3	21.9	15.0	2.7	2.8
女性(N=872)	35.2	49.3	38.0	21.3	21.4	14.3	2.2	3.1
【◆年齢別】								
10代(N=16)	37.5	56.3	37.5	25.0	6.3	12.5	-	-
20代(N=97)	26.8	73.2	43.3	14.4	11.3	11.3	2.1	2.1
30代(N=137)	33.6	70.8	40.9	12.4	14.6	10.9	4.4	-
40代(N=191)	39.8	55.5	28.8	15.7	14.1	20.9	5.2	2.1
50代(N=277)	43.3	41.9	39.4	17.7	20.2	17.0	2.5	0.7
60代(N=305)	39.7	44.6	40.3	20.3	23.6	14.4	2.6	2.3
70代以上(N=569)	38.0	42.7	37.3	21.8	28.1	12.1	0.9	5.3
【◆地区別】								
大町(N=89)	40.4	38.2	43.8	21.3	25.8	16.9	1.1	3.4
村木(N=98)	33.7	45.9	33.7	26.5	25.5	10.2	1.0	7.1
下中島(N=107)	33.6	54.2	42.1	15.0	23.4	12.1	2.8	0.9
上中島(N=57)	38.6	42.1	35.1	26.3	24.6	14.0	-	3.5
松倉(N=45)	35.6	44.4	31.1	13.3	40.0	11.1	2.2	4.4
上野方(N=84)	36.9	40.5	33.3	19.0	28.6	20.2	6.0	1.2
本江(N=269)	42.0	46.1	37.2	24.5	17.5	13.8	3.7	1.1
片貝(N=43)	34.9	53.5	41.9	11.6	30.2	11.6	-	2.3
加積(N=241)	34.9	51.5	40.2	19.1	19.1	10.8	2.9	3.7
道下(N=222)	42.8	55.9	32.0	16.2	19.4	17.6	1.8	2.3
経田(N=166)	38.0	47.0	40.4	15.1	24.7	18.1	1.2	3.0
天神(N=77)	42.9	53.2	37.7	10.4	16.9	15.6	2.6	3.9
西布施(N=53)	39.6	49.1	47.2	22.6	15.1	11.3	1.9	3.8
【◆居住年数別】								
5年未満(N=81)	28.4	60.5	48.1	17.3	13.6	14.8	2.5	2.5
5年以上10年未満(N=40)	32.5	60.0	42.5	15.0	17.5	7.5	10.0	2.5
10年以上20年未満(N=123)	35.8	50.4	39.8	15.4	9.8	22.8	3.3	0.8
20年以上(N=430)	40.7	45.1	33.0	22.6	22.8	13.5	1.6	4.4
生まれた時から(N=935)	38.9	49.0	38.8	17.9	23.7	13.9	2.2	2.2

※分類ごとの上位のものに対して、網掛けを施しています。

《 結婚や出産について 》

問 12 魚津市では婚活支援等に取り組んでいます。あなたは、民間の取組も含め、結婚に関して、どのような支援があれば効果的だと思いますか。(複数回答)

結婚に関して効果的な支援についてみると、「仕事と家庭生活の両立支援」が35.4%と最も高く、次いで「乳幼児期から学童期の子育てに必要な経済的負担の軽減」が28.7%、「若者の就業への支援」が27.6%となっています。

性別では、「仕事と家庭生活の両立支援」は女性が39.2%、男性が30.0%と、女性が9.2ポイント高くなっています。

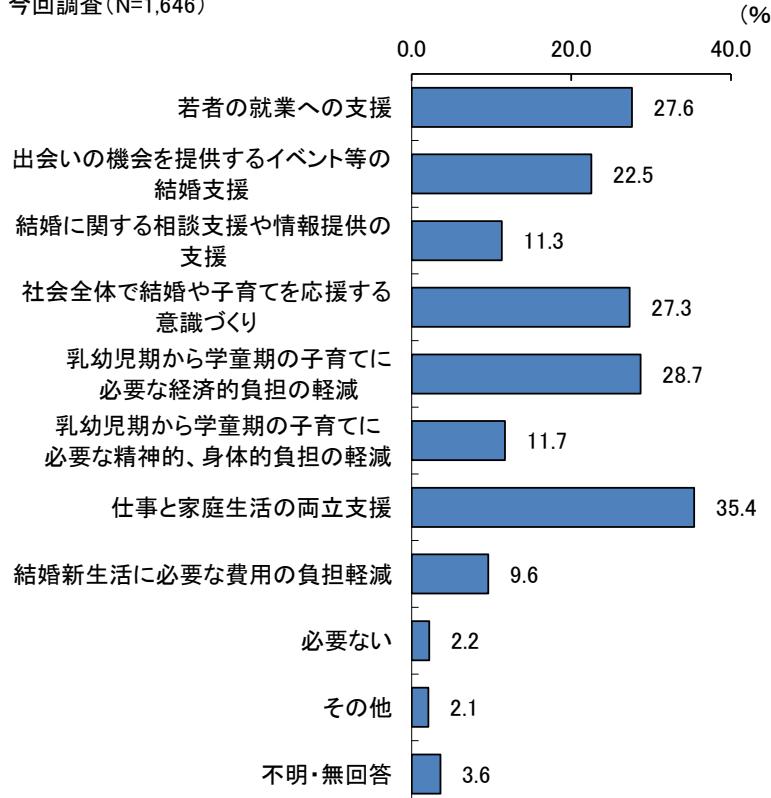
年代別では、20代で「乳幼児期から学童期の子育てに必要な経済的負担の軽減」が5割台となっています。

地区別では、ほとんどの地区で「仕事と家庭生活の両立支援」が3割を超えて高くなっていますが、天神では「若者の就業への支援」、西布施では「社会全体で結婚や子育てを応援する意識づくり」が3割を超え最も高くなっています。

居住年数別では、5年以上10年未満で「仕事と家庭生活の両立支援」が5割となっています。

【単純集計】

今回調査(N=1,646)



インターネット調査 (N=197) 単位%	
若者の就業への支援	28.9
出会いの機会を提供するイベント等の結婚支援	21.3
結婚に関する相談支援や情報提供の支援	7.6
社会全体で結婚や子育てを応援する意識づくり	23.4
乳幼児期から学童期の子育てに必要な経済的負担の軽減	35.5
乳幼児期から学童期の子育てに必要な精神的、身体的負担の軽減	13.7
仕事と家庭生活の両立支援	32.0
結婚新生活に必要な費用の負担軽減	10.7
必要ない	4.1
その他	3.6
不明・無回答	1.5

【クロス集計】

(単位 : %)

	若者の就業への支援	出会いの支援機会を提供するイベント等	結婚に関する相談支援や情報提供の	意識づくりで結婚や子育てを応援する	な乳幼児期から学童期の子育てに必要	な乳幼児期から学童期の子育てに必要	仕事と家庭生活の両立支援	結婚新生活に必要な費用の負担軽減	必要ない	その他	不明・無回答
全体(N=1,646)	27.6	22.5	11.3	27.3	28.7	11.7	35.4	9.6	2.2	2.1	3.6
【◆性別】											
男性(N=667)	30.3	25.8	11.8	25.2	31.2	9.3	30.0	13.0	3.0	1.5	2.7
女性(N=872)	25.7	19.3	10.8	29.6	27.9	13.4	39.2	6.9	1.8	2.6	3.8
【◆年齢別】											
10代(N=16)	25.0	18.8	12.5	18.8	43.8	12.5	18.8	12.5	6.3	-	-
20代(N=97)	18.6	19.6	5.2	18.6	51.5	13.4	27.8	32.0	1.0	1.0	2.1
30代(N=137)	16.1	19.7	8.0	24.1	40.1	15.3	41.6	21.9	1.5	1.5	-
40代(N=191)	25.1	18.3	7.3	28.3	38.7	12.0	35.1	8.4	2.6	4.2	1.6
50代(N=277)	27.1	17.0	10.5	27.4	28.2	12.3	34.3	9.7	4.3	3.2	1.8
60代(N=305)	28.5	22.6	15.4	30.2	22.3	15.1	39.7	5.6	2.0	1.3	2.6
70代以上(N=569)	33.0	27.6	12.1	29.0	22.3	7.6	33.9	5.6	1.6	1.6	6.2
【◆地区別】											
大町(N=89)	27.0	30.3	7.9	16.9	32.6	10.1	38.2	14.6	-	-	5.6
村木(N=98)	27.6	18.4	6.1	32.7	29.6	7.1	37.8	9.2	2.0	4.1	5.1
下中島(N=107)	24.3	11.2	9.3	30.8	35.5	18.7	33.6	11.2	2.8	3.7	1.9
上中島(N=57)	19.3	24.6	17.5	35.1	36.8	7.0	31.6	7.0	-	-	5.3
松倉(N=45)	15.6	17.8	13.3	22.2	26.7	4.4	35.6	11.1	6.7	2.2	11.1
上野方(N=84)	21.4	26.2	13.1	23.8	28.6	20.2	34.5	8.3	2.4	2.4	1.2
本江(N=269)	29.4	20.1	7.8	28.6	27.1	10.8	41.3	10.4	3.0	2.2	1.9
片貝(N=43)	27.9	20.9	16.3	20.9	18.6	11.6	37.2	14.0	2.3	2.3	4.7
加積(N=241)	27.0	22.4	9.5	28.2	29.9	11.2	36.1	8.3	2.9	2.1	3.7
道下(N=222)	26.1	20.7	17.6	27.5	32.0	12.6	34.2	8.6	2.7	1.8	2.7
経田(N=166)	36.1	30.1	9.0	26.5	19.9	8.4	37.3	8.4	1.8	1.8	3.6
天神(N=77)	36.4	26.0	9.1	29.9	27.3	16.9	28.6	9.1	-	1.3	2.6
西布施(N=53)	32.1	32.1	15.1	37.7	28.3	5.7	15.1	9.4	-	-	1.9
【◆居住年数別】											
5年未満(N=81)	23.5	9.9	9.9	23.5	37.0	23.5	30.9	24.7	-	2.5	1.2
5年以上10年未満(N=40)	25.0	7.5	5.0	30.0	25.0	20.0	50.0	15.0	-	5.0	2.5
10年以上20年未満(N=123)	24.4	14.6	6.5	27.6	35.8	14.6	46.3	6.5	2.4	1.6	0.8
20年以上(N=430)	30.9	23.7	10.2	28.1	25.1	10.0	37.4	4.9	2.1	2.1	4.7
生まれた時から(N=935)	27.2	24.7	12.6	27.5	29.0	10.8	32.7	10.7	2.7	2.0	3.1

※分類ごとの上位のものに対して、網掛けを施しています。

問13 あなたは、子どもを望む人が安心して子どもを産むためには、どのようなことが必要だと考えますか。(複数回答)

子どもを望む人が安心して子どもを産むために必要なことについてみると、「出産できる産婦人科や医療機関があること」が 55.7%と最も高く、次いで「仕事が続けられる環境があること」が 35.6%、「経済的な支援があること」が 31.2%となっています。

性別では、「経済的な支援があること」は男性が 37.3%、女性が 27.1%と、男性が 10.2 ポイント高くなっています。

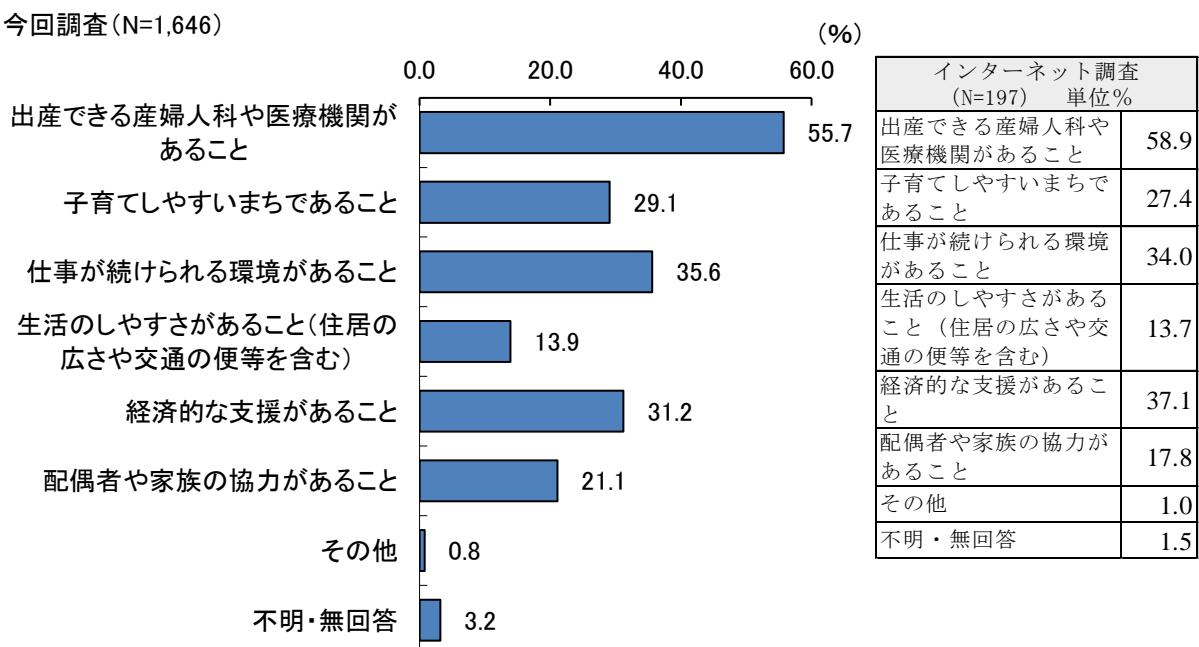
年代別では、20 代で「経済的な支援があること」が 5 割を超え、最も高くなっています。

地区別では、いずれの地区でも「出産できる産婦人科や医療機関があること」が 4 割を超え、最も高くなっています。

居住年数別では、10 年以上 20 年未満を除いて「出産できる産婦人科や医療機関があること」が 5 割台となっています。

【単純集計】

今回調査(N=1,646)



【クロス集計】

(単位 : %)

	療機関でできる産婦人科や医	出産と子育てしやすいまちであ	ある仕事が続けられる環境があ	便と生活を住居のややすさやが交あるこ	経済的な支援があること	配偶者や家族の協力があ	その他	不明・無回答
全体(N=1,646)	55.7	29.1	35.6	13.9	31.2	21.1	0.8	3.2
【◆性別】								
男性(N=667)	52.9	32.5	36.0	13.5	37.3	16.0	0.4	2.8
女性(N=872)	58.0	27.1	34.4	14.3	27.1	25.1	0.9	3.3
【◆年齢別】								
10代(N=16)	43.8	31.3	18.8	31.3	25.0	25.0	6.3	6.3
20代(N=97)	44.3	41.2	24.7	18.6	51.5	12.4	—	2.1
30代(N=137)	42.3	38.7	29.2	14.6	41.6	20.4	—	3.6
40代(N=191)	45.5	33.5	31.4	15.2	38.7	22.0	2.1	2.1
50代(N=277)	54.5	27.4	38.3	15.2	31.0	20.6	0.7	1.8
60代(N=305)	61.0	28.2	36.1	14.1	26.6	23.9	—	2.6
70代以上(N=569)	62.0	24.8	39.2	11.4	26.0	21.4	0.9	4.2
【◆地区別】								
大町(N=89)	60.7	29.2	30.3	15.7	40.4	20.2	—	1.1
村木(N=98)	44.9	27.6	37.8	13.3	29.6	28.6	1.0	5.1
下中島(N=107)	66.4	29.0	35.5	7.5	30.8	21.5	0.9	1.9
上中島(N=57)	66.7	19.3	35.1	15.8	31.6	21.1	—	1.8
松倉(N=45)	64.4	28.9	44.4	4.4	28.9	17.8	2.2	4.4
上野方(N=84)	58.3	31.0	36.9	13.1	29.8	17.9	2.4	1.2
本江(N=269)	47.6	31.2	35.3	14.5	33.8	21.2	1.1	3.7
片貝(N=43)	65.1	23.3	27.9	16.3	27.9	18.6	—	4.7
加積(N=241)	56.8	27.4	35.7	15.4	29.9	19.9	0.4	3.7
道下(N=222)	55.9	32.9	32.0	14.9	32.9	20.7	—	3.2
経田(N=166)	53.6	26.5	42.2	15.7	24.1	24.7	0.6	3.0
天神(N=77)	55.8	31.2	31.2	9.1	36.4	22.1	1.3	3.9
西布施(N=53)	60.4	26.4	41.5	18.9	30.2	18.9	—	—
【◆居住年数別】								
5年未満(N=81)	54.3	42.0	27.2	19.8	34.6	9.9	—	3.7
5年以上10年未満(N=40)	52.5	45.0	20.0	7.5	42.5	22.5	—	—
10年以上20年未満(N=123)	46.3	27.6	31.7	19.5	37.4	22.8	2.4	2.4
20年以上(N=430)	56.3	27.4	34.0	14.7	29.5	22.6	0.2	3.7
生まれた時から(N=935)	56.9	28.2	38.2	12.7	30.8	21.4	0.9	2.8

※分類ごとの上位のものに対して、網掛けを施しています。

《子育てしやすいまちづくりについて》

問14 あなたは、子育て環境を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(複数回答)

子育て環境を充実させるために力を入れるべきことについてみると、「病児・病後児保育、一時預かり、学童保育などの保育サービスの充実」が58.5%と最も高く、次いで「子育ての経済的負担に対する支援」が41.0%、「保育所・認定こども園における保育環境の向上」が32.2%となっています。

性別では、「保育所・認定こども園における保育環境の向上」は男性が37.3%、女性が27.9%と、男性が9.4ポイント高くなっています。

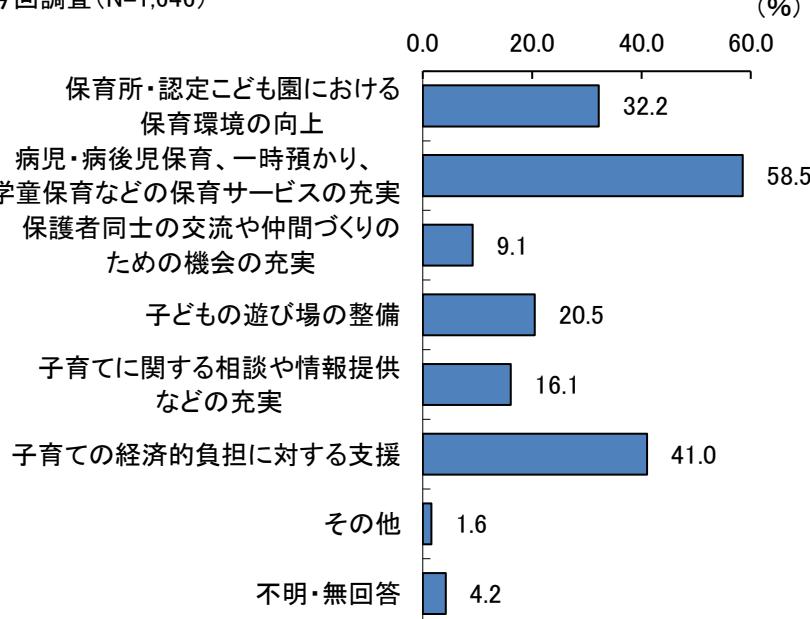
年代別では、20代・30代・40代で「子育ての経済的負担に対する支援」が5割台となっています。

地区別では、いずれの地区でも「病児・病後児保育、一時預かり、学童保育などの保育サービスの充実」が5割を超えていました。

居住年数別では、20年以上で「病児・病後児保育、一時預かり、学童保育などの保育サービスの充実」が6割以上で他の層よりも高くなっています。また、転入者で「子育ての経済的負担に対する支援」が4割以上となっています。

【単純集計】

今回調査(N=1,646)



インターネット調査 (N=197) 単位%	
保育所・認定こども園における保育環境の向上	28.9
病児・病後児保育、一時預かり、学童保育などの保育サービスの充実	55.3
保護者同士の交流や仲間づくりのための機会の充実	6.1
子どもの遊び場の整備	28.9
子育てに関する相談や情報提供などの充実	10.2
子育ての経済的負担に対する支援	48.2
その他	1.5
不明・無回答	1.5

【クロス集計】

(単位 : %)

	お保育所 における保育 環境のこども 園に	保育預 育か児 サリ・ ー、病 ビ学後 ス童児 の保育 充育、 実な ど一 の時	実づ保 く護り者 の同士 めの交 機会や の仲充 間	子どもの 遊び場の 整備	報子 提供で など関 する充 実相 談や情	する子 育ての 支援の 経済的 負担に 対	その 他	不明・ 無回答
全体(N=1,646)	32.2	58.5	9.1	20.5	16.1	41.0	1.6	4.2
【◆性別】								
男性(N=667)	37.3	54.7	9.1	20.4	11.8	44.5	1.2	4.2
女性(N=872)	27.9	61.5	8.6	22.5	18.7	38.4	1.9	4.0
【◆年齢別】								
10代(N=16)	56.3	37.5	6.3	31.3	6.3	31.3	6.3	6.3
20代(N=97)	36.1	46.4	9.3	36.1	2.1	53.6	-	2.1
30代(N=137)	26.3	41.6	7.3	38.7	13.1	52.6	2.9	2.9
40代(N=191)	25.7	49.2	8.9	34.0	10.5	52.4	4.2	2.6
50代(N=277)	29.6	63.5	5.8	19.1	15.5	41.5	2.2	3.6
60代(N=305)	33.8	68.5	5.2	17.4	19.0	35.4	1.6	3.3
70代以上(N=569)	34.3	60.6	12.3	12.5	19.9	36.4	0.4	5.4
【◆地区別】								
大町(N=89)	37.1	59.6	6.7	16.9	19.1	47.2	-	2.2
村木(N=98)	25.5	57.1	12.2	15.3	26.5	32.7	4.1	7.1
下中島(N=107)	30.8	63.6	6.5	29.9	17.8	34.6	0.9	2.8
上中島(N=57)	33.3	57.9	12.3	15.8	22.8	38.6	1.8	3.5
松倉(N=45)	33.3	62.2	13.3	17.8	22.2	22.2	2.2	8.9
上野方(N=84)	27.4	63.1	8.3	26.2	15.5	39.3	2.4	1.2
本江(N=269)	27.5	59.1	7.4	22.3	13.8	43.5	1.5	4.1
片貝(N=43)	39.5	53.5	4.7	11.6	16.3	39.5	7.0	4.7
加積(N=241)	24.5	59.3	11.2	26.6	16.2	40.2	1.2	4.6
道下(N=222)	37.4	56.8	8.1	21.6	9.9	45.5	1.4	4.5
経田(N=166)	39.8	57.8	8.4	14.5	18.1	44.0	-	3.0
天神(N=77)	40.3	53.2	9.1	22.1	11.7	39.0	2.6	5.2
西布施(N=53)	39.6	66.0	7.5	17.0	13.2	37.7	-	1.9
【◆居住年数別】								
5年未満(N=81)	35.8	46.9	9.9	35.8	8.6	42.0	4.9	3.7
5年以上10年未満(N=40)	27.5	47.5	12.5	27.5	15.0	45.0	5.0	2.5
10年以上20年未満(N=123)	27.6	52.0	8.9	31.7	10.6	51.2	3.3	2.4
20年以上(N=430)	29.8	64.2	6.3	15.3	18.4	41.9	0.9	4.9
生まれた時から(N=935)	33.5	58.6	9.5	20.6	16.3	39.5	1.3	3.9

※分類ごとの上位のものに対して、網掛けを施しています。

問15 あなたは、教育を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(複数回答)

教育を充実させるために力を入れるべきことについてみると、「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進」が49.8%と最も高く、次いで「不登校やいじめなどに対応した教育環境の充実」が28.2%、「基礎的な知識や応用力を高める学力の向上」が27.8%となっています。

性別では、「基礎的な知識や応用力を高める学力の向上」は男性が32.5%、女性が24.7%と、男性が7.8ポイント高くなっています。

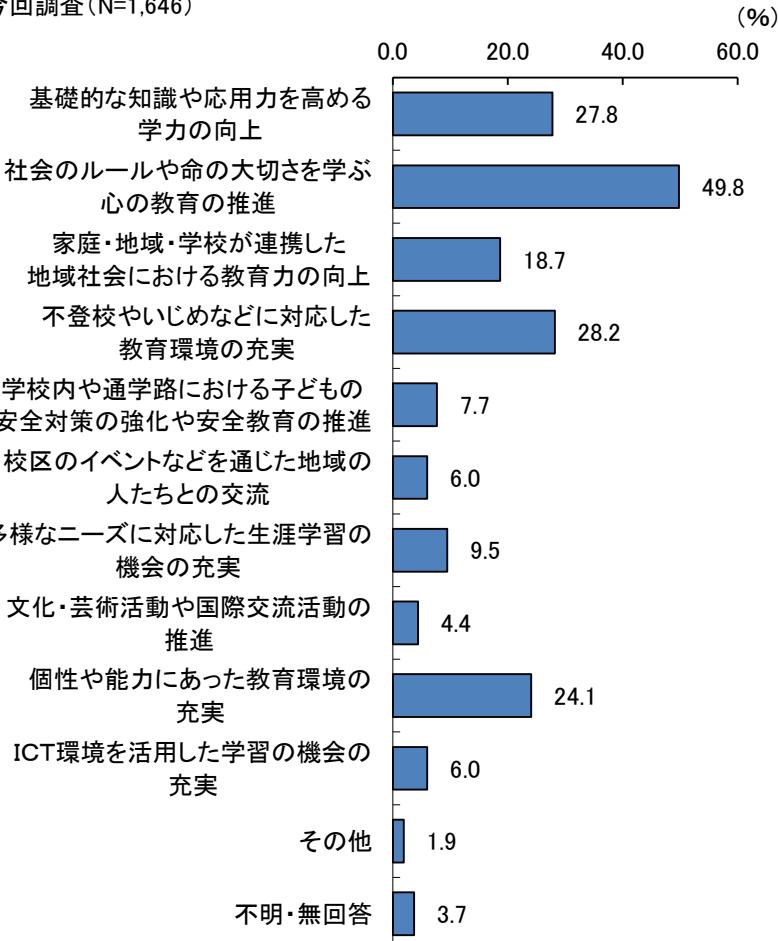
年代別では、10代で「不登校やいじめなどに対応した教育環境の充実」が4割近くで最も高くなっています。また、50代以上で「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進」が5割台となっています。

地区別では、西布施で「基礎的な知識や応用力を高める学力の向上」が4割台と高くなっています。

居住年数別では、5年未満を除いて「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進」が4割を超えていました。

【単純集計】

今回調査(N=1,646)



インターネット調査 (N=197) 単位%	
基礎的な知識や応用力を高める学力の向上	36.5
社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進	40.6
家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力の向上	13.7
不登校やいじめなどに対応した教育環境の充実	23.9
学校内や通学路における子どもの安全対策の強化や安全教育の推進	14.2
校区のイベントなどを通じた地域の人たちとの交流	4.6
多様なニーズに対応した生涯学習の機会の充実	10.7
文化・芸術活動や国際交流活動の推進	7.6
個性や能力にあった教育環境の充実	23.9
I C T環境を活用した学習の機会の充実	8.1
その他	2.0
不明・無回答	1.5

【クロス集計】

(単位 : %)

	の基礎的な知識や応用力を高める学力	の社会教育のルールや命の大切さを学ぶ心	家庭における地域・学校が連携した地域社会	環境不登校や充実いいじめなどに対応した教育	学校対校内や強化学路や安全における子の推進の安	人校区たちとのイベントなどを通じた地域の	機会多様な二・三の充実	進文化・芸術活動や国際交流活動の推	個性や能力にあつた教育環境の充実	充実ICT環境を活用した学習の機会の	その他	不明・無回答
全体(N=1,646)	27.8	49.8	18.7	28.2	7.7	6.0	9.5	4.4	24.1	6.0	1.9	3.7
【◆性別】												
男性(N=667)	32.5	49.6	18.0	24.0	6.3	7.6	10.2	3.3	23.2	8.1	3.0	3.3
女性(N=872)	24.7	48.9	19.7	30.3	9.1	5.0	8.9	5.3	25.1	4.7	1.3	3.9
【◆年齢別】												
10代(N=16)	18.8	31.3	12.5	37.5	6.3	-	12.5	12.5	31.3	12.5	6.3	6.3
20代(N=97)	35.1	47.4	17.5	24.7	11.3	8.2	10.3	4.1	21.6	8.2	1.0	2.1
30代(N=137)	27.7	37.2	12.4	30.7	13.1	8.0	14.6	5.8	22.6	10.2	1.5	2.9
40代(N=191)	29.3	41.4	15.7	27.7	11.5	4.2	9.4	6.8	29.3	7.9	4.7	2.1
50代(N=277)	27.1	50.5	18.1	25.6	3.6	4.3	10.5	4.3	29.6	9.4	3.2	2.2
60代(N=305)	31.8	52.5	19.0	28.2	7.2	4.3	9.2	4.3	25.6	3.0	1.3	2.6
70代以上(N=569)	25.1	54.0	21.8	29.2	7.0	7.7	7.6	3.3	19.9	4.2	0.9	5.3
【◆地区別】												
大町(N=89)	28.1	50.6	19.1	32.6	5.6	7.9	7.9	6.7	23.6	5.6	2.2	2.2
村木(N=98)	24.5	50.0	19.4	25.5	6.1	10.2	9.2	2.0	25.5	5.1	4.1	6.1
下中島(N=107)	21.5	57.0	19.6	29.9	9.3	4.7	8.4	2.8	26.2	3.7	2.8	1.9
上中島(N=57)	24.6	50.9	29.8	33.3	5.3	3.5	5.3	3.5	24.6	5.3	-	1.8
松倉(N=45)	24.4	51.1	22.2	28.9	4.4	4.4	4.4	8.9	17.8	4.4	2.2	8.9
上野方(N=84)	23.8	53.6	13.1	32.1	4.8	7.1	10.7	4.8	28.6	4.8	4.8	2.4
本江(N=269)	32.0	48.7	18.2	22.7	8.6	6.3	9.7	6.3	24.2	7.1	1.1	3.0
片貝(N=43)	32.6	39.5	18.6	27.9	11.6	7.0	7.0	2.3	23.3	4.7	-	7.0
加積(N=241)	27.0	46.1	17.4	29.9	9.1	6.6	11.2	5.0	23.2	6.6	2.9	3.7
道下(N=222)	26.1	47.7	21.2	28.4	9.5	6.3	10.4	2.7	24.3	7.7	0.5	3.6
経田(N=166)	28.3	55.4	15.7	30.7	7.8	4.2	12.0	4.2	21.7	5.4	1.2	3.0
天神(N=77)	26.0	48.1	19.5	26.0	7.8	7.8	6.5	5.2	26.0	6.5	2.6	5.2
西布施(N=53)	45.3	50.9	20.8	22.6	1.9	3.8	3.8	-	26.4	9.4	-	-
【◆居住年数別】												
5年未満(N=81)	29.6	35.8	21.0	27.2	13.6	4.9	8.6	3.7	28.4	11.1	1.2	3.7
5年以上10年未満(N=40)	17.5	50.0	10.0	17.5	12.5	10.0	10.0	15.0	32.5	7.5	5.0	2.5
10年以上20年未満(N=123)	26.0	40.7	17.9	29.3	8.9	5.7	8.9	3.3	29.3	11.4	4.9	2.4
20年以上(N=430)	26.3	48.4	19.5	28.6	7.2	5.3	11.6	5.1	23.5	5.1	1.6	4.7
生まれた時から(N=935)	29.3	52.2	18.6	28.2	7.3	6.3	8.6	4.0	23.4	5.2	1.7	3.1

※分類ごとの上位のものに対して、網掛けを施しています。

《 安全・安心に暮らせるまちづくりについて 》

問 16 あなたは、福祉を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(複数回答)

福祉を充実させるために力を入れるべきことについてみると、「高齢者や障がい者(児)が入所(入居)できる施設の整備」が 43.5%と最も高く、次いで「経済面での生活支援の充実」が 29.6%、「元気な高齢者の働く場の確保や障がい者が自立できる就労支援策の充実」が 26.6%となっています。

性別では、「高齢者や障がい者(児)が利用しやすい在宅サービスの充実」は女性が 28.7%、男性が 19.6%と、女性が 9.1 ポイント高くなっています。

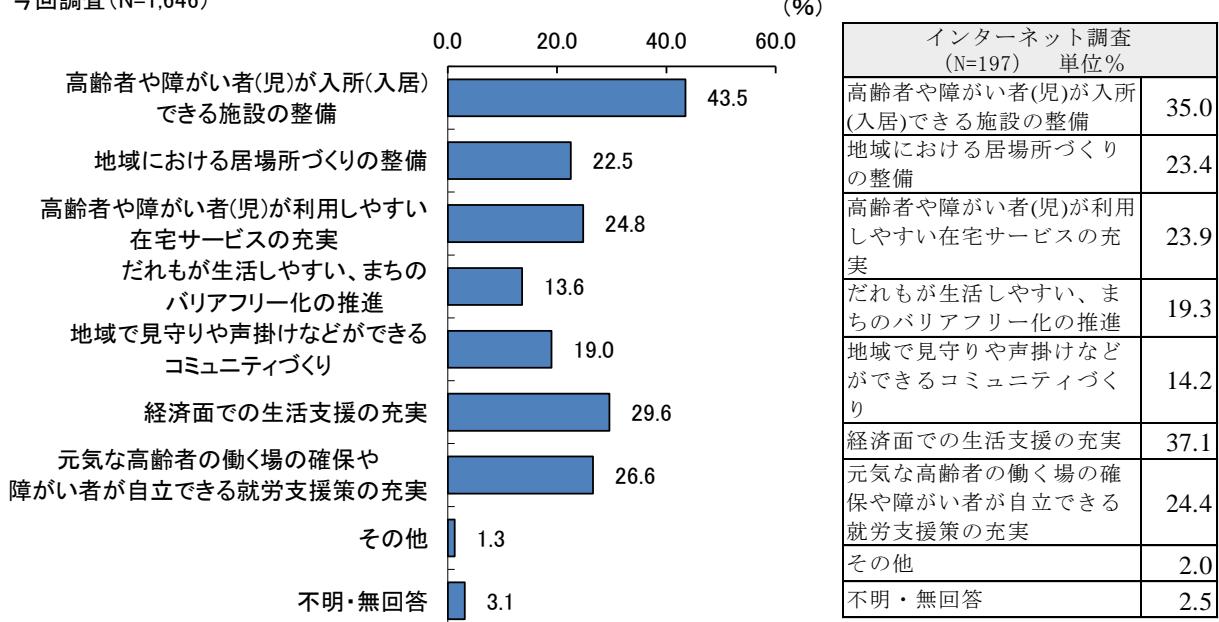
年代別では、10 代で「高齢者や障がい者(児)が利用しやすい在宅サービスの充実」が 3割台となっています。また、50 代では「経済面での生活支援の充実」が 3割を超え最も高い項目となっています。

地区別では、片貝・経田で「高齢者や障がい者(児)が入所(入居)できる施設の整備」が 5割以上となっています。

居住年数別では、5年未満の「経済面での生活支援の充実」、5年以上 10 年未満の「地域における居場所づくりの整備」において、他の層よりも割合が高くなっています。

【単純集計】

今回調査(N=1,646)



【クロス集計】

(単位 : %)

	設が高 の入齢 整所者 備へや 入障 居が い で者 きへ る児 施)	り地 域 整 備 に お け る 居 場 所 づ く	ビが高 ス利齢 の用者 充しや 実や障 すが いい 在者 宅へ サ児 ー)	推 進 のも バが リ生 ア活 フリや ーす 化い の	まだ れのも バが リ生 ア活 フリや ーす 化い の	づど 地 域 で 見 守 り ミ や ユ 声 ニ 掛 け イ な	実 經 濟 面 で の 生 活 支 援 の 充	き 確 保 元 気 就 や な 労 障 支 が 高 齢 援 い 者 策 者 の の が 働 充 自 く 実 立 場 の	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体(N=1,646)	43.5	22.5	24.8	13.6	19.0	29.6	26.6	1.3	3.1	
【◆性別】										
男性(N=667)	42.7	24.4	19.6	15.7	20.5	32.4	24.9	1.3	2.8	
女性(N=872)	44.0	20.8	28.7	11.9	18.0	27.6	28.2	1.3	3.2	
【◆年齢別】										
10代(N=16)	37.5	12.5	37.5	25.0	6.3	25.0	31.3	–	6.3	
20代(N=97)	39.2	22.7	14.4	34.0	16.5	38.1	15.5	1.0	2.1	
30代(N=137)	35.8	25.5	19.0	19.0	16.1	37.2	27.0	2.2	2.2	
40代(N=191)	39.3	23.0	23.6	17.3	12.6	29.8	30.4	2.6	3.1	
50代(N=277)	45.8	23.5	25.3	7.2	11.2	35.0	31.4	1.8	2.2	
60代(N=305)	49.2	23.6	26.6	8.5	19.3	30.8	25.6	1.3	2.6	
70代以上(N=569)	44.5	19.3	27.6	13.0	26.2	23.6	25.5	0.5	3.5	
【◆地区別】										
大町(N=89)	49.4	23.6	28.1	13.5	19.1	30.3	23.6	–	1.1	
村木(N=98)	41.8	26.5	19.4	19.4	19.4	29.6	19.4	3.1	5.1	
下中島(N=107)	46.7	18.7	22.4	14.0	16.8	22.4	37.4	3.7	1.9	
上中島(N=57)	47.4	22.8	24.6	12.3	17.5	38.6	22.8	–	1.8	
松倉(N=45)	42.2	22.2	28.9	11.1	20.0	24.4	24.4	–	4.4	
上野方(N=84)	41.7	26.2	25.0	7.1	19.0	22.6	33.3	3.6	3.6	
本江(N=269)	39.0	21.6	22.3	15.2	17.5	29.0	33.5	0.7	3.7	
片貝(N=43)	53.5	20.9	18.6	9.3	23.3	34.9	16.3	–	4.7	
加積(N=241)	41.9	21.2	27.8	12.0	22.0	30.7	25.3	1.2	2.5	
道下(N=222)	42.3	24.3	24.3	14.9	20.7	32.0	21.2	0.9	3.2	
経田(N=166)	50.0	20.5	31.3	9.6	14.5	28.9	28.9	0.6	3.0	
天神(N=77)	49.4	14.3	20.8	20.8	24.7	33.8	19.5	1.3	3.9	
西布施(N=53)	41.5	22.6	30.2	7.5	17.0	37.7	24.5	–	–	
【◆居住年数別】										
5年未満(N=81)	35.8	16.0	23.5	29.6	4.9	35.8	24.7	3.7	3.7	
5年以上10年未満(N=40)	32.5	35.0	25.0	17.5	25.0	25.0	30.0	–	–	
10年以上20年未満(N=123)	42.3	17.9	27.6	17.9	13.0	29.3	32.5	2.4	1.6	
20年以上(N=430)	44.9	19.1	27.7	9.8	19.5	29.8	27.9	1.6	3.3	
生まれた時から(N=935)	44.6	24.0	23.5	13.3	20.5	29.6	25.3	1.0	2.9	

※分類ごとの上位のものに対して、網掛けを施しています。

問17 あなたは、防災に対する取組として、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。（複数回答）

防災に対する取組として力を入れるべきことについてみると、「災害時における情報提供や連絡体制の充実」が 57.7%と最も高く、次いで「耐震診断や改修費用などの補助制度や公共施設の耐震化の充実」が 36.8%、「防災資機材の備蓄・整備の充実」が 31.8%となっています。

性別では、「災害時における情報提供や連絡体制の充実」は女性が 61.4%、男性が 54.4%と、女性が 7.0 ポイント高くなっています。

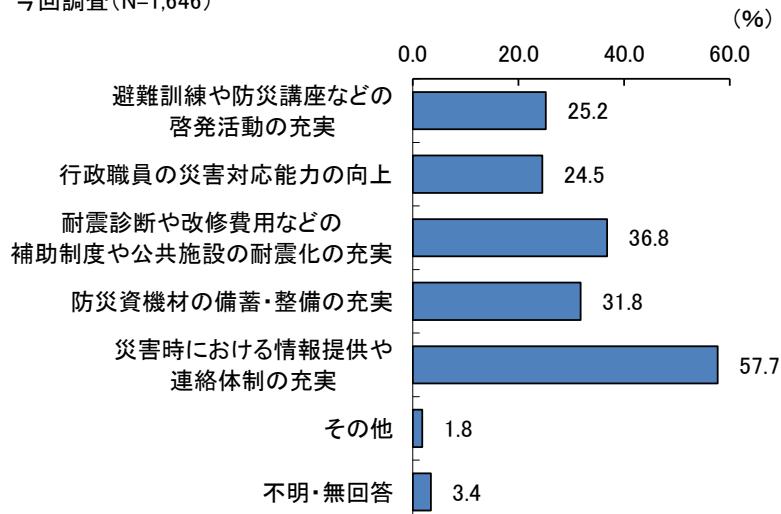
年代別では、20 代で「耐震診断や改修費用などの補助制度や公共施設の耐震化の充実」が 57.7%と最も高く、次いで「災害時における情報提供や連絡体制の充実」が 36.8%、「防災資機材の備蓄・整備の充実」が 31.8%となっています。

地区別では、松倉・西布施を除いて「災害時における情報提供や連絡体制の充実」が 57.7%と最も高く、次いで「耐震診断や改修費用などの補助制度や公共施設の耐震化の充実」が 36.8%、「防災資機材の備蓄・整備の充実」が 31.8%となっています。

居住年数別では、いずれの居住年数でも「災害時における情報提供や連絡体制の充実」が 57.7%と最も高く、次いで「耐震診断や改修費用などの補助制度や公共施設の耐震化の充実」が 36.8%、「防災資機材の備蓄・整備の充実」が 31.8%となっています。

【単純集計】

今回調査(N=1,646)



インターネット調査 (N=197) 単位%	
避難訓練や防災講座などの啓発活動の充実	27.9
行政職員の災害対応能力の向上	24.9
耐震診断や改修費用などの補助制度や公共施設の耐震化の充実	40.1
防災資機材の備蓄・整備の充実	37.6
災害時における情報提供や連絡体制の充実	48.2
その他	1.0
不明・無回答	2.0

【クロス集計】

(単位 : %)

	どの難 啓訓練 発練活 動防の災 充講座 実座な	行政 の政 向職 上員 の災 害対 応能	設 耐 ど の震 耐 補 診 震 助 断 化 制 や の度 改 充 や 修 実 公 費 共 用 施 な	備 防 災 資 充 実 機 材 の 備 蓄 ・ 整	供 災 や 害 連 絡 時 に 体 お 制 け の 充 情 実 報 提	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体(N=1,646)	25.2	24.5	36.8	31.8	57.7	1.8	3.4
【◆性別】							
男性(N=667)	25.5	28.0	37.3	32.1	54.4	2.2	3.0
女性(N=872)	24.5	21.7	36.1	31.9	61.4	1.4	3.6
【◆年齢別】							
10代(N=16)	-	6.3	43.8	56.3	56.3	-	6.3
20代(N=97)	18.6	16.5	55.7	47.4	44.3	-	2.1
30代(N=137)	19.7	17.5	45.3	41.6	58.4	0.7	2.2
40代(N=191)	24.1	18.8	40.3	39.3	54.5	3.7	3.1
50代(N=277)	20.2	27.1	35.0	33.9	57.0	1.4	1.4
60代(N=305)	23.6	27.9	37.7	27.2	62.0	3.0	2.3
70代以上(N=569)	31.5	25.8	31.5	25.7	59.2	1.2	5.1
【◆地区別】							
大町(N=89)	23.6	23.6	44.9	22.5	64.0	1.1	2.2
村木(N=98)	27.6	21.4	32.7	38.8	55.1	1.0	6.1
下中島(N=107)	21.5	24.3	38.3	30.8	54.2	6.5	2.8
上中島(N=57)	29.8	29.8	33.3	40.4	50.9	-	1.8
松倉(N=45)	28.9	22.2	35.6	31.1	42.2	2.2	4.4
上野方(N=84)	17.9	28.6	36.9	26.2	63.1	4.8	3.6
本江(N=269)	25.7	21.9	36.1	33.1	58.7	0.4	4.5
片貝(N=43)	30.2	25.6	23.3	34.9	65.1	4.7	2.3
加積(N=241)	23.7	20.7	39.0	30.7	61.8	2.5	2.5
道下(N=222)	25.2	26.1	37.8	31.1	57.2	0.5	3.6
経田(N=166)	24.7	27.7	33.7	34.3	59.6	1.2	2.4
天神(N=77)	28.6	22.1	41.6	29.9	54.5	-	3.9
西布施(N=53)	35.8	28.3	41.5	28.3	45.3	1.9	-
【◆居住年数別】							
5年未満(N=81)	21.0	18.5	46.9	30.9	60.5	-	3.7
5年以上10年未満(N=40)	20.0	17.5	50.0	37.5	62.5	5.0	-
10年以上20年未満(N=123)	17.9	21.1	34.1	41.5	59.3	2.4	1.6
20年以上(N=430)	25.1	21.6	34.0	31.9	60.9	0.7	4.2
生まれた時から(N=935)	26.4	26.8	37.4	30.8	55.8	2.1	3.0

※分類ごとの上位のものに対して、網掛けを施しています。

《 これからの魚津市のまちづくりについて 》

問 18 うるおいある豊かな地域社会を築いていくためには、住民がまちづくりに積極的に参加していくことがますます重要になっています。

今後、あなた自身が地域振興の取組に参加することについてどのようにお考えですか。(複数回答)

地域振興の取組への参加意向についてみると、「地域振興の取組に住民参加は必要であるが、関係団体などの選ばれた人が中心になって進めるのが望ましい」が 47.7%と最も高く、次いで「地域振興の取組に住民参加は必要であるが、自分としては参加できない」が 39.9%、「地域振興の取組に住民参加は不可欠であり、機会があれば積極的に参加したい」が 32.3%と高くなっています。

性別では、「地域振興の取組に住民参加は必要であるが、自分としては参加できない」は女性が 44.3%、男性が 34.8%と、女性が 9.5 ポイント高くなっています。

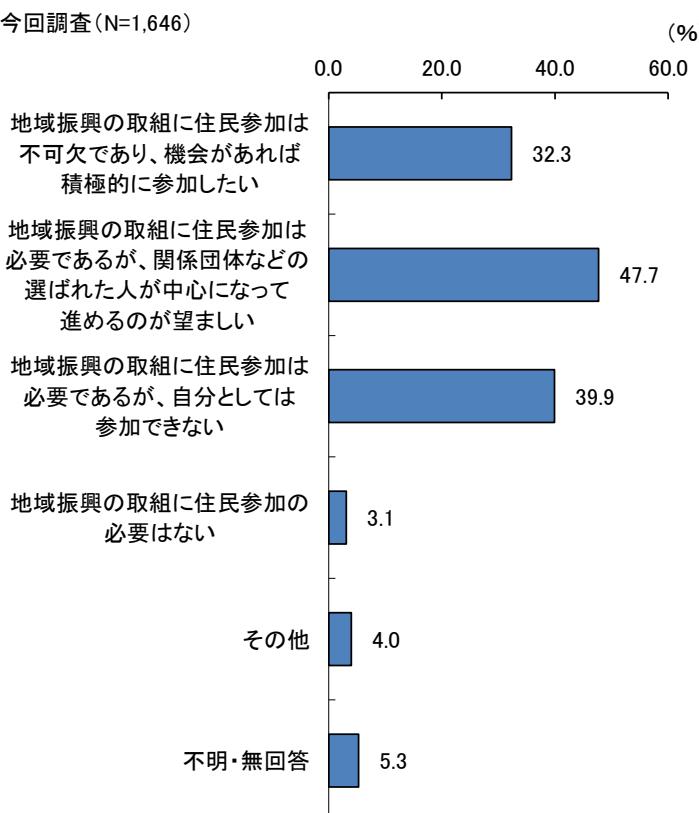
年代別では、10 代・70 代で「地域振興の取組に住民参加は必要であるが、自分としては参加できない」に占める割合が 4 割以上となっています。

地区別では、片貝で「地域振興の取組に住民参加は不可欠であり、機会があれば積極的に参加したい」「地域振興の取組に住民参加は必要であるが、関係団体などの選ばれた人が中心になって進めるのが望ましい」「地域振興の取組に住民参加は必要であるが、自分としては参加できない」が同じ割合で高くなっています。

居住年数別では、いずれの居住年数でも「地域振興の取組に住民参加は必要であるが、関係団体などの選ばれた人が中心になって進めるのが望ましい」が 4 割を超えていました。

【単純集計】

今回調査(N=1,646)



インターネット調査 (N=197) 単位%	
地域振興の取組に住民参加は不可欠であり、機会があれば積極的に参加したい	41.6
地域振興の取組に住民参加は必要であるが、関係団体などの選ばれた人が中心になって進めるのが望ましい	41.6
地域振興の取組に住民参加は必要であるが、自分としては参加できない	29.9
地域振興の取組に住民参加の必要はない	7.1
その他	4.6
不明・無回答	2.0

【クロス集計】

(単位 : %)

	れは地 ば不域 積可振 極欠興 的での にあ取 参り組 加にし 機住 た会民 いが参 あ加	ななは地 つど必域 ての要振 進選で興 めばあの るれる取 のたが組 が人`に 望が関住 ま中係民 し心団參 いに体加	ては地 は必域 參要振 加で興 である取 きる取 なが組 い`に 自住 分民 と參 し加	の地 必域 要振 は興 ない取 組に 住民 参加	そ の 他	不 明・ 無 回 答
全体(N=1,646)	32.3	47.7	39.9	3.1	4.0	5.3
【◆性別】						
男性(N=667)	36.3	51.6	34.8	3.6	4.6	4.3
女性(N=872)	29.6	45.0	44.3	2.6	3.1	5.7
【◆年齢別】						
10代(N=16)	12.5	37.5	62.5	6.3	-	6.3
20代(N=97)	21.6	52.6	38.1	3.1	2.1	-
30代(N=137)	30.7	47.4	32.8	5.1	2.9	1.5
40代(N=191)	33.0	44.0	34.0	4.2	4.2	3.1
50代(N=277)	31.0	45.8	33.2	4.0	4.7	1.8
60代(N=305)	34.1	49.5	37.0	3.0	5.2	4.9
70代以上(N=569)	33.7	48.5	49.0	1.8	3.3	9.3
【◆地区別】						
大町(N=89)	37.1	42.7	38.2	-	6.7	7.9
村木(N=98)	36.7	41.8	39.8	2.0	4.1	9.2
下中島(N=107)	33.6	45.8	29.9	1.9	4.7	5.6
上中島(N=57)	22.8	49.1	45.6	7.0	1.8	7.0
松倉(N=45)	33.3	51.1	37.8	4.4	2.2	4.4
上野方(N=84)	28.6	48.8	44.0	1.2	4.8	6.0
本江(N=269)	33.8	47.6	35.7	3.3	2.2	3.3
片貝(N=43)	46.5	46.5	46.5	-	4.7	2.3
加積(N=241)	32.8	45.6	40.2	2.5	2.9	5.4
道下(N=222)	30.6	50.9	41.4	5.0	5.0	4.5
経田(N=166)	22.9	54.2	51.8	3.0	3.0	5.4
天神(N=77)	36.4	46.8	35.1	3.9	6.5	7.8
西布施(N=53)	39.6	54.7	37.7	1.9	3.8	-
【◆居住年数別】						
5年未満(N=81)	21.0	55.6	33.3	6.2	-	3.7
5年以上10年未満(N=40)	35.0	47.5	37.5	2.5	-	2.5
10年以上20年未満(N=123)	30.1	42.3	38.2	2.4	5.7	2.4
20年以上(N=430)	31.2	45.3	44.9	3.0	4.7	6.5
生まれた時から(N=935)	33.9	49.0	39.0	3.1	3.7	5.0

※分類ごとの上位のものに対して、網掛けを施しています。

問19 魚津市では13地区の地域振興会が中心となり、地域ごとの特色あるまちづくりを推進しています。令和6年4月1日には、全13地区の公民館が「コミュニティセンター」へ移行し、これまでの生涯学習事業（公民館事業）に加えて、より自由度の高い地域づくり活動や地域資源を活用した収益事業を行うことが可能となりました。今後、コミュニティセンターにどのような機能があればよいと考えますか。（複数回答）

コミュニティセンターにあればよい機能についてみると、「地域づくりにかかわる地場産物の販売・提供」が35.2%と最も高く、次いで「趣味やクラブ活動など、生涯学習の活動」が33.2%、「地域内外の交流活動」が28.7%となっています。

性別では、男性で「趣味やクラブ活動など、生涯学習の活動」、女性で「地域づくりにかかわる地場産物の販売・提供」が、それぞれ3割以上で最も高くなっています。

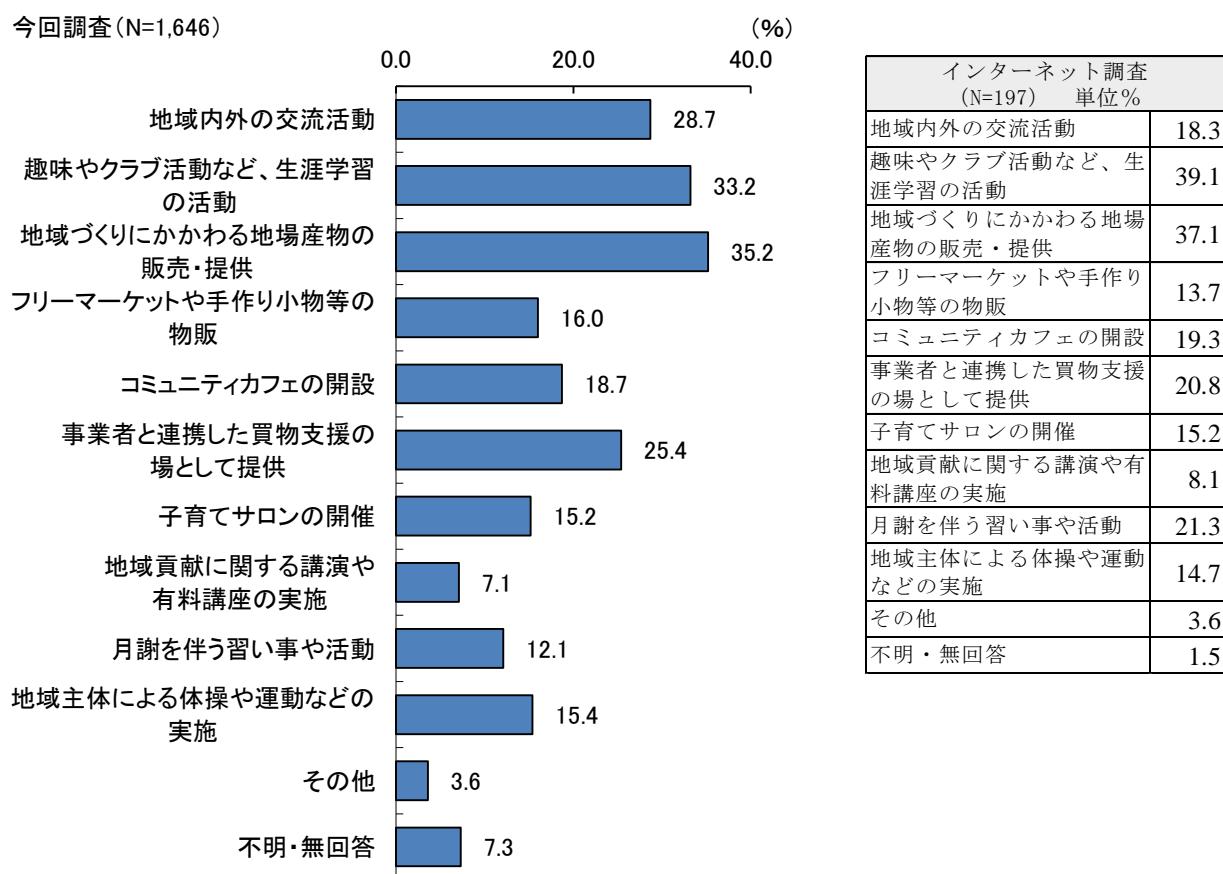
年代別では、10代で「事業者と連携した買物支援の場として提供」、20代・30代で「趣味やクラブ活動など、生涯学習の活動」、40代以上で「地域づくりにかかわる地場産物の販売・提供」がそれぞれ最も高くなっています。

地区別では、大町・下中島・上中島・上野方・道下・経田で「地域づくりにかかわる地場産物の販売・提供」が最も高くなっています。

居住年数別では、5年末満で「事趣味やクラブ活動など、生涯学習の活動」が3割を超える最も高くなっています。

【単純集計】

今回調査(N=1,646)



【クロス集計】

(単位 : %)

地域内外の交流活動	活動趣味やクラブ活動など、生涯学習の	地域づくりにかかわる地場産物の販	物販	フリーマーケットや手作り小物等の	コミュニティカフェの開設	て事業者と連携した買物支援の場とし	子育てサロンの開催	実地域貢献に関する講演や有料講座の	月謝を伴う習い事や活動	施地域主体による体操や運動などの実	その他	不明・無回答
全体(N=1,646)	28.7	33.2	35.2	16.0	18.7	25.4	15.2	7.1	12.1	15.4	3.6	7.3
【◆性別】												
男性(N=667)	34.2	35.2	32.4	14.8	17.2	23.1	15.7	8.7	10.3	10.3	4.6	8.1
女性(N=872)	24.0	32.2	37.5	18.0	20.9	26.6	15.1	5.8	13.8	19.2	2.6	5.8
【◆年齢別】												
10代(N=16)	31.3	25.0	25.0	25.0	12.5	37.5	18.8	-	18.8	18.8	6.3	-
20代(N=97)	28.9	34.0	23.7	26.8	28.9	27.8	23.7	5.2	14.4	13.4	2.1	2.1
30代(N=137)	27.7	36.5	34.3	17.5	23.4	21.2	29.9	7.3	24.1	10.2	4.4	0.7
40代(N=191)	25.1	34.0	34.6	14.1	18.8	19.4	11.0	4.7	27.2	10.5	3.7	5.8
50代(N=277)	27.8	32.9	36.8	19.1	16.6	26.7	16.6	10.5	13.7	14.1	4.3	1.8
60代(N=305)	29.5	33.8	38.7	14.8	21.3	26.9	13.1	6.2	8.5	13.4	3.9	5.2
70代以上(N=569)	28.5	32.9	36.4	14.1	16.2	25.7	12.1	7.4	4.9	20.4	3.0	13.5
【◆地区別】												
大町(N=89)	18.0	34.8	39.3	15.7	14.6	37.1	18.0	4.5	10.1	14.6	4.5	12.4
村木(N=98)	32.7	35.7	29.6	17.3	29.6	20.4	13.3	3.1	13.3	17.3	1.0	10.2
下中島(N=107)	26.2	29.0	42.1	14.0	18.7	23.4	21.5	7.5	16.8	12.1	6.5	6.5
上中島(N=57)	29.8	19.3	54.4	14.0	15.8	40.4	5.3	-	10.5	15.8	1.8	8.8
松倉(N=45)	28.9	35.6	24.4	13.3	26.7	28.9	6.7	6.7	20.0	8.9	4.4	4.4
上野方(N=84)	29.8	29.8	39.3	11.9	22.6	23.8	16.7	6.0	3.6	13.1	8.3	7.1
本江(N=269)	32.3	36.1	35.3	16.7	20.8	23.0	18.6	7.1	14.1	14.5	3.3	3.7
片貝(N=43)	32.6	37.2	30.2	18.6	14.0	34.9	11.6	9.3	7.0	14.0	-	9.3
加積(N=241)	28.2	32.4	31.5	17.0	14.5	23.2	11.2	10.0	10.0	19.5	4.1	8.3
道下(N=222)	25.2	33.8	35.6	16.2	20.3	22.5	16.7	8.1	11.3	18.0	3.6	7.7
経田(N=166)	25.9	31.9	33.1	21.7	15.7	29.5	18.7	8.4	10.2	19.3	2.4	5.4
天神(N=77)	36.4	39.0	32.5	9.1	24.7	14.3	18.2	5.2	18.2	10.4	-	7.8
西布施(N=53)	28.3	37.7	47.2	17.0	13.2	32.1	3.8	9.4	7.5	13.2	1.9	5.7
【◆居住年数別】												
5年未満(N=81)	24.7	30.9	29.6	13.6	18.5	24.7	28.4	12.3	18.5	12.3	3.7	3.7
5年以上10年未満(N=40)	25.0	30.0	32.5	22.5	27.5	7.5	25.0	15.0	25.0	10.0	2.5	2.5
10年以上20年未満(N=123)	24.4	34.1	38.2	18.7	14.6	23.6	10.6	5.7	22.0	9.8	7.3	2.4
20年以上(N=430)	25.6	29.8	34.0	16.0	17.7	25.1	16.3	7.0	8.1	19.8	3.7	9.5
生まれた時から(N=935)	30.6	35.0	36.5	15.9	19.6	26.6	14.0	6.5	11.7	14.7	3.1	7.0

※分類ごとの上位のものに対して、網掛けを施しています。

5 「デジタル化」の取組について

問20 人口減少、少子高齢化が進む中、市民や民間事業者の皆さんなどと一体となって、デジタル技術やICT（情報通信技術）などを活用したまちづくりの推進が求められます。「デジタル化」に関して、今後より必要だと感じる分野は何ですか。（複数回答）

「デジタル化」に関して今後より必要な分野についてみると、「防災・防犯に関する分野」が43.9%と最も高く、次いで「医療・介護に関する分野」が39.1%、「子育て・教育に関する分野」が21.9%となっています。

性別では、「交通インフラに関する分野」は男性が21.0%、女性が10.9%と、男性が10.1ポイント高くなっています。

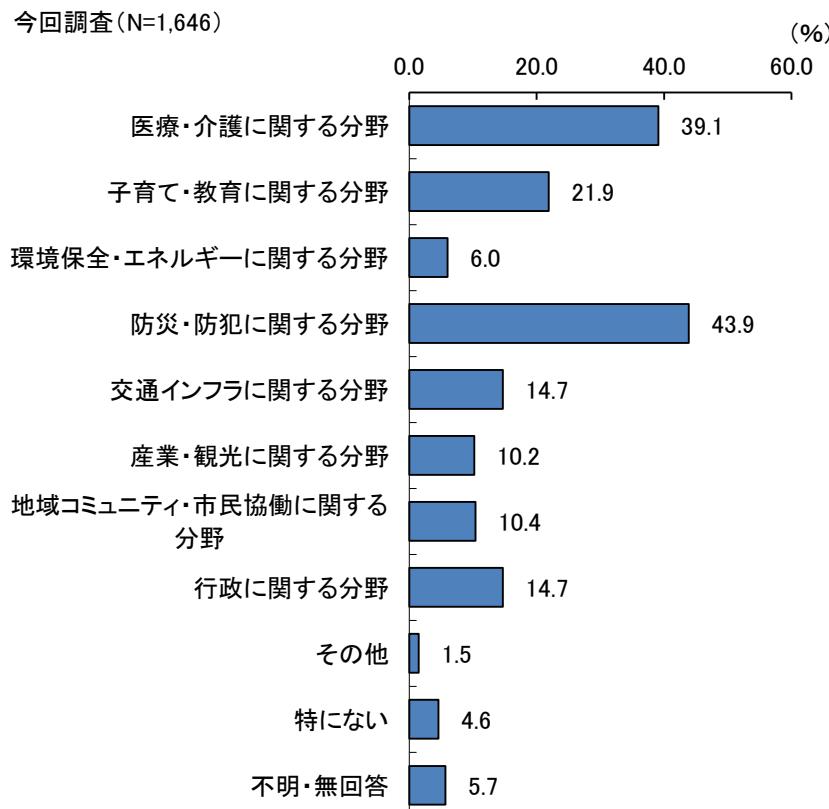
年代別では、10代・20代・50代で「医療・介護に関する分野」、30代は「子育て・教育に関する分野」、40代・60代以上は「防災・防犯に関する分野」がそれぞれ最も高くなっています。

地区別では、下中島・片貝で「防災・防犯に関する分野」が5割台となっています。

居住年数別では、5年未満・5年以上10年未満で「医療・介護に関する分野」、10年以上で「防災・防犯に関する分野」がそれぞれ最も高くなっています。

【単純集計】

今回調査(N=1,646)



インターネット調査 (N=197) 単位%	
医療・介護に関する分野	28.4
子育て・教育に関する分野	27.4
環境保全・エネルギーに関する分野	5.6
防災・防犯に関する分野	35.0
交通インフラに関する分野	22.3
産業・観光に関する分野	12.7
地域コミュニティ・市民協働に関する分野	13.7
行政に関する分野	27.9
その他	0.5
特になし	3.6
不明・無回答	1.5

【クロス集計】

(単位 : %)

	医療・介護に関する分野	子育て・教育に関する分野	環境保全・エネルギーに関する分野	防災・防犯に関する分野	交通インフラに関する分野	産業・観光に関する分野	地域コミュニティ・市民協働に関する分野	行政に関する分野	その他	特にない	不明・無回答
全体(N=1,646)	39.1	21.9	6.0	43.9	14.7	10.2	10.4	14.7	1.5	4.6	5.7
【◆性別】											
男性(N=667)	38.2	20.2	5.4	41.5	21.0	12.0	10.8	17.2	1.2	3.6	4.8
女性(N=822)	39.7	23.6	6.2	45.1	10.9	8.9	10.2	13.3	1.4	5.5	5.7
【◆年齢別】											
10代(N=16)	62.5	25.0	6.3	37.5	6.3	25.0	6.3	12.5	-	-	-
20代(N=97)	46.4	33.0	7.2	29.9	15.5	16.5	5.2	17.5	1.0	7.2	1.0
30代(N=137)	35.0	36.5	7.3	30.7	17.5	13.9	8.8	27.0	1.5	4.4	0.7
40代(N=191)	36.1	31.4	7.3	44.0	15.2	13.6	12.0	13.6	1.6	2.1	2.6
50代(N=277)	45.1	22.7	5.4	41.5	14.8	9.4	9.4	19.1	1.4	4.3	0.4
60代(N=305)	40.7	17.7	4.6	47.5	20.0	8.2	11.5	17.4	1.3	4.3	3.0
70代以上(N=569)	35.9	15.5	5.8	48.5	11.4	7.7	11.4	8.4	1.2	5.4	12.5
【◆地区別】											
大町(N=89)	30.3	18.0	4.5	44.9	22.5	9.0	12.4	12.4	2.2	6.7	9.0
村木(N=98)	36.7	25.5	6.1	38.8	10.2	15.3	8.2	14.3	1.0	4.1	10.2
下中島(N=107)	42.1	22.4	2.8	51.4	11.2	6.5	9.3	12.1	3.7	4.7	4.7
上中島(N=57)	43.9	15.8	5.3	47.4	15.8	3.5	10.5	12.3	1.8	3.5	7.0
松倉(N=45)	35.6	15.6	17.8	44.4	13.3	8.9	17.8	13.3	-	8.9	-
上野方(N=84)	40.5	26.2	3.6	39.3	14.3	8.3	10.7	13.1	-	7.1	6.0
本江(N=269)	36.1	23.0	3.3	46.1	12.3	11.9	12.3	20.4	1.5	3.7	4.1
片貝(N=43)	27.9	16.3	9.3	51.2	18.6	2.3	7.0	14.0	-	7.0	11.6
加積(N=241)	37.8	21.6	7.9	40.7	15.4	9.5	12.0	16.6	1.2	3.3	5.8
道下(N=222)	45.0	26.6	6.8	42.3	15.3	9.5	6.8	16.2	0.9	3.6	4.1
経田(N=166)	41.6	19.9	5.4	44.0	15.7	13.9	10.2	12.0	1.8	4.8	5.4
天神(N=77)	44.2	22.1	6.5	41.6	19.5	10.4	11.7	5.2	-	5.2	6.5
西布施(N=53)	41.5	22.6	3.8	39.6	13.2	11.3	15.1	13.2	-	5.7	3.8
【◆居住年数別】											
5年未満(N=81)	40.7	35.8	6.2	24.7	18.5	12.3	8.6	27.2	-	3.7	2.5
5年以上10年未満(N=40)	42.5	27.5	10.0	25.0	10.0	12.5	5.0	20.0	2.5	12.5	2.5
10年以上20年未満(N=123)	35.8	34.1	4.1	42.3	10.6	12.2	14.6	22.0	-	2.4	2.4
20年以上(N=430)	40.2	17.9	6.0	48.8	12.3	10.0	9.5	10.9	1.2	4.7	7.4
生まれた時から(N=935)	38.9	20.9	6.0	44.2	16.3	9.6	10.7	14.4	1.6	4.7	5.5

※分類ごとの上位のものに対して、網掛けを施しています。

問21 今後、デジタル化が進むことで、どのようなことに不安を感じますか。 (複数回答)

デジタル化が進むことで感じる不安についてみると、「個人情報の漏えいやプライバシーの侵害」が 51.1%と最も高く、次いで「情報通信機器等を利用できる人と利用できない人との間で発生する情報格差」が 39.4%、「情報セキュリティの対策」が 22.3%となっています。

性別では、「情報通信機器等を利用できる人と利用できない人との間で発生する情報格差」は女性が 45.1%、男性が 33.4%と、女性が 11.7 ポイント高くなっています。

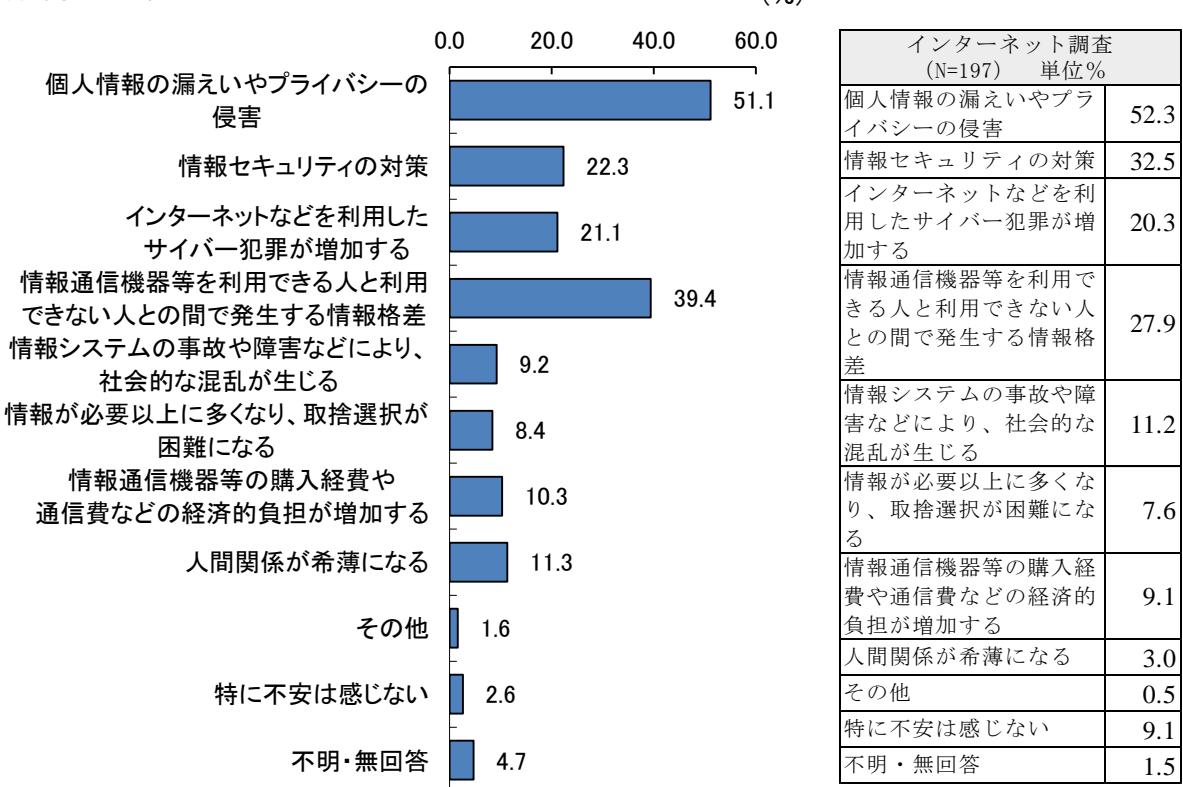
年代別では、年代が高くなるにしたがい「情報通信機器等を利用できる人と利用できない人との間で発生する情報格差」が高くなっています。

地区別では、松倉・片貝で「情報通信機器等を利用できる人と利用できない人との間で発生する情報格差」が 5 割台で最も高くなっています。

居住年数別では、5 年未満・10 年以上 20 年未満で「個人情報の漏えいやプライバシーの侵害」が 6 割程度となっています。

【単純集計】

今回調査(N=1,646)



【クロス集計】

(単位 : %)

	個人情報の漏えいやプライバシーの侵害	情報セキュリティの対策	バイナン犯ターゲットなどを利用したサイ	格差で報き、通信機器との間で利用で発生する人と報利	情報社会システムの事故や障害などによ	択が困難になるに多くなり、取捨選	情報通信機器等の購入経費や通信費	人間関係が希薄になる	その他	特に不安を感じない	不明・無回答
全体(N=1,646)	51.1	22.3	21.1	39.4	9.2	8.4	10.3	11.3	1.6	2.6	4.7
【◆性別】											
男性(N=667)	50.1	22.9	22.9	33.4	11.4	7.0	10.6	12.7	1.6	4.0	4.6
女性(N=872)	50.9	21.6	19.6	45.1	8.1	9.3	9.5	10.7	1.7	1.8	4.4
【◆年齢別】											
10代(N=16)	50.0	18.8	31.3	12.5	-	6.3	6.3	18.8	-	25.0	-
20代(N=97)	63.9	27.8	21.6	26.8	7.2	11.3	9.3	11.3	1.0	3.1	1.0
30代(N=137)	56.9	27.0	21.9	30.7	11.7	8.0	8.8	8.8	2.9	3.6	2.2
40代(N=191)	52.9	25.7	19.9	32.5	13.6	3.1	14.7	10.5	2.1	4.7	2.6
50代(N=277)	57.0	28.2	19.5	41.9	11.9	6.1	9.0	6.9	1.1	3.2	0.4
60代(N=305)	49.8	23.9	22.3	43.3	7.5	10.5	11.1	11.8	1.0	1.6	3.3
70代以上(N=569)	44.6	15.3	21.8	43.4	7.9	9.5	9.3	14.2	1.9	1.4	9.1
【◆地区別】											
大町(N=89)	52.8	16.9	14.6	37.1	7.9	6.7	18.0	10.1	-	3.4	9.0
村木(N=98)	54.1	19.4	21.4	41.8	7.1	8.2	6.1	10.2	2.0	2.0	7.1
下中島(N=107)	55.1	26.2	25.2	35.5	9.3	4.7	9.3	10.3	2.8	1.9	3.7
上中島(N=57)	57.9	14.0	28.1	38.6	7.0	14.0	7.0	19.3	-	-	5.3
松倉(N=45)	46.7	22.2	11.1	51.1	8.9	4.4	13.3	26.7	-	2.2	-
上野方(N=84)	48.8	9.5	25.0	40.5	19.0	3.6	10.7	10.7	1.2	4.8	4.8
本江(N=269)	48.3	29.0	19.7	40.9	10.0	7.8	9.3	9.3	2.2	3.3	3.3
片貝(N=43)	46.5	23.3	18.6	53.5	2.3	4.7	11.6	11.6	2.3	2.3	4.7
加積(N=241)	45.2	24.5	19.1	36.5	9.1	7.9	12.4	11.6	2.5	3.7	4.1
道下(N=222)	54.1	20.7	21.6	40.5	11.3	10.4	8.6	10.4	1.8	2.7	3.6
経田(N=166)	53.0	20.5	24.7	37.3	9.0	9.0	9.6	10.8	1.2	2.4	5.4
天神(N=77)	49.4	20.8	16.9	33.8	13.0	11.7	9.1	15.6	1.3	-	7.8
西布施(N=53)	66.0	18.9	26.4	45.3	1.9	7.5	7.5	9.4	-	3.8	1.9
【◆居住年数別】											
5年未満(N=81)	59.3	30.9	17.3	28.4	9.9	8.6	6.2	13.6	1.2	4.9	1.2
5年以上10年未満(N=40)	50.0	17.5	17.5	40.0	5.0	10.0	12.5	10.0	5.0	5.0	2.5
10年以上20年未満(N=123)	61.0	22.8	27.6	26.8	10.6	8.9	11.4	4.9	1.6	5.7	2.4
20年以上(N=430)	49.5	20.5	19.3	44.4	8.1	9.8	8.8	10.2	1.2	2.1	6.3
生まれた時から(N=935)	49.7	22.4	21.8	39.6	10.1	7.5	11.0	12.7	1.7	2.2	4.4

※分類ごとの上位のものに対して、網掛けを施しています。

III 自由回答

行政・議会について		件数
議員数が多いのではないか、議会をもっと活性化してほしい		6
市民が利用しやすい窓口運営、対応をしてほしい		6
行政がやるべきことを絞り、しっかりと予算を充てて早急に対応してほしい		5
市長がもっとリーダーシップをもってほしい		4
市民が利用しやすい市役所（建物）にしてほしい		2
経済面の支援をしてほしい		2
民間ともっと協働してほしい		1
役所の人才育成に力を入れてほしい		1
脱コンパクトシティ政策が求められる		1
環境問題に不安のある外資系企業に対して油断せず対応してほしい		1
もっと行政に关心を持つようにしたい		1
地域活動について		件数
地域活動における役員などが負担となっているため、見直しや改善が必要		9
交流を持てる場所が必要		5
高齢者の活躍の場や多世代交流など、住民の活動を促進する支援をしてほしい		4
高齢になっても地域活動にしっかりと関わり、若い人たちをサポートしたい		1
広報・情報提供について		件数
魅力のあるホームページや、市のお知らせなどの内容が充実した広報紙にしてほしい		12
SNSをもっと活用してほしい		4
市外へのPRをもっと活性化するべき		4
広報紙のデジタル化を推進してほしい		4
今後が不安であるため紙の広報紙をなくさないでほしい		4
防災無線が聞こえづらいので利便性を向上してほしい		2
イベントの場などで聴覚障害者がアクセスできる情報媒体があるとよい		1
人口減少について		件数
人口減少にしっかりと取り組んでほしい		9
女性や若者の定住支援、対策に力を入れてほしい		6
結婚、出産への支援ももっと考えてほしい		4
定住・移住支援について		件数
住宅にかかる費用負担への支援を、もっと幅広く行ってほしい		4
土地の価格が高く、住宅購入へのハードルになっているのではないかと感じる		2
魚津市で住宅を建てる人が何故少ないのかもっと考えてほしい		1

件数	
防災・防犯について	
避難設備の向上や身近な防災訓練等、災害に強いまちづくりに取り組んでほしい	9
街灯が少なく暗い道が多くて不安なため、街灯を増やしてほしい	8
防犯カメラの設置を進めるなど、まちの防犯を強化してほしい	6
災害が起こった際の避難場所の設定や避難施設の設備が不十分なので、見直しや対策をしてほしい	3
災害時の市役所の建物そのものや、市の動きなど、必要な際にきちんと機能するものにしてほしい	3
通学路となっている道路が狭いことや、通行する車のドライバーの運転など、不安が多い	2
防災に関する意識啓発に取り組んでほしい	2
家屋の耐震工事への補助を充実してほしい	2
環境について	件数
ゴミ出しの仕方や分別の不便さがある、改善または支援してほしい	8
景観の整備に力を入れてほしい	2
イベントなどでの騒音が気になるので改善してほしい	1
歩道が歩きづらいので改善してほしい	1
行財政について	件数
税金が高いと感じる、安くならないか	5
収支を改善してほしい	4
透明性を持たせてほしい	1
交付税に頼らない財政運用をしてほしい	1
子育て・教育について	件数
子ども達の遊ぶ場所としての公園や、雨天時にも遊べる屋内施設が不足しているので、充実してほしい	18
子育て支援事業全般に関して、今後も力を入れて取り組んでほしい	11
子育てしやすい環境づくり、まちづくりを進めてほしい	8
保育の質の向上と人材育成、確保を進めてほしい。特に米飯の持参が負担であり、食の安全の観点でも不安でもあるため改善してほしい	6
通学で利用するバスの利便性向上や、不登校児童・生徒への対策など、教育にかかる環境への対策を充実してほしい	3
小学校の統合に関して、疑問・不満がある	3
市外へ出ていっても戻ってきたくなるような教育を進めてほしい	2
食育に力を入れてほしい	1
ICT教育のための端末の準備が負担である、補助してほしい	1

女性の社会進出に伴う少子化の問題を考えるべき	1
公共施設・公園等について	件数
水族館の建て替えやリニューアルをしてもっと活性化してほしい	20
公共施設全般に関して、もっと利用しやすくしてほしい	11
スポーツや運動のための公園、環境を充実してほしい	5
図書館の質、サービスをもっと向上してほしい	3
ミラパークやミラージュランドの利便性向上、整備を進めてほしい	2
高齢者福祉について	件数
高齢者になっても安心して暮らせる環境、まちづくりをすすめてほしい	10
高齢者向け住居、施設を充実してほしい	3
介護現場の人手不足に対応するためデジタル化を促進してほしい	1
福祉の充実	件数
社会保障をしっかりと充実してほしい	5
将来への不安がある	2
福祉サービスに関する案内や伝達手段を充実してほしい	2
ボランティア活動やボランティアの人材育成に取り組んでほしい	1
医療・健康について	件数
市内での医療機関を充実してほしい	6
子どもを生みたくとも産科が不足しており非常に不便であるため、もっと充実してほしい	5
小児科を増やしてほしい	2
胃がん検診に関して国の指針に合わせて、無料をなくしてほしい	1
健康増進のためのイベントや取り組みをしてほしい	1
観光・活性化施策について	件数
イベントの実施場所や内容に課題があると感じる、もっと人が来やすく魅力のあるものにしてほしい	15
自然や伝統行事、工芸など、魅力ある資源を活用してほしい	12
市内の自然環境や食などの魅力をもっとPRしてほしい	9
駅周辺の活性化が効果的と思うので取り組んでほしい	5
市外、県外からの人の流入をのぞめるよう観光事業に力を入れてほしい	4
地域の活性化を図るべき	3
アリーナなどの大きな集客施設をつくってほしい	2
お城を活用してほしい	1
蜃気楼マラソンを活用、活性化してほしい	1

広域連携に取り組んでもっと盛り上げてほしい	1
農林水産業について	件数
漁業への支援を行い、魅力を向上して活性化してほしい	4
農林水産業への支援にもっと取り組んでほしい	3
獣害対策に力を入れてほしい	3
害虫などの農作物被害への対策を支援してほしい	2
農林水産業のブランド化を進めてほしい	2
水産加工物が観光客向けの価格と感じる、市民にやさしくない	1
農地の有効的な利活用を進めてほしい	1
商工業について	件数
大企業や大きな工場などの誘致を推進してほしい	20
様々な働き方が選べる多様な雇用を増やしてほしい	6
働きやすい職場が少ないので増やしてほしい	5
企業が流出していかないよう対策を考えてほしい	3
事業の継続、継承への支援をしてほしい	2
起業への支援をしてほしい	1
娯楽・商業施設について	件数
映画館やスターバックス、大手バーガーチェーンなど、若者が利用したいと思っている娯楽、商業施設を増やしてほしい	16
若い世代も利用するショッピングモールのような大型の商業施設を作ってほしい	14
ドラッグストアばかり増えており、スーパーなどの身近な買い物場所が少ないので増やしてほしい	11
市民が利用する地域、場所での飲食店を充実してほしい	2
各地域への移動販売など買い物支援をしてほしい	1
空家・土地利用について	件数
景観、防災、防犯等の観点で空家の増加が気になるため、対策に取り組んでほしい	13
空家の利活用を促進してほしい	4
土地の有効的な利用を進めてほしい	3
宅地開発を進めてほしい	1
水道事業について	件数
水道料金が高すぎるのではないか	7
水道事業に外資を入れないでほしい	1
安心安全な水を提供してほしい	1

道路・交通について	件数
コミュニティバス、市民バスをもっと利用しやすくしてほしい	15
道の幅が狭い道路の改善や、道路工事の期間などをもっと考慮してほしい	10
公共交通機関を維持し、利便性を向上してほしい	7
融雪、除雪対策に力を入れてほしい	7
免許を返納した後が不安である	5
鉄道アクセスを充実してほしい	2
利用しづらい道路があるので不便	1
自動運転の車などの整備が待たれる	1
アンケートについて	件数
回答するのに難しい項目やシステムの面で、困難を感じた	12
回答が遅くなった	3
アンケートが無駄だと感じる	2
実施方法をもっと工夫してほしい	2
アンケートの回答をしっかり反映してほしい	2
その他	件数
より良い市になってほしい	12
住みやすいと感じている	5
特に無し	5
誇りを持てるまちであってほしい	3
熊出没の問題について野焼きなどで対策をしてはどうか	1
出生のお知らせをみて喜ばしかった	1
ミラタンのグッズをもっと出してほしい	1
U0 得を当たりやすくしてほしい	1
市町村合併してはどうか	1
総合計画について考えたことがないのでわからない	1

魚津市新総合計画策定のための
市民意識調査
【結果報告書】

発行：魚津市
編集：魚津市企画総務部企画政策課
〒937-8555
富山県魚津市釈迦堂 1-10-1
TEL 0765-23-1067
FAX 0765-23-1054

令和7年2月